



# EOS | HD<sup>TM</sup>

ワイヤレス ドライブスルーコミュニケーションシステム

設置マニュアル

---

**HM Electronics, Inc.**  
2848 Whiptail Loop  
Carlsbad, CA 92010, USA

**Phone:** 800-848-4468  
**Fax:** 858-552-0172  
**Website:** [www.hme.com](http://www.hme.com)  
**Email:** [support@hme.com](mailto:support@hme.com)

HME# 400G698J  
Rev A 03/02/18

# 目次

---

1.	装置詳細 .....	1
1.1	ベースステーションの機能 .....	2
1.1.1	フロントパネル .....	2
1.1.2	リアパネルとサイドパネル .....	3
1.2	ヘッドセットの機能 .....	4
1.2.1	コントロールとインジケーター .....	4
1.2.2	ヘッドセットの正しい装着方法 .....	5
1.2.3	バッテリーの取り外しと交換 .....	5
1.3	バッテリー充電器 .....	6
1.3.1	アメリカ国内で使用するバッテリー充電器の AC アダプター .....	6
1.3.2	アメリカ国外で使用するバッテリー充電器の AC アダプター .....	6
1.3.3	バッテリーの充電 .....	7
2.	設置の準備 .....	8
2.1	必要なツール .....	8
2.2	電波障害対策 .....	8
2.2.1	電気的干渉 .....	8
2.2.2	無線周波(RF)妨害 .....	9
3.	装置の設置 .....	10
3.1	ベースステーションの設置 .....	10
3.1.1	ベースステーションへのアンテナの設置 .....	12
3.1.2	ベースステーション電源の接続 .....	12
3.1.3	ヘッドセットのベースステーションへの登録 .....	13
3.1.4	最適な送信/受信のための歩行テスト .....	15
3.1.5	壁へのベースステーションの設置 .....	15
3.1.6	リモートアンテナキットの設置(必要な場合) .....	15
3.2	ケーブル配線 .....	17
3.3	屋外マイクとスピーカーの設置とケーブル接続 .....	17
3.3.1	DM5 マイクの設置 .....	18
3.3.2	SP10 スピーカーの設置 .....	19
3.4	オプションの外部車両検出器の設置 .....	21
3.5	オプションの HME 車両検出基板(VDB)の設置 .....	21
4.	ベースステーションの設定 .....	22
4.1	設定状態 .....	22
4.2	基本インストーラの設定 .....	23
4.2.1	レーンの設定 .....	24
4.2.2	Auto-Hands-Free(自動ハンズフリー) .....	24
4.2.3	スピーカーポスト .....	25
4.2.4	環境設定メニュー .....	25
4.2.5	クリアサウンド .....	26
4.2.6	診断 .....	26
4.3	詳細インストーラの設定 .....	27
4.3.1	電話 .....	27
4.3.2	音質忠実度 .....	27
4.3.3	ライン入力/出力のルート .....	28
4.3.4	無線オプション .....	28
4.3.5	車両のトーン .....	29
4.3.6	インストーラ設定の保存 .....	29
4.3.7	言語の選択 .....	29

HM Electronics, Inc.及びNECグループは、オリジナルの英語版からのインストールおよび出版物の運用による誤った翻訳のために生じる機器の誤操作に対して一切の責任を負いません。

4.3.8	<b>初期値の復元</b>	30
4.4	<b>ネットワーク設定</b>	31
4.4.1	<b>基本ネットワーク設定</b>	31
4.4.2	<b>詳細ネットワークの設定</b>	33
4.4.3	<b>メール/テキスト</b>	36
4.5	<b>ユーザー設定</b>	38
4.5.1	<b>車両検出</b>	38
4.5.2	<b>オペレータ モード</b>	39
4.5.3	<b>メッセージセンター</b>	40
4.5.4	<b>音量調整</b>	57
4.5.5	<b>ヘッドセット登録</b>	61
4.5.6	<b>サービス</b>	61
4.5.7	<b>店舗設定</b>	62
4.5.8	<b>インストーラの設定</b>	69
4.5.9	<b>ネットワーク</b>	69
4.5.10	<b>診断</b>	69
4.5.11	<b>早期警報設定</b>	69
4.6	<b>PC ナビゲーション</b>	70
<b>5.</b>	<b>システム機能チェック</b>	<b>72</b>
<b>6.</b>	<b>通常業務操作</b>	<b>73</b>
6.1	<b>ヘッドセット指示言語の変更</b>	73
6.2	<b>ヘッドセット状態の取得</b>	73
6.3	<b>シングルレーン操作 (1 レーンに 1 つのスピーカーポスト)</b>	74
6.4	<b>デュアルレーン操作 (それぞれのスピーカーポストがある、2 つのレーン)</b>	75
6.5	<b>タンデム操作(1 レーンに 2 つのスピーカーポスト)</b>	76
6.6	<b>店舗内コミュニケーション</b>	77
6.7	<b>スピード-チーム オペレーション</b>	78
6.8	<b>有線バックアップシステム</b>	78
6.9	<b>メッセージセンターの操作</b>	78
<b>7.</b>	<b>問題が発生した場合</b>	<b>79</b>
<b>8.</b>	<b>スペイン語またはフランス語操作のためにベースステーションを設定するには</b>	<b>82</b>
<b>9.</b>	<b>装置仕様</b>	<b>83</b>
<b>10.</b>	<b>ブロック図</b>	<b>84</b>
<b>11.</b>	<b>ベース インターフェイスの説明</b>	<b>85</b>
11.1	<b>オーディオ回路基板</b>	85
11.2	<b>スイッチャー回路基板</b>	86
11.3	<b>車両検出回路基板(オプション)</b>	86
<b>12.</b>	<b>配線図</b>	<b>87</b>
<b>13.</b>	<b>付録</b>	<b>99</b>
13.1	<b>デュアルレーンのインストーラ設定</b>	99
13.1.1	<b>スプリット B</b>	99
13.1.2	<b>専用モード</b>	99
13.2	<b>デュアルレーンメッセージセンター設定</b>	100
13.2.1	<b>顧客歓迎メッセージ</b>	100
13.2.2	<b>リマインダーメッセージ</b>	100
13.2.3	<b>警告メッセージ</b>	100

# 図と図表

図 1.	EOS HD 標準装置.....	1
図 2.	ベースステーションフロントパネルの機能 .....	2
図 3.	ベースステーションリアパネルの機能.....	3
図 4.	ヘッドセットのコントロールボタンとインジケーターランプ .....	4
図 5.	正しいヘッドセットの装着 .....	5
図 6.	ヘッドセットバッテリーリリースボタン .....	5
図 7.	バッテリー充電器と AC アダプターの接続 .....	6
図 8.	各国対応 AC アダプターのプラグ交換方法 .....	6
図 9.	AC50 の機能とバッテリー状態ガイド.....	7
図 10.	典型的なドライブスルー店舗のレイアウト.....	10
図 11.	一般的なタンデム、Y レーンまたはデュアルドライブスルーのレイアウト.....	11
図 12.	アンテナ取り付け .....	12
図 13.	電源のベースステーションへの接続.....	12
図 14.	4つのネジ穴が見える開いた状態のベースステーション .....	15
図 15.	リモートアンテナの壁取り付け用ブラケットへの取り付け .....	16
図 16.	DM5 マイクロフォン.....	18
図 17.	DM5 と小スピーカーのスピーカーの配置 .....	18
図 18.	一般的なスピーカーポストへのマイクユニットの設置 .....	18
図 19.	ガスケットとケーブルコネクタ付き SP10 .....	19
図 20.	スピーカーポスト、メニュー ボードまたはエンクロージャの中の SP10.....	19
図 21.	スピーカーへのブラケットの取り付け.....	20
図 22.	一般的なタンデム式ドライブスルー .....	76
図 23.	スイッチャー基板の S2 スイッチ .....	78
図 24.	ベースステーション内部コネクタとコントロール .....	81
図 25.	一般的な EOS   HD ベースステーションブロック図 .....	84

## 配線図 ..... 87

図 26.	VDB 付き、スイッチャー基板なし全二重 DT システム(レーン 1 またはシングルレーン接続) .....	88
図 27.	VDB 付き、スイッチャー基板なし全二重 DT システム(レーン 2 接続) .....	89
図 28.	VDB、スイッチャー基板、IC300 付き全二重 DT システム(レーン 1 またはシングルレーン接続) .....	90
図 29.	VDB、スイッチャー基板、IC300 付き全二重 DT システム(レーン 2 接続) .....	91
図 30.	VDB、スイッチャー基板、マイクロフォン付き全二重 DT システム(レーン 1 またはシングルレーン接続) .....	92
図 31.	VDB、スイッチャー基板、マイクロフォン付き全二重 DT システム(レーン 2 接続) .....	93
図 32.	VDB 付き、スイッチャー基板なし半二重 DT システム(レーン 1 またはシングルレーン接続) .....	94
図 33.	VDB 付き、スイッチャー基板なし半二重 DT システム(レーン 2 接続) .....	95
図 34.	VDB、スイッチャー基板付き半二重 DT システム(レーン 1 またはシングルレーン接続) .....	96
図 35.	VDB、スイッチャー基板付き半二重 DT システム(レーン 2 接続) .....	97
図 36.	オプション装置の接続 .....	98

本書記載のイラストは実物の装置と若干異なり、形状などが一部省略されている場合があります。

# 重要注意事項

## FCC 規制

本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。使用の際には、本装置は(1)有害な干渉を発生しない、および(2)望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、いかなる干渉も受信しなければならない、という 2 つの条件を満たしている必要があります。

**注:**本装置は FCC 規則パート 15 に定められたクラス A デジタル装 置に関する制限項目に基づき所定の試験が実施され、これに適合していることが確認されています。これらの制限項目は、本装置を商業環境で使用した際に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するよう意図されています。本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用し、外部に放射する場合があり、取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線 通信に有害な干渉をもたらす原因となる可能性があります。本装置を住宅地で利用すると、有害な干渉を発生する恐れがあり、その場合ユーザーは自らの費用でその干渉を修正する必要があります。

HM Electronics, Inc. によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザー権限は無効になる場合があります。

ベース送信機に使用するアンテナは、すべての人から少なくとも 20cm 離して設定し、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり、一緒に操作したりしないでください。

本装置は、以下に示すアンテナまたはアンテナキットで動作するように設計されており、最大ゲインは 2dBi です。このリストに載っていない、または 2dBi 以上のゲインがないアンテナ/キットを、本装置で使用することは固く禁じられています。必要とされるアンテナのインピーダンスは 50Ω です。

1. アンテナ: NEARSON, S181TR-2450R, 2dBi
2. アンテナ キット: HME, EC20 (P/N G28493-1), 0dBi
3. アンテナ キット: HME, EC10 (P/N G27706-1)

## Industry Canada (IC)

本装置はライセンスの免除された RSS 標準に準拠します。本装置は(1)干渉を発生しない、(2)装置の望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、いかなる干渉も受信しなければならない、という 2 つの条件を満たしている必要があります。

本装置は Health Canada's Safety Code に準拠しています。本装置の設置者は、RF 放射線がカナダ保健省の要件以上で放射されないことを保証しなければなりません。情報は [http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/radio\\_guide-lignes\\_direct-eng.php](http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/radio_guide-lignes_direct-eng.php) で得られます。

「認証された権限者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザー権限は無効になる場合があります。」



HM Electronics, Inc. は EOS|HD が R&TTE 指令 1999/5/EC の基本要件とその他の関連規則に準拠していることを宣言します。

## Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)

欧洲連合(EU)WEEE 指令(2002/96/EC)は、生産者(メーカー、代理店および/または小売店)に対し、電子製品の耐用年数終了時にその製品を引き取ることを義務付けています。2005 年 8 月 13 日現在欧洲で販売済みのほとんどの HME 製品が WEEE 指令の対象となっています。メーカー、代理店、および小売店には、自治体の回収拠点からの回収、再利用、およびリサイクルにかかる費用について、WEEE の要件に指定される割合を支払うことが義務付けられています。

### 欧洲連合におけるユーザーによる WEEE 処分に関する指示

以下に示す記号は、当該製品が 2005 年 8 月 13 日以降に販売されたものであり、他の廃棄物と一緒に処分してはならないことを示します。その代わりに、WEEE のリサイクルに指定された回収場所に持ち込み、廃棄物を処分することはユーザーの責任となっています。廃棄の分別収集とリサイクルは、天然資源の節約に役立ち、人の健康および環境を保護する方法でリサイクルされます。リサイクルのために廃棄物を持ち込む場所については、各自治体、家庭廃棄物処理業者、または製品の購入元である販売者までお問い合わせください。



## モデル番号の規定

EOS|HDベースステーション、BASE6200は1401のモデル番号で規定されます。

EOS|HD ヘッドセット、HS6200は1402のモデル番号で規定されます。

EOS|HD ベルトパック、COM6200 は 1403 のモデル番号で規定されます。

### Brazil

"Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados" Para maiores informações, consulte o site da ANATEL [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)



China	BASE6200 (1401)	Regulatory ID number	—	CMIIT ID: 2014DJ4271
	HS6200 (1402)	Regulatory ID number	—	CMIIT ID: 2014DJ4272

Indonesia	BASE6200 (1401)	Regulatory ID number	—	37991/SDPPI/2014 3710
	HS6200 (1402)	Regulatory ID number	—	38040/SDPPI/2014 3710

Korea	해당 무선설비는 전파통신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음 이 기기는 업무용(A 급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-------	---

Russia		BASE6200 (1401)	Regulatory ID number	—	RU C-US.ME06.B.01386
		HS6200 (1402)	Regulatory ID number	—	RU C-US.ME06.B.01387

Taiwan	注意!
依據低功率電波輻射性電機管理辦法第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功。	
第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。	
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。	

Thailand	This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirements.
----------	--

UAE	BASE6200	HS6200
	TRA REGISTERED NO. ER35444/14 DEALER NO. 1020640	TRA REGISTERED NO. ER36227/14 DEALER NO. 1020640

日本	ベースステーション BASE6200(1401) TELEC 認証番号: 003WWA101350
	ヘッドセット HS6200(1402) TELEC 認証番号: 003-140178



## 有毒有害物质或元素表

Table of Toxic and Hazardous Substances (有毒有害物質元素表)

部件名称 Names of Parts(部材名称)	有毒有害物质或元素 Toxic and Hazardous Substances or Elements(有毒有害物質元素)					
	铅 (Pb) 鉛	镉 (Cd) カドミウム	汞 (Hg) 水銀	六价铬 (Cr6+) 六価クロム	多溴联苯 (PBB) ポリ臭化ビフェニール	多溴二苯醚 (PBDE) ポリ臭化ジフェニルエーテル
6200 基站 Top assembly BASE6200 (G29124-2ZA1) ベースステーション	X	O	O	O	O	O
基站电路板 Audio PCB (G29113-2A1) 音声基板	X	O	O	O	O	O
收发器电路板 XCVR PCB (G28381-1D1) 無線基板	X	O	O	O	O	O
AC50 电池充电器 AC50 G28550-1 充電器	X	O	O	O	O	O
电源器 453G018 CCC P/S AC アダプター	O	O	O	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirements in SJ/T11363-2006

O:この表示はこの部分のすべての材料内に、SJ/T11363-2006 で要求される限度を下回る有毒、有害物質が含まれることを示します。

X: 该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirements in SJ/T11363-2006

X:この表示はこの部分の少なくともひとつの材料内に、SJ/T11363-2006 で要求される限度を上回る有毒、有害物質が含まれることを示します。



## 表的有毒有害物质

## Table of Toxic and Hazardous Substances (有毒有害物質元素表)

部件名称 Names of Parts (部材名称)	有毒有害物质或元素 Toxic and Hazardous Substances or Elements(有毒有害物質元素)					
	铅 Pb 鉛	镉 Cd カドミウム	汞 Hg 水銀	六价铬 Cr6+ 六価クロム	多溴联苯 PBB ポリ臭化ビフェニール	多溴二苯醚 PBDE ポリ臭化ジフェニルエーテル
HS6200 头佩戴式耳麦 Top Assembly HS6200 (G29090-1Z3) ヘッドセット	X	O	O	O	O	O
耳机电路板 PCB (G29089-1) メイン基板	X	O	O	O	O	O
电池 Battery (104036) バッテリー	O	O	O	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirements in SJ/T11363-2006

O: この表示はこの部分のすべての材料内に、SJ/T11363-2006 で要求される限度を下回る有毒、有害物質が含まれることを示します。

X: 该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirements in SJ/T11363-2006

X: この表示はこの部分の少なくともひとつの材料内に、SJ/T11363-2006 で要求される限度を上回る有毒、有害物質が含まれることを示します。



# 1. 装置詳細

EOS|HD は、主にファーストフードレストラン向けの音声システムです。下記に示される装置は、各 EOS|HD の標準装置です。オプション装置は、お客様の地元販売業者からご注文ください。

EOS|HD を開封し、梱包されている品物が明細書の内容と一致することを確認してください。



図1. EOS|HD 標準装置

## オプション機器

装置	モデル番号	装置	モデル番号
ヘッドセット	HS6200	薄型スピーカー	SP2500LP
バッテリー	BAT51	天井スピーカー	MM100
ベルトパック用ベルト	なし	モードスイッチ(デュアルレーン)	MS10
ヘッドセット耳あて	なし	リモートスピードチームスイッチ	SW2
ヘッドセットイヤホンカバー(使い捨て)	なし	スイッチャー回路基板	なし
マイクロфон	DM5	アンテナ受信エリア拡張キット	EC10
電話インターフェイス	TI6000	拡張受信エリアアンテナキット	EC20
車両検出器基板	VDB102	リモートアンテナキット (1.83 メートルケーブル付き)	ANT20-6
車両検出器基板(リレー付き)	VDB102R	リモートアンテナキット (9.14 メートルケーブル付き)	ANT20-30
車両検出器ループ(埋設型)	VDL100		

**重要！** 最初に、必ず充電器を設定し、[1.3 章](#) の指示に従ってヘッドセットのバッテリーを充電してください。

## 1.1 ベースステーションの機能

ベースステーションは、EOS|HD の電子心臓部です。ドライブスルー音声システムのすべての機能をつかさどる電気回路が内蔵されています。

ベースステーションの外観機能は図 2 と図 3 に、内部コネクタとインジケーターは図 24 に示されています。

### 1.1.1 フロントパネル

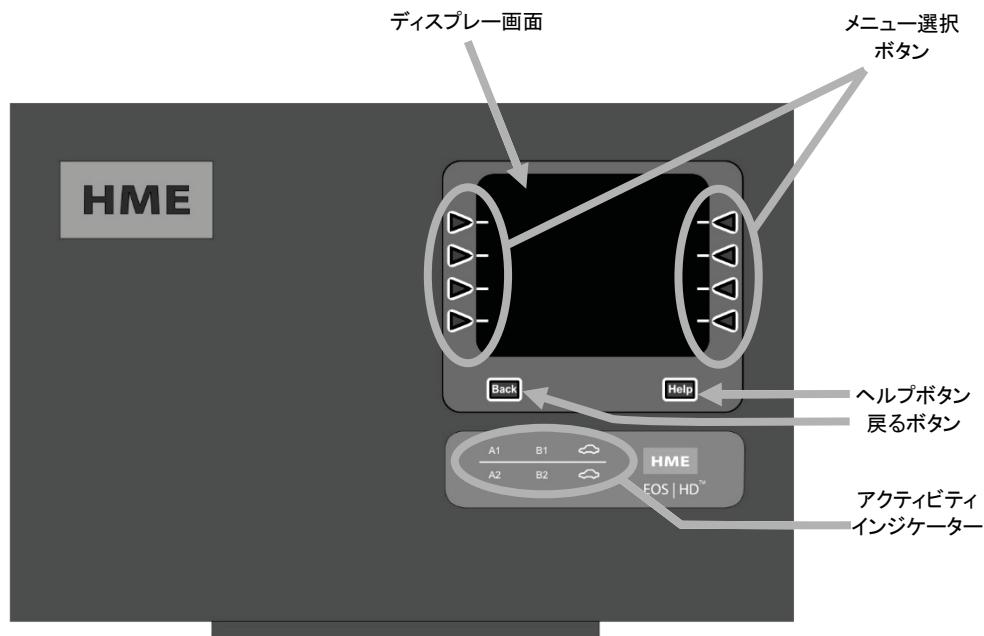


図 2. ベースステーションフロントパネルの機能

- ディスプレー画面には、インストーラの設定と定常操作オプションのための、メニュー選択のすべてが表示されます。本書の説明と表示画面は主にシングルレーン操作についてです。デュアルレーン操作で必要な追加設定は Appendix(参考)をご覧ください。
- ベースステーションの **LANE STATUS**(レーン状態) 画面は他の画面を選択するためにボタンを押されるまで、表示されています。画面はしばらく操作をしないと暗くなりますが、いずれかのボタンを押すと明るくなります。
- メニュー選択ボタンは、ディスプレー画面のメニューから選択を行う際に使用します。
- Help(ヘルプ)ボタンを押すと、EOS|HD に問題が生じた場合に必要な情報を入手できます。(注:英語表示となります)
- Back(戻る)ボタンを押すと、前のメニューに戻ることができます。
- アクティビティインジケーターのランプは以下のように点灯します。

#### レーン 1 アクティビティ（線の上）

- レーン 1 ヘッドセットで A ボタンが押されると、**A1** ランプが点灯します。
- レーン 1 ヘッドセットで B ボタンが押されると、**B1** ランプが点灯します。
- レーン 1 メニューボードに車両が現れると、線の上の車ランプが点灯します。

#### レーン 2 アクティビティ（線の下）

- レーン 2 ヘッドセットで A ボタンが押されると、**A2** ランプが点灯します。
- レーン 2 ヘッドセットで B ボタンが押されると、**B2** ランプが点灯します。
- レーン 2 メニューボードに車両が現れると、線の上の車ランプが点灯します。

### 1.1.2 リアパネルとサイドパネル

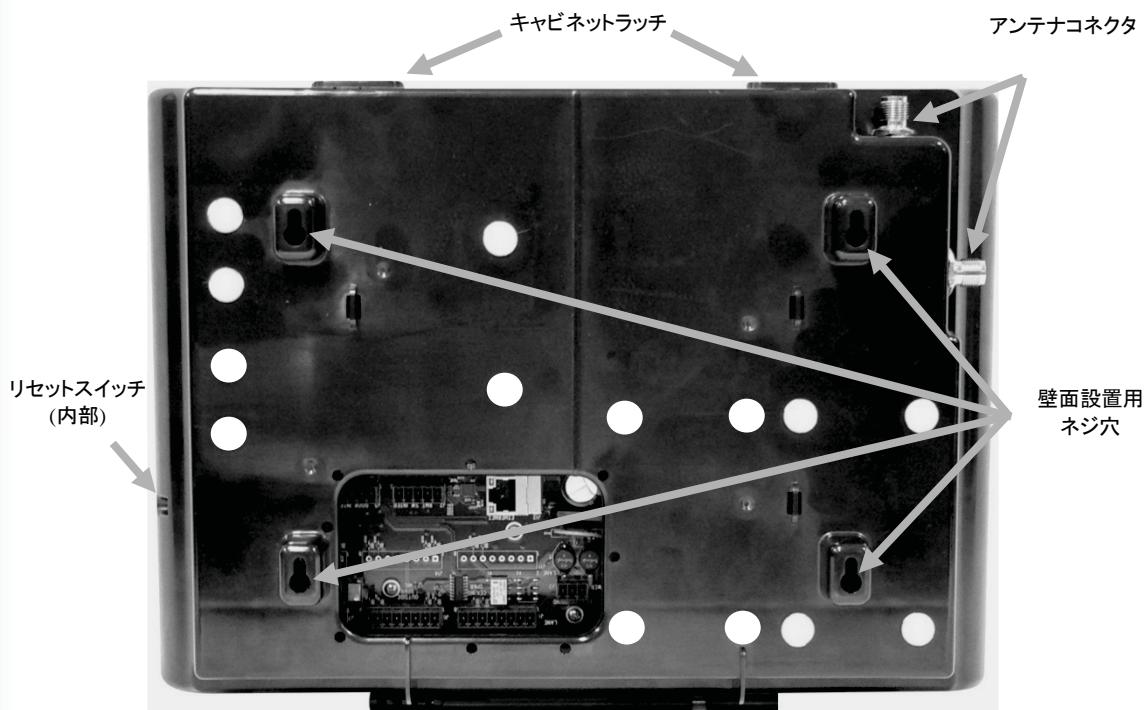


図 1. ベースステーションリアパネルの機能

- キャビネット上部の両方のキャビネットラッチを同時に押し下げ、前に引くとキャビネットが開きます。
- アンテナコネクタは付属のアンテナをネジで取り付けるためのものです。
- 4つのネジ穴は、壁にベースステーションを取り付けるために使用します。
- リセットスイッチは、ベースステーションのソフト再起動に使用します。リセットスイッチは、ベースステーション右側の小さな穴の中に入ります。リセットスイッチを押すには、ペーパークリップなど先の尖った細いものを使用します。

## 1.2 ヘッドセットの機能

### 1.2.1 コントロールとインジケーター



図 2. ヘッドセットのコントロールボタンとインジケーターランプ

- **電源オン** — 電源ボタンを押して離します。  
ヘッドセットから「*headset #, battery full/half/low*」(ヘッドセット番号、バッテリーが満/半分/低)という音声メッセージが流れ、電源ランプと送信ランプの両方が赤色に点滅します。しばらくすると、レーン1の電源ランプが緑色に変わり、送信ランプが消えます。イヤホンから「Lane 1 (or 2) (レーン 1 もしくは(2))」という音声メッセージが流れます。
- **電源オフ** — 電源ボタンを約2秒間押し続けます。イヤホンから「*headset off*」(ヘッドセットオフ)という音声メッセージが流れ、電源ランプが消えます。
- **音量アップの調整** — 音量アップの▲ボタンに触れて離します。ボタンに触れるたびに音量が上がり、イヤホンから高いピッチのビープ音が聞こえます。最大音量に達すると、高いピッチのダブルビープ音が鳴ります。音量アップの▲ボタンに触れ続けると、ボタンを離すまで高いピッチのビープ音が素早く繰り返し鳴り続けます。
- **音量ダウンの調整** — 音量ダウンの▼ボタンに触れて離します。ボタンに触れるたびに音量が下がり、イヤホンから低いピッチのビープ音が聞こえます。最小音量に達すると、低いピッチのダブルビープ音が鳴ります。音量ダウンの▼ボタンに触れ続けると、ボタンを離すまで低いピッチのビープ音が素早く繰り返し鳴り続けます。

## 1.2.2 ヘッドセットの正しい装着方法

- 口の右側または左側にマイク付きヘッドセットを装着します。
- 必要に応じて、ヘッドバンドとマイクブームを調整します。



図 3. 正しいヘッドセットの装着

## 1.2.3 バッテリーの取り外しと交換



図 4. ヘッドセットバッテリーリリースボタン

### バッテリーを取り外すには:

バッテリーが弱くなると、ヘッドセットから「Change battery(バッテリーを交換してください)」という音声が流れます。この声が聞こえたら、バッテリーリリースボタンを押しながら、図 6 で示されるようにバッテリーをスライドさせて外します。

### バッテリーを交換するには:

ヘッドセットのバッテリーを交換する場合は、取り外したバッテリーと同じ向きに、バッテリーの金属接点が付いた方の端をヘッドセットのバッテリーホルダーに入れます。バッテリーをカチッと音が鳴る正しい位置まで注意しながら押し込みます。

バッテリーは、以下の方法に従って再充電します。

## 1.3 バッテリー充電器

### 1.3.1 アメリカ国内で使用するバッテリー充電器の AC アダプター

図 7 で示されるように、AC アダプターの+5VDC コードをバッテリー充電器の側面にあるプラグに差し込みます。そして、AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。

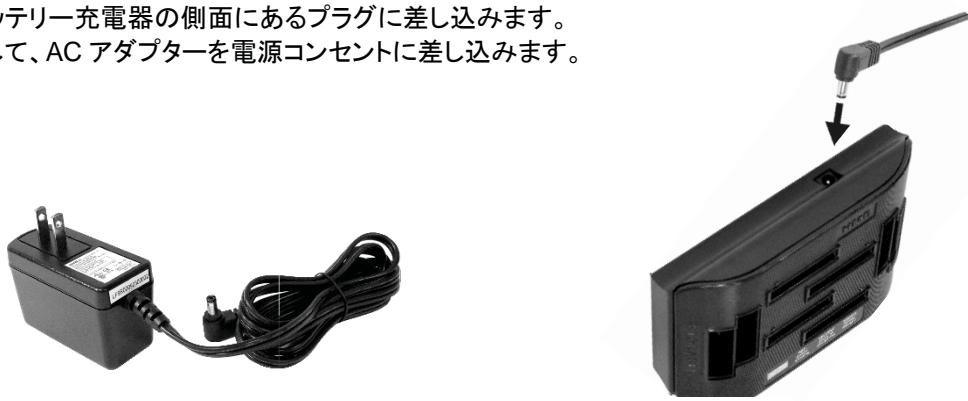


図 5. バッテリー充電器と AC アダプターの接続

### 1.3.2 アメリカ国外で使用するバッテリー充電器の AC アダプター

アメリカ以外の国で使用する場合、バッテリー充電器と一緒に各国対応 AC アダプターが一緒に供給されます。図 8 で示されるように、必要とされるプラグアダプターを装着します。プラグコードをバッテリー充電器に接続し、AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。



図 6. 各国対応 AC アダプターのプラグ交換方法

### 1.3.3 バッテリーの充電

他の装置を設置している間に、充電ポートに4つのバッテリーを挿入して充電を行います。充電時間は約2時間半です。バッテリーが完全に充電されたら、[1.2.3章](#)で示されるようにヘッドセットにバッテリーを装着します。

#### 手順:

バッテリーを充電器の充電ポートに差し込みます。バッテリーは一方向にしか充電ポートに挿入できません。もし、挿入時しづらい場合は、挿入方向、向きを変えてください。決して強引に挿入しないでください。定位置に収まるまでバッテリーを挿入し、確実に充電端子に接触するように押します。

#### バッテリー状態表示:

バッテリー状態ランプは充電状態を表します。バッテリー充電器のフロントパネル下部にバッテリー状態のガイドが記載されています。

- 充電ポートが空だと、それぞれの充電ポートの横に黄色ランプが点灯します。
- 4つの充電ポートのいずれかに、定位置に収まるまでバッテリーを挿入します。
- 充電中は、バッテリーの横に赤色の充電ランプが点灯します。
- 完全に充電されると、バッテリーの横に緑色の充電ランプが点灯します。
- バッテリー横の黄色いランプが点灯している場合、充電の失敗を意味します。このような場合、(1) バッテリーが正しく挿入され、充電端子が接触していることを確認してください。(2) 違う充電ポートにバッテリーを差し換えてください。もし、充電が行えるのであれば、最初の充電ポートが故障しています。もし、充電が行われない場合は、バッテリーを交換して充電をしてみてください。バッテリーの寿命か機器の故障が考えられます。
- 完全充電済みのバッテリーは、保管ポートで保管します。

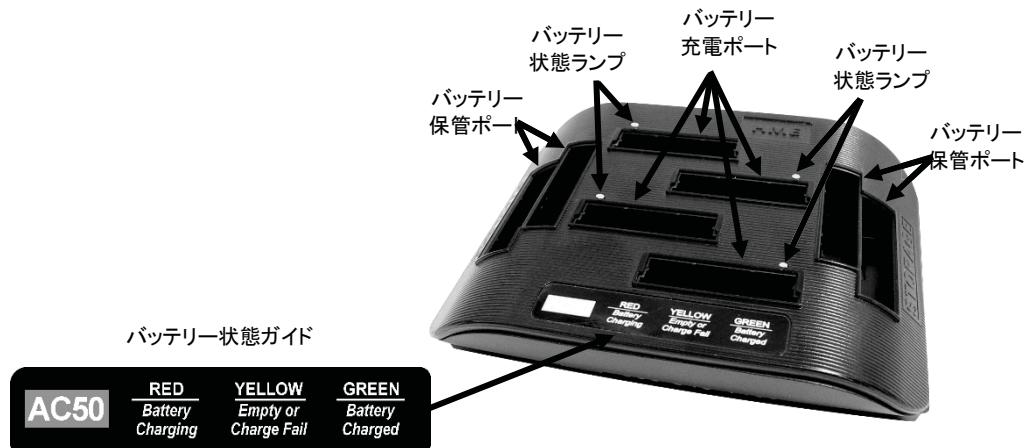


図 7. AC50 の機能とバッテリー状態ガイド

## 2. 設置の準備

---

- 設置には約 3 時間が必要です。
- 始める前に、店舗のオーナー/マネージャと設置の時間を相談して、なるべく業務に支障をきたさないようにします。
- 必要な電源を確保します。
- 互換性のある車両検出ループまたはその他の車両検出システムが、ドライブスルーレーンに設置されていることを確認してください。

### 2.1 必要なツール

---

- プラスドライバー、サイズ #2
- 標準(マイナス)ドライバー、 $\frac{1}{8}$ インチ (3.2 mm)
- パワードリルとドリルビットセット
- フィッシュテープ、100 フィート (30 メートル)
- ワイヤーカッター/ストリッパー
- はんだごて
- ロジンコアはんだ
- 絶縁テープ

### 2.2 電波障害対策

---

**注意:** 音声システムが適切に設置されていないと、電波障害が発生するおそれがあります。

設置時に予防策を講じておかないと、以下のようなタイプの電波障害が発生する可能性があります。先に進む前にこの章を注意してお読みください。

#### 2.2.1 電気的干渉

---

システムの作動中、電気機器やその他の電化設備の電気的故障によりヘッドセットから静的ノイズ、ハム音、バリバリ音、ブンブン音や切り裂き音が聞こえるといった電波障害が発生します。また、ほとんどの照明システムはタイマーや光検出装置により制御されているため、照明システムの電気的故障によって引き起こされる電波障害にはすぎに気付かない場合があります。

##### 誤配線や不良部品:

故障したコンポーネントまたはメニュー ボードやスピーカー ポストへの誤った電気配線は、AM 干渉と同じ症状を引き起こす場合があります。電機システムを修復するまで、回路ブレーカーによりメニュー ボードまたはスピーカー ポストへの電源供給を遮断します。

##### 不適切な接地:

建物内の不適切な接地により、チャンネル A または B で通話中に、ヘッドセットにバリバリ、ビューといった雑音が不規則に発生することがあります。これはベースステーション AC アダプターとコンセントの間にサージ保護装置を設置することで解決できます。

##### 停電が発生した場合 —

雷雨や発電機の故障などで停電が起り、その回復後に HME 装置に問題が発生した場合は、装置の電源プラグを抜いて 15 秒待ち、再び電源のプラグを差し込みます。

## 2.2.2 無線周波(RF)妨害

---

RF干渉の原因を解明することは難しく、時間のかかる作業です。以下の注意事項により、一般的なRF干渉の問題を防ぐことができます。

- ベースステーションとアンテナを取り付ける前に、取り付けに最も適する場所を見つけます。
- スピーカーの場所で、すべてのジョイント(クランプジョイントを含む)をはんだ付けします。これは湿気の高い地域では大変重要です。
- すべて接続が緩んでいないことを確認します。
- 音声システム内のどこにもシールドなしのワイヤーがないことを確認します。
- スピーカーから出ているケーブルのシールドを接地します。重度の干渉の場合、スピーカーでシールドを接地すると問題が解決する場合があります。

AMとFMの干渉はよく似た問題を引き起こす場合がありますが、それぞれ異なった是正措置が必要です。一部の地域ではAM送信機の電力を午後5時と7時の間に減少しなければならないため、AM干渉は一日の特定の時間帯に増減することがあります。

以下の症状に注意を払い、緩衝の原因を判断します。サポートが必要な場合は、HMEテクニカルサポート(電話:1-800-848-4468)までご連絡ください。アメリカ以外の国ではHMEの販売代理店までご連絡下さい。

### AM干渉:

システム動作中、ヘッドセットから静的ノイズまたはハム音が聞こえることがあります。AM干渉は、屋外スピーカー/マイクをベースステーションに接続するケーブルを通じてシステムに入り込みます。AM信号を遮断するには、まず地域AM局があるかどうかを調べ、その動作周波数と送信機の出力電力を調べます。その後、システムに入るAM信号をトラップするインダクターとコンデンサーのネットワークによって装置を変更することができます。

システム動作中、またはチャネルAまたはBのいずれかで送信される際に、ヘッドセットから静的ノイズ、ハム音、および/または音声が聞こえることがあります。干渉は、外部スピーカーケーブル、ヘッドセット/ベルトパックレシーバー、およびベースステーション送信機といいた3つの異なる場所からシステムに入り込みます。AM局の周波数は、動作周波数、送信機タワーの位置、およびAMラジオ局の出力電力により、オーディオシステムの送信機の信号を完全に抑圧または圧倒することができます。ベースステーションを移動しなければならない場合もあります。

### FM干渉:

システム動作中、あるいはチャネルAまたはBのいずれかで送信中に、FM干渉によってヘッドセットから亀裂音、発砲音、その他の雑音が聞こえることがあります。

### 3. 装置の設置

以下は標準 EOS|HD 装置と、最も一般的に使用されるオプション装置の設置に関する説明です。特定の指示がオプション装置に添付されている場合もあります。

まだ設置を行っていない場合は、設置を行う前に、AC コンセントにバッテリー充電器を接続し、他の装置を設置している間にすべてのバッテリーを充電してください。[1.3 章](#)を参照してください。

#### 3.1 ベースステーションの設置

##### ベースステーションの設置前および設置時に考慮すべき事項

- 壁を背にして立った時にヘッドセットが使用される作業領域のほとんどが見られる位置に、ベースステーションを設置します。
- ベースステーションとヘッドセットの使用場所との間にある壁の数を最小限に抑える必要があります。
- 壁にステンレス製のシートを使用すると、無線信号を遮断、反響させる場合があります。
- スピードチーム操作には、屋外受信エリアが必要な場合があります。
- 大きな窓は信号を通過させ、屋外受信エリアを向上させることができます。
- リモートアンテナキットを使うと、アンテナの受信エリアを拡張できます。
- システム交換をする場合、ベースステーションを依然と同じ場所に設置することが望まれない場合でも、以前と同じ場所に設置しなければならないことがあります。
- HME から供給された以外の電源を使用する場合は、ユニットを安全に使用するため、 $24V \pm 5\%$ 、50W 以上の LPS(低電圧電源)表記のある安定化電源で、該当する地域の規制要件を満たしているものを使用してください。

図 10 は、ファーストフード店の一般的なドライブスルーを示しています。以下の説明の番号は、図 10 の場所の番号と一致します。ほとんどの店舗のレイアウトはこの図のようになります。通常、ベースステーションは #1 に取り付けます。ここはまた古い装置が見つかる場所もあります。オーダー受付係は、忙しい店舗では通常 #2 にいます。#2 にいるオーダー受付係のヘッドセット信号がベースステーションのある #1 に達するには、2 つの壁を通過する必要があります。信号が厨房から #1 のベースステーションに到達するにはひとつの壁だけを通過することになります。厨房に大きな設備がある場合やスピードチーム操作が屋外の #6 で必要な場合、#1 はベースステーションの設置には不適切な選択となる場合があります。スピードチーム操作の場合、信号は 3 つの壁を通過し、厨房設備を通り抜け、#1 のベースステーションに到達する必要があります。店舗内の #7 周辺と屋外の #6 での受信は弱くなる可能性があります。地下も必ずチェックしてください。地下室からの信号は、#1 のベースステーションに到達できない可能性があります。

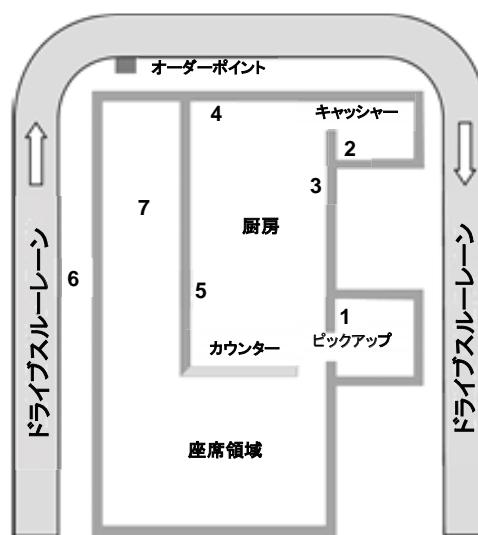


図 8. 典型的なドライブスルー店舗のレイアウト

屋外受信エリアが必要ない場合は、ベースステーションの場所としては#3、#4 または#5 が最善の場所です。この場合、ほとんどの作業領域からのヘッドセット信号は壁を通過する必要がありません。他の作業領域と座席領域からの信号は 1 つの壁を通過しなければなりません。この場合はリモートアンテナキットを使用できます。大型装置によって信号が通じない場所が発生しない限り、アンテナはベースステーションからそれほど離れた場所に取り付ける必要はありません。

EOS|HD のベースステーションは、マルチパスのドロップアウトを避けるために 2 つのアンテナを使用します。両方のアンテナはともに信号を送受信します。ベースステーションから離れた場所にアンテナを 1 つ設置することによって、アンテナの受信エリアを改善することができます。ベースステーションは特定の場所に最適な信号を送るアンテナを選択します。

スピードチーム操作のため屋外受信エリアが必要な場合は、希望の受信エリアに面した、できるだけ近い壁にベースステーションを設置します。この場合、#6 をカバーするために、#5 にベースステーションを設置すると、壁の貫通を最小限に抑えることができます。ベースステーションのそばに大きな窓がある店舗では、ベースステーションが窓に面していると屋外受信エリアが向上します。#6 に隣接して壁に沿って大きな窓があると、屋外受信エリアは強化されます。また、店内の受信エリアも考慮してください。店内と屋外の受信エリアにとって最適の場所にベースステーションを設置しても、屋外受信にむらが出る場合は、アンテナ延長ケーブルを店舗の外に配線する必要があります。この場合、希望する領域の隣のひさしにアンテナを吊り下げれば、店舗の側面をカバーできます。また別の方として、屋根に登り、希望する側面のエリアを見渡せる位置にアンテナを設置します。この方法は、アンテナが低い位置に設置されている場合に、壁など信号を弱める可能性がある障害物を克服できます。

店舗のオーナーやマネージャとベースステーションの設置場所を相談してください。利用できる電源コンセントから 10 フィート(3 メートル)以内で、油脂製品や大型の金属製品から離れた場所に設置する必要があります。また、ディスプレー画面が簡単に見え、コントロールボタンにアクセスできるように、目の高さに合わせて設置する必要があります。

ベースステーションの送信アンテナは、すべての人から少なくとも 7.87 インチ(20cm)離れた場所に設置し、他のアンテナまたは送信機の近くに設置しないようにします。必要な場合は、受信エリアを拡張するためにリモートアンテナキットを使用します。[3.1.6 章を参照してください。](#)

### タンデム、Y レーンまたはデュアルドライブスルー

タンデム、Y レーンまたはデュアルドライブスルーの場合、車両検出器と屋外スピーカーとマイクを各オーダーボードに設置し、[3.2 章](#)と[3.3 章](#)に示されるようにケーブルを配線します。

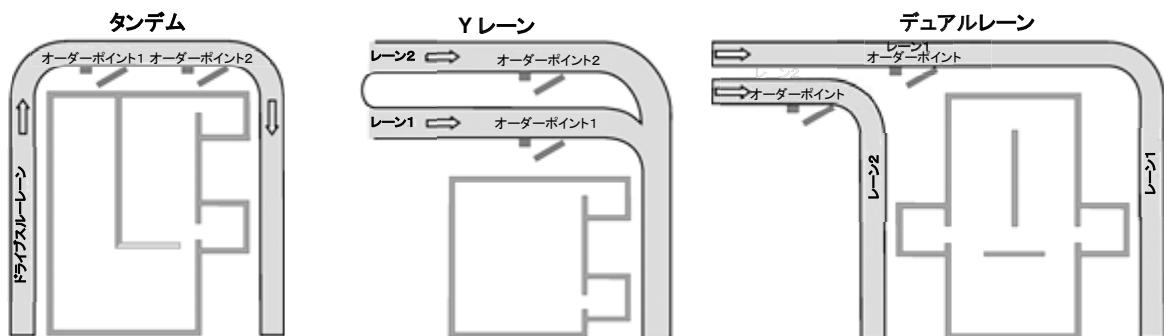
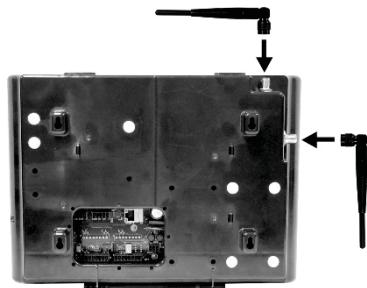


図 9. 一般的なタンデム、Y レーンまたはデュアルドライブスルーのレイアウト

### 3.1.1 ベースステーションへのアンテナの設置

図 12 に示されるように、付属の 2 つのアンテナをベースステーションにアンテナコネクタにねじ込みます。



### 3.1.2 ベースステーション電源の接続

図 10. アンテナ取り付け

図 13 に示されるように、電源にはタイプ A またはタイプ B があります。図 13 に示されるご使用の電源タイプに該当する指示に従って、電源をベースステーションと AC コンセントに接続します。必要に応じて、[図 26~36](#) に示される結線図を参照してください。

**注:** HME から供給された以外の電源を使用する場合は、ユニットを安全に使用するため、24V±5%、50W 以上の LPS(低電圧電源)表記のある安定化電源で、該当する地域の規制要件を満たしているものを使用してください。

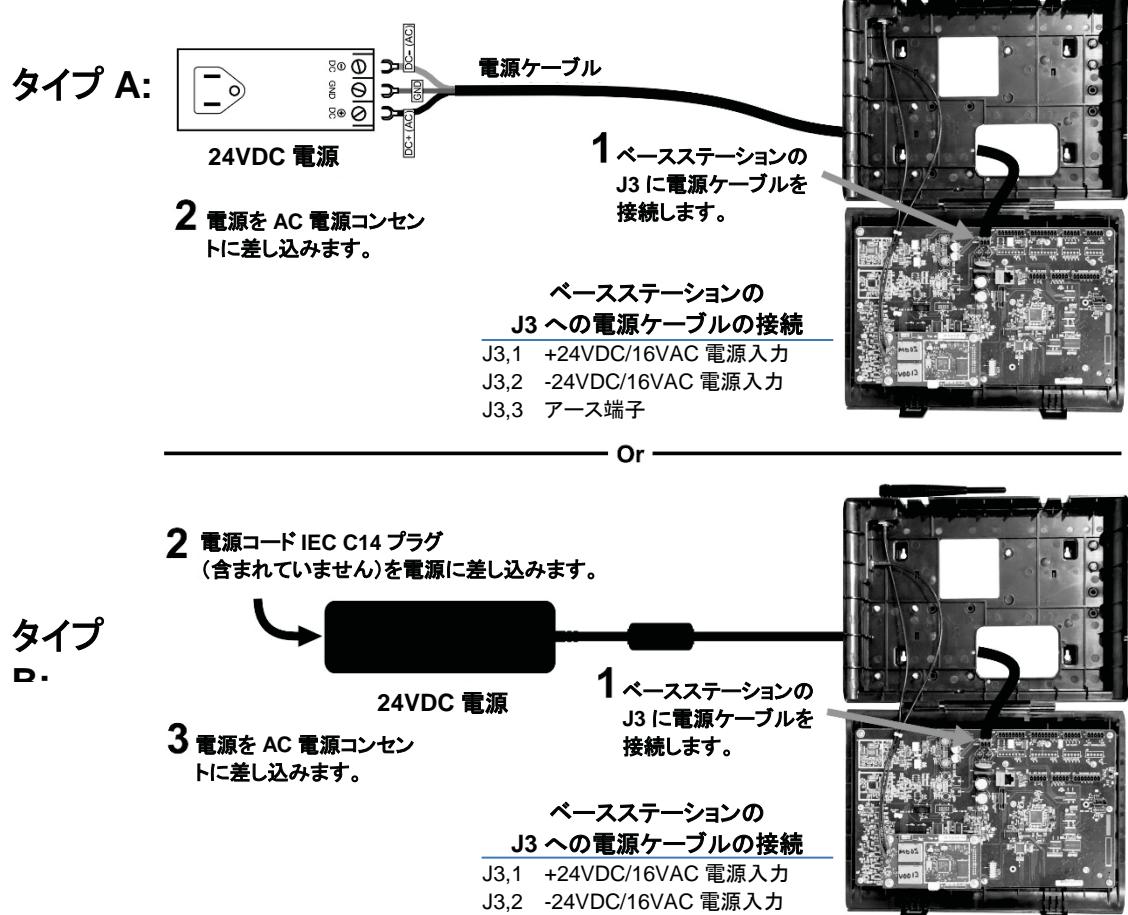


図 11. 電源のベースステーションへの接続

### 3.1.3 ヘッドセットのベースステーションへの登録

**恒久的にベースステーションを壁に設置する前に、ヘッドセットをベースステーションに登録する必要があります。**登録後、ヘッドセットを使用し店舗内を歩き回り、全エリアでの最高の送受信が得られるベースステーションの設置位置を決定することができます。

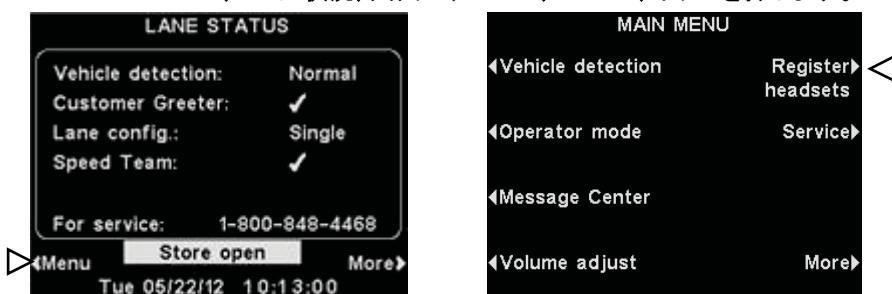
各ヘッドセットをベースステーションに「登録」すると、ベースステーションはヘッドセットの電源が入っていることを認識し、同じような周波数で稼働しているその他の電子機器と区別することができます。

ヘッドセットは 1 つのベースステーションにつき最大 15 個まで登録できます。ヘッドセットを交換する場合は、新しいものを使いはじめる前に登録する必要があります。ヘッドセットを交換すると、古い物の情報はメモリに残ります。登録数が(メモリ内で)最大数の 15 を超える場合、新しいものを登録する前に現在の登録の一部あるいは全部を消去する必要があります。これによりヘッドセットの個数が 15 未満となり、新しいものが登録できるようになります。

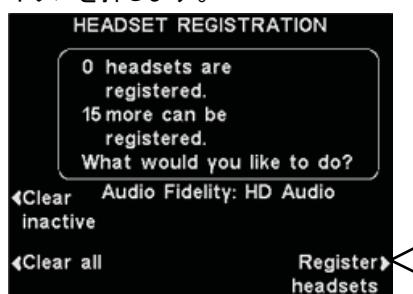
#### 各ヘッドセットの登録方法:

**注:** 登録中、ヘッドセットはベースステーションから 6 フィート(1.83 メートル)以内になければなりません。

- 登録するすべてのヘッドセットの電源がオフになっていること、またベースステーションが電源に接続され、オンになっていることを確認してください。その他のヘッドセットの電源は、オンでもオフでも構いません。
- LANE STATUS(レーン状況)画面で、Menu(メニュー)ボタンを押します。



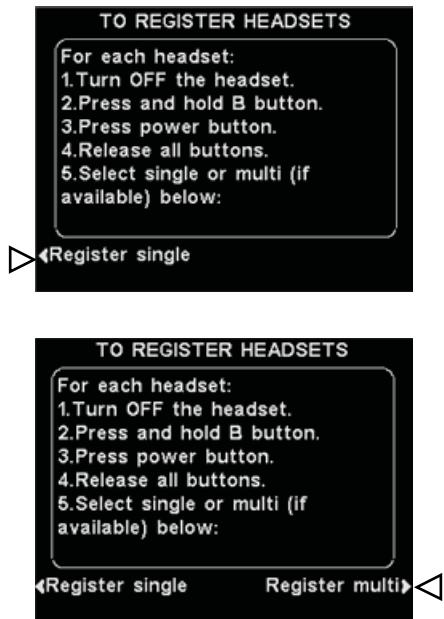
- MAIN MENU(メインメニュー)画面で、Register headsets(ヘッドセットの登録)ボタンを押します。
- HEADSET REGISTRATION(ヘッドセット登録)画面で、Register headsets(ヘッドセットの登録)ボタンを押します。



**Clear inactive(非アクティブの消去)**ボタンを押すと、電源がオフになっているヘッドセットの登録が消去されます。

**Clear all(すべて消去)**ボタンを押すと、ベースステーションに登録されているヘッドセットすべての登録が抹消され、ベースステーションは自動的にリセットされます。登録の消去を実行する前に、中止か実行を促す警告表示がされます。

- TO REGISTER HEADSETS(ヘッドセットを登録するには)画面のボックス内の指示に従います。



- ヘッドセットが全く登録されていないとき、**Register single**(1つを登録)だけが表示されます。一度登録を実行すると、**Register multi**(複数を登録)項目が現れます。

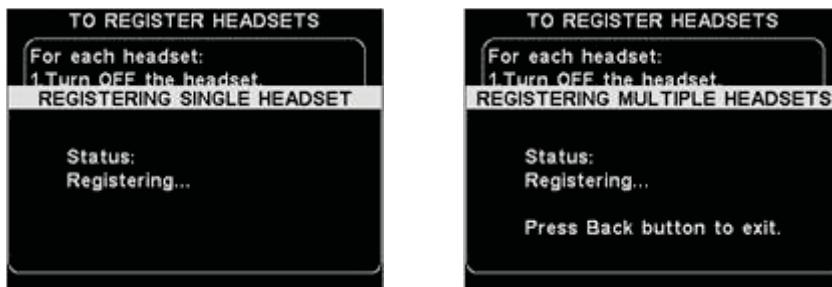
**注:**

これは、Audio Fidelity(音声忠実度)設定で Automatic(自動)に設定されているときに現れます。もし、新しいベースステーションを設置する場合、狭帯域あるいは広帯域ヘッドセットをすでに使用している場合は、Audio Fidelity(音声忠実度)の設定を [4.3.2章 詳細インストーラ設定](#)で Non-HD Audio(非高音質音声)あるいは HD Audio(高音質音声)に設定する必要があります。

- 一つ以上のヘッドセットを登録する場合は、**Register multi**(複数を登録)ボタンを押し、それぞれのヘッドセットをひとつずつ連続して登録します。登録が終了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して、複数登録モードを終了します。

### それぞれの登録が正常に完了すると:

- ヘッドセットに割り当てられた ID 番号が表示されます。ID 番号には 0~9、A、B、C、D、E が連続して割り当てられます。
- ヘッドセットの電源ランプは緑色に点灯したままになります。



- ヘッドセットの登録が完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して、登録モードを終了します。**MAIN MENU**(メインメニュー)または **LANE STATUS**(レーン状態)画面に戻るまで、**Back(戻る)**ボタンを押します。

### ヘッドセットの登録に問題がある場合:

米国では、HME テクニカルサポート(1-800-848-4468)までご連絡ください。

米国以外の国では、各地域の HME 担当までご連絡ください。

### 3.1.4 最適な送信/受信のための歩行テスト

**恒久的にベースステーションを設置する前に、最適な送信/受信見つかるまで、ベースステーションを使っていろいろな場所で歩行テストを行います。**送信/受信を確認するには、二人の人にヘッドセットが使用される領域を歩かせ、お互いに B ボタンを押して交信させたり、メニュー画面の前を歩かせて、スピードチーム操作使用時の受信テストをしたりします。

**注:**アンテナの受信エリアを拡大する必要がある場合は、3.1.6 章に説明されているリモートアンテナキットを取り付けますが、アンテナは恒久的に設置しないようにします。アンテナの送信/受信が最適になる場所が見つかるまで、領域周辺でアンテナを移動しながら歩行テストを繰り返します。

### 3.1.5 壁へのベースステーションの設置

送信および受信が最適になる場所が見つかったら、電源アダプターを引き抜き、以下のように希望する場所にベースステーションを設置します。

- 図 14 に示されるように、ベースステーションの扉を開けた状態で壁に押し付け、キャビネット裏面の 4 つのネジ穴を通して壁に印を付けます。
- ベースステーションを壁から降ろし、壁の印を付けた場所に 3/16 インチ(4.76mm)の穴を開けます。
- 付属の #6 ネジアンカーを穴に差し込みます。
- ネジ頭が壁から 1/8 インチ(3.2mm)はみ出るように、付属のネジを 4 本、アンカーにねじ込みます。
- ベースステーション裏面の 4 つのネジ穴を 4 本のネジの上に合わせ、ベースステーションを下方にスライドさせてからネジをしっかりと締め、ベースステーションを所定の位置に固定します。
- 壁にベースステーションを取り付けた後に、オプションのスイッチャー基板と車両検出基板を取り付けます。

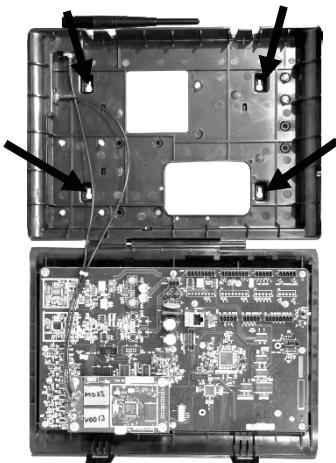


図 12. 4 つのネジ穴が見える  
開いた状態のベースステーション

### 3.1.6 リモートアンテナキットの設置（必要な場合）

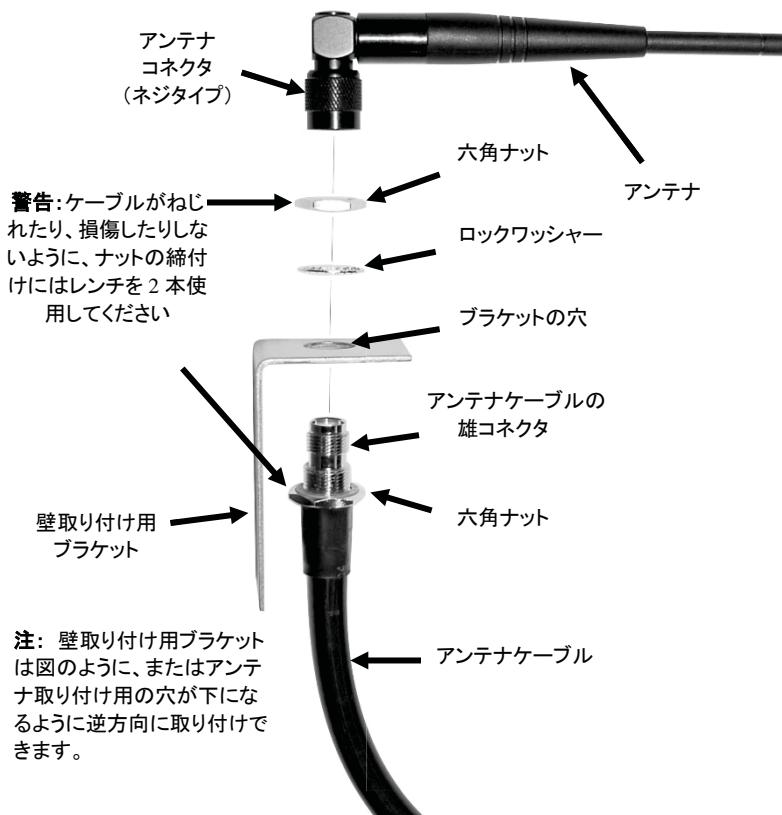
リモートアンテナキットを使うと、1 台のアンテナをベースステーションから最大 30 フィート(9.14 メートル)離れた場所に設置して、受信エリアを向上させることができます。延長ケーブルと取り付け用ブラケットを使えば、アンテナを窓の内側または屋外に取り付け、スピードチーム操作の受信エリアを拡大することができます。リモートアンテナキットは以下のように取り付けます。

- 付属の 30 フィート(9.14 メートル)のアンテナケーブルを、雌コネクタをベースステーション近くに、雄コネクタをアンテナ設置予定の場所に配置します。ケーブルを曲げて、希望する位置に配置します。
- ベースステーションから電源を取り外します。
- ベースステーションの上部からアンテナを取り外します（ネジを緩めて取り外します）。
- アンテナが接続されていたベースステーションのアンテナコネクタに、アンテナケーブルの雌コネクタをねじ込みます。

**注:**コネクタにかかる力を最小限に抑えるため、ケーブルを接続する前に、ケーブルを曲げてベースステーションのアンテナコネクタに位置を合わせます。

- アンテナケーブルのもう一方の端にある雄コネクタに、アンテナをねじ込みます。

- 付属のアンテナ取り付け用ブラケットを、希望する設置場所の壁に押し付け、ブラケットの2つのネジ穴を通して壁に印を付けます。安全上の問題やアンテナへの損傷を回避できる高さにアンテナを取り付ける必要があります。
  - 壁からブラケットを外し、壁に付けた印の部分に3/16インチ(4.76mm)の穴を2つのドリルで開けます。
  - 付属のネジアンカーを穴に差し込みます
  - 付属のネジを2本、ブラケットの穴に入れ、2つのネジアンカーにねじ込んで、ブラケットを壁に固定します。
  - アンテナケーブルからアンテナを取り外します。ベースステーションからはアンテナケーブルを取り外さないでください。
  - アンテナケーブルのコネクタから六角ナットを緩めます。
  - 図15に示されるように、取り付けブラケットの穴にアンテナケーブルのコネクタを挿入し、六角ナットをコネクタに締めて、ブラケットを所定の場所に固定します。
- 注:** ブラケットにかかる力を最小限に抑えるため、ケーブルを接続する前に、ケーブルを曲げてブラケットに位置を合わせます。
- 壁に取り付けられたケーブルコネクタに新しいアンテナを取り付けます。
- 注:** アンテナを壁と直角に取り付けると、最適な送信/受信が得られる場合があります。ただし、安全上の問題になる、またはぶつかって破損する可能性がある場合は、アンテナは壁に平行に取り付けます。
- ベースステーションの電源をオンにし、通常操作を再開します。



## 3.2 ケーブル配線

**注意:HME オーディオケーブルを使用しない場合は、使用するスピーカー/マイク用ワイヤーがツイストペアであることを確認します。全二重式を設置する場合、スピーカーとマイクに別々のケーブルを使用しないと、ハウリングが発生します。高圧ケーブルをオーディオケーブルやループケーブルと同配管に通さないでください。**

HME が推奨するオーディオケーブルは、4 本の色分けされた絶縁ワイヤーと 1 本の裸シールド(ドレイン)ワイヤーでできています。オーディオケーブルは、コンポーネントをベースステーションに接続するために使用します。以下のように、配管を通してスピーカーポストまたはメニュー ボードから建物にケーブル(全二重式の場合は 2 本、半二重式の場合は 1 本)を配線します。

デュアルドライブスルーレーンに設置する場合は、以下の手順を繰り返して、建物の内側から各レーンのスピーカーポストやメニュー ボードにシールドケーブルを通します。

タンデムドライブスルーレーンに設置する場合は、以下の手順を繰り返して、建物の内側から各オーダーポイントのスピーカーポストまたはメニュー ボードにシールドケーブルを通します。

- 建物の内側から、配管を通じてスピーカーポストやメニュー ボードにスチールを通します。
- 外に出ます。複数のケーブルを配線する場合は、識別できるようにケーブルとスプールに印を付けます。各ケーブルを配管から出ているスチールに固定し、建物の中に戻ります。
- 配管を通じて、スチールとケーブルを建物の中に引きこみます。スチールからケーブルを外し、ベースステーションに充分届くようにケーブルを引っ張ります。
- 再び建物の外に出て、ケーブルを屋外の配管からスピーカーポストやメニュー ボードのスピーカーとマイクユニットに走らせます。
- 約 3 フィート(915mm)の長さの余分に残して、ケーブルを切断します。複数のケーブルを配線する場合は、識別できるように再びケーブルの端に印をつけます。
- 各ケーブルの端から、外側の絶縁体を約 2 インチ(50mm)取り除きます。ケーブルの各 4 本のワイヤーから絶縁体を約 1/2 インチ(12mm)剥ぎ取ります。
- 可能であれば、すべてのケーブルと一緒に壁を通じて天井パネルの上に通します。たるんでいるケーブルを切断して、余分なケーブルを巻いて天井やその他の場所におかないようにします。

## 3.3 屋外マイクとスピーカーの設置とケーブル接続

このセクションでは、DM5 マイクと SP10 スピーカーを使用する標準の全二重式設置について説明します。設置要件が異なる場合があります。デュアルレーンまたはタンデムシステムでは、スピーカーとマイクはレーンやオーダーポイントそれぞれに対して配置する必要があります。[図 26~36](#) の配線図を参照してください。

**注:DM5 マイクは 3 本のワイヤーの接続が必要です。**

まず、スピーカーポストやメニュー ボードのスピーカーグリルにマイクを取り付けます。マイクの位置は、お客様が直接話しかけることができる位置にします。ハウリングを防ぐため、中心距離で最低 2 フィート(610mm)あけておけば、スピーカーはマイク周辺のどの場所にでも設置可能です。

### 3.3.1 DM5 マイクの設置

標準的な DM5 マイクの設置には、成形スポンジエンクロージャへの配置、スピーカーポストの上部コンパートメント内側への設置、ドライブスルー音声システムからのマイク/スピーカー用ケーブルワイヤーへの接続、アコースティックフォーム（含まれていません）によるユニット後部の隙間の補填などが含まれます。DM5 を小さなエリアに取り付ける場合は、コンパートメントを閉じることができるように成形スポンジエンクロージャを圧縮する必要があります。標準的なスピーカーポストに DM5 を取り付けるには、以下の指示に従います。メニュー ボードのマイクコンパートメントへの設置は、スピーカーポストへの設置と同様です。



図 14. DM5 マイクロフォン

- スピーカーポストを開けて、既存の装置やスポンジ、ごみ屑を取り除きます。既存のマイクがある場合は、それを取り外し、それに接続されているマイクケーブルを外します。
- 図 17 に示されるように、スポンジのマイクエンクロージャから小さなスポンジ部分を取り外して、2つのスポンジに分けます。
- 図 17 に示されるように DM5 マイクのケーブルを、スポンジエンクロージャの穴から通し、マイクを穴に設置します。
- 図 17 に示されるようにマイク後方の隙間に埋めるように、取り除いたスポンジをスポンジエンクロージャの穴の後ろに入れ直します。
- スポンジが圧縮されてぴったりと合うように、スポンジエンクロージャの横と縦が上部スピーカーポストのコンパートメントより 1/4 から 1/2 インチ（約 6~12mm）大きくなるように鋸歯状のナイフで切り取ります。必要に応じて、コンパートメントを詰めるために、切り取ったスポンジの断片を取っておきます。
- 図 18 に示されるように、マイクの前面にウインドウスクリーンを置き、スピーカーグリルをすべてカバーできるように設置します。
- 図 18 に示されるように、スポンジエンクロージャに入ったマイクをコンパートメントに入れ、マイクのウインドウスクリーン前面が金属部分と水平になり、グリルの中央に来るようになります。
- 音声システムの配線図に従い、音声システムのマイクケーブルのワイヤー（新規または既存のもの）を DM5 の背面から伸びているケーブルワイヤーに接合します。接合部をはんだ付けした後、収縮チューブやクリンプキャップで接合部をカバーします。
- DM5 マイクとスポンジエンクロージャの後ろの隙間を埋めるには、アコースティックフォーム（含まれていません）を詰めます。

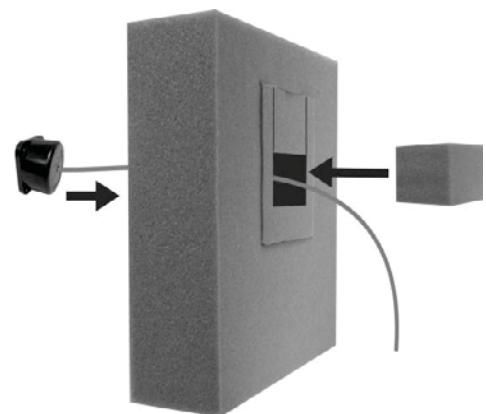


図 15. DM5 と小スポンジのスポンジエンクロージャへの配置

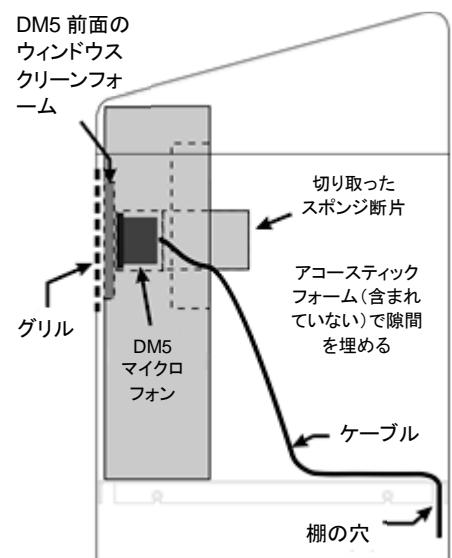


図 16. 一般的なスピーカーポストへのマイクユニットの設置

### 3.3.2 SP10 スピーカーの設置

- スピーカーケーブル末端の絶縁体を約 1 インチ(25.4mm)、そして 2 つのケーブルワイヤーをそれぞれ 1/4 インチ(6.35mm)剥ぎますが、ワイヤーは半田上げをしません。図 19 に示されるように、スピーカーケーブルのワイヤーをコネクタプラグに接続します。
- 図 19 のように、コネクタのプラグをスピーカーのコネクタに差し込みます。

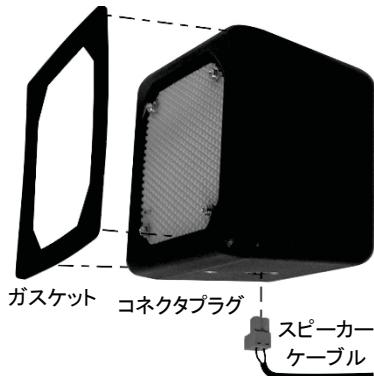


図 17 ガスケットとケーブルコネクタ付き SP10

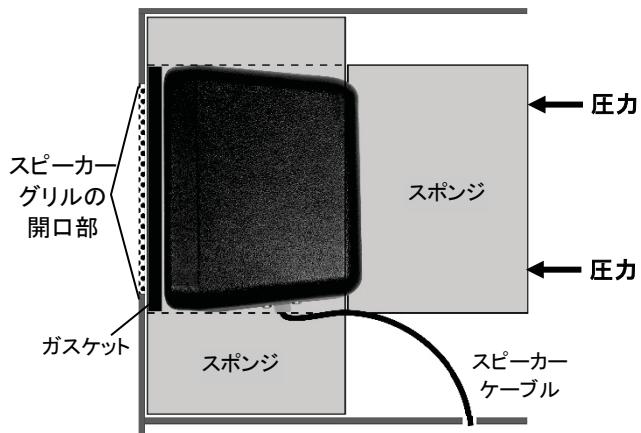


図 18 スピーカーポスト、メニューボードまたはエンクロージャの中の SP10

#### オプションの取り付け用ブラケットを使用しない場合:

- 図 19 に示されるように、粘着ガスケットから台紙をはがし、ガスケットの接着面をスピーカー前面に押し付けます。
- 図 20 に示されるようにガスケットがスピーカーグリルの内側の真ん中に接するように、スピーカーをスピーカーポストまたはメニューボードの内側に取り付けます。ケーブルコネクタは下部、または右側か左側のいずれかに出すことができます。ガスケットの開口部をグリルの開口部に合わせます。
- 成形スポンジエンクロージャから中心のスポンジを取り外し、スピーカーの周りをスポンジエンクロージャで囲みます。必要に応じて、鋸歯状ナイフでスポンジを切り取ります。取り外しておいたスポンジをスピーカーの後部に詰め、スポンジを押して圧力をかけ、ガスケットがスピーカーグリルの開口部に密着するようにします。

### オプションの取り付けブラケットを使用する場合:

- 図 21 に示されるように、付属の 2 つのプラスネジを使用し、ブラケットをスピーカーユニットの両側のネジ挿入部分に取り付けます。



図 19 スピーカーへのブラケットの取り付け

- スピーカー前面がメニュー ボードまたはスピーカーポストのスピーカーグリルの真ん中に接するよう に、スピーカーを支えます。スピーカーの 2 つの取り付けブラケットの穴からメニュー ボードまたはス ピーカーポストに印を付け、スピーカーをいったん脇に置きます。2 つの印を付けた場所にスピーカー 取り付け用ブラケットの穴とほぼ同じサイズの穴をドリルであけます。
- 図 19 のように、粘着ガスケットから台紙をはがし、スピーカー前面にガスケットの接着面を押しつけます。
- スピーカーグリルにガスケットが接するように、ドリルで開けた 2 つの穴に取り付け用ブラケットの穴 を合わせて、スピーカーポストまたはメニュー ボードの内側にスピーカーを当てて支えます。
- スピーカーポストまたはメニュー ボードの外側から、付属の固定ネジに 2 つのワッシャーを取り付 け、ドリルであけた 2 つの穴にネジを締めます。スピーカーポストまたはメニュー ボードの間が隙間 なくぴったりと接する程度にネジのナットを締めます。
- 図 20 に示されるように、スピーカーの横と後ろにスポンジを詰めます。

## 3.4 オプションの外部車両検出器の設置

- 外部タイプの車両検出器を使用する場合は、それ専用の設置手順に従って設置を行います。[図 26～36](#) の配線図を参照してベースステーションに接続してください。内部車両検出器と外部車両検出器の接続が異なることに注意してください。
- レーン 1 の外部車両検出器の場合、検出器の出力から EOS|HD ベースステーションのオーディオ基板の J6 コネクタにケーブルを配線します。レーン 2 の外部車両検出器の場合、検出器の出力からオーディオ基板の J14 コネクタにケーブルを配線します。
- ベースステーション側のケーブルの末端からシースを 4 インチ(100 mm)取り除き、ケーブルから出ている色分けされた各ワイヤーから絶縁体を 1/4 インチ(6mm)剥がします。
- [図 26～36](#) の配線図に従って、色分けされたワイヤーを J6 または J14 コネクタのネガティブ車両検出入力用の 3 ピンと 5 ピンに接続します。ワイヤーの短絡を防ぐため、ワイヤーが各コネクタプラグに完全に挿入されていることを確認してください。

## 3.5 オプションの HME 車両検出基板(VDB)の設置

ベースステーションに HME VDB を設置するには、以下の手順に従います。

**注:**タンデムシステムの場合、2つのVDBをベースステーションに設置しますが、ひとつはオーダーポイント#1の「VDB レーン 1」の位置、そしてもうひとつはオーダーポイント#2の「VDB レーン 2」の位置に設置します。

- キャビネット上部のラッチを押し下げながら、注意深くカバー上部を手前、下向きに動かしてベースステーションを開きます。
- [図 26～36](#) に該当する配線図に示されるように、VDB の 3 つの穴をベースステーション内部の右上の 3 つのプラスティックスタッドに合わせます。3 つのスタッドの先端が基板の穴にきちんと入るまで、VDB を押します。

**スイッチャーベースがある場合は**、[図 26～36](#) に示されるように、VDB の付属ケーブルアセンブリを車両検出器基板の P1 コネクタに、J6 コネクタのもう一方の端を該当するレーン 1 またはレーン 2 のスイッチャーベースに接続します。

**スイッチャーベースがない場合は**、[図 26～36](#) に示されるように、ケーブルアセンブリを車両検出器基板の P1 コネクタに、もう一方の端をオーディオ回路基板の J10 コネクタ(レーン 2 用の場合は J20)に接続します。

- ループコイルのリードケーブルを車両検出器基板の TB1 端子台に配線します。
- ベースステーションのカバーを閉じ、しっかりととはまるまで押して、ロックします。

## 4. ベースステーションの設定

### 4.1 設定状態

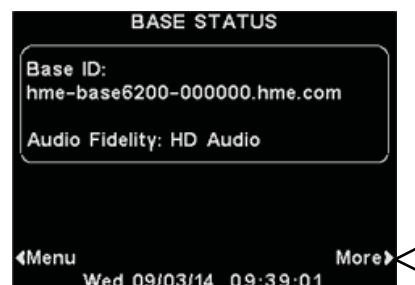
LANE STATUS(レーン状態)画面には、現時点でのシステム設定情報が表示されます。また、HMEテクニカルサポートのフリーダイアルの電話番号も表示されます。画面下には日付と時刻が表示されます。



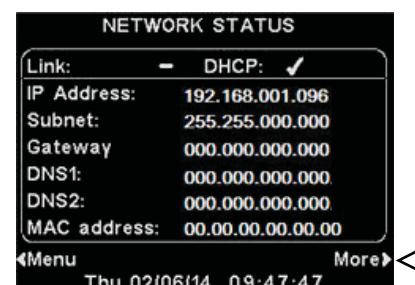
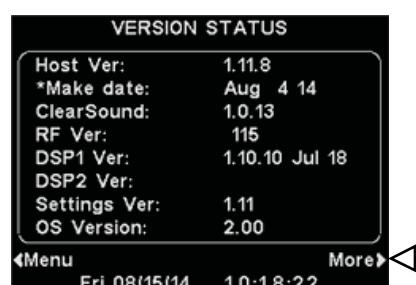
#### 注意:

マルチレーンの場合は、LANE STATUS(レーン状態)画面に、L1(レーン 1)用とL2(レーン 2)用の車両検出設定状態、レーンタイプ設定情報が表示されます。  
Dedicated(専用)モードの設定状態✓(オン)または-(オフ)も表示されます。

追加のシステム情報を表示する場合は、LANE STATUS(レーン状態)画面の More(詳細)ボタンを押します。各 STATUS(状態)画面は他のベースステーション情報、ネットワーク動作に必要な情報、バージョン情報等を表示します。



すべてのシステム設定にアクセスできる MAIN MENU(メインメニュー)を表示するには、いずれの STATUS(状態)画面においても、画面左下の Menu(メニュー)ボタンを押します。



## 基本インストーラの設定

インストーラの設定モードにアクセスするには、インストーラのパスワードが必要です。インストーラのパスワードがある場合には、次の手順を実行します。

**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押し、**MAIN MENU(メインメニュー)**にアクセスします。

**MAIN MENU(メインメニュー)**で **More(詳細)**ボタンを押して、**ADVANCED MENU(詳細メニュー)**にアクセスします。



**ADVANCED MENU(詳細メニュー)**で **Installer setup(インストーラの設定)**を押して、**ENTER INSTALLER PASSWORD(インストーラのパスワード入力)**画面にアクセスします。



**Enter Password(パスワードの入力)**フィールド内のハイライト表示のボックスに 4 衝の最初の文字を入力するため、+ボタンでアルファベットを、-ボタンで数字を入力します。▶(右)ボタンを押し、次の文字入力のため、ハイライトボックスを右側に移動します。4 衝のパスワードを入力するため、この操作を繰り返します。すべての文字を入力したら、**Installer setup(インストーラの設定)**画面にアクセスするため、**Continue(継続)**ボタンを押します。

**注:**間違えた場合は、◀(左)または▶(右)ボタンを使って、必要な位置にハイライト表示のボックスを移動して文字を変更するか、**Clear all(全消去)**ボタンを押して、すべてを消去し最初から入力します。

もし、正しくないパスワードを入力し、**Continue(継続)**ボタンを押した場合は、「Invalid password, try again(無効なパスワードです。再入力してください。)」と表示されます。3 回正しくないパスワードを入力すると、次のパスワード入力まで 5 分間入力がロックされます。

パスワードが承認されると **INSTALLER SETUP(インストーラの設定)**画面が表示され、以下のインストーラ設定が行えます。



### 注意:

マルチレーン設定の場合、サンプル例には表示されていませんが、**INSTALLER SETUP(インストーラの設定)**画面に、**Split B(スプリット B)**設定が合わせて表示されます。これらの設定は [Appendix\(参照\)](#) で説明されています。

## 4.2.1 レーンの設定

適切なドライブスルーレーン構成にベースステーションを設定するには、**INSTALLER SETUP(インストーラ設定)**画面の **Configure Lane(レーン設定)**ボタンを押して、**Single(シングル)**、**Single/A2(シングル/A2)**、**Dual/Y(デュアル/Y)**、**Tandem(タンデム)**のいずれかを選択します。設定を変更したら、設定を保存し、ベースステーションを自動的に再起動させるために、**Back(戻る)**ボタンを押さなければなりません。



**注意:** もしベースステーションがシングル用であれば、**Single(シングル)**、**Single/A2(シングル/A2)**だけが表示されます。

もし **Dual/Y(デュアル/Y)**、**Tandem(タンデム)** 設定がされた場合、レーン 1、レーン 2 ともに可能となる設定情報が表示されます。

マルチレーン用オプションは [Appendix\(付録\)](#) を参照してください。

- **Single(シングル)** レーン設定はひとつのレーン、スピーカーポスト、天井スピーカーに対応します。
- **Single/A2(シングル/A2)** レーン設定はシングルレーンのベースステーションとして動作しますが、A2 ボタンを店内会話の代替チャンネルに使用することができます。
- **Dual/Y(デュアル/Y)** レーン設定はふたつのレーン、ふたつのスピーカーポスト、ふたつの天井スピーカーに対応します。(この設定はデュアルレーン用ベースステーション専用です)
- **Tandem(タンデム)** レーン設定はふたつのスピーカーポストが直列に並んでいるシングルレーンに対応します。(この設定はデュアルレーン用ベースステーション専用です)

## 4.2.2 Auto-Hands-Free(自動ハンズフリー)

Auto-Hands-Free (AHF) モードは、お客様がメニュー ボードやスピーカーポストに到着すると、送信と受信が自動的に有効化されます。会話は普通の電話での会話のように同時に受け答えができます。

AHF 操作ができるようにシステムを設定するには **INSTALLER SETUP(インストーラ設定)** 画面で **Auto Handsfree(自動ハンズフリー)** ボタンを押し、**✓(オン)**を選択します。AHF をオフにするには-**(オフ)**を選択します。設定を変更したら、設定を保存し、ベースステーションを自動的に再起動させるために、**Back(戻る)**ボタンを押さなければなりません。

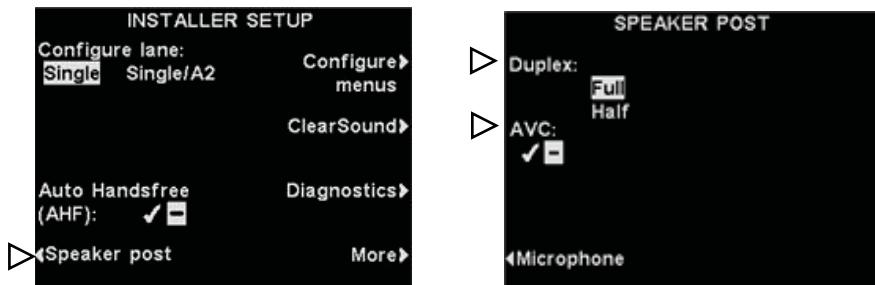


### 注意:

自動ハンズフリーはヘッドセットの機能でもあります。ベースステーションで AHF 機能を**✓(オン)**にした後、AHF 動作を行うために、ヘッドセットも AHF 設定にしなければなりません。ヘッドセットを AHF 設定にする方法は、[6.3 single lane\(シングルレーン\)用](#)、[6.4 dual/y lanes\(デュアル/Yレーン\)用](#)、[6.5 tandem lane\(タンデムレーン\)用](#) をそれぞれ参照してください。

### 4.2.3 スピーカー・ポスト

INSTALLER SETUP(インストーラ設定)画面の Speaker post(スピーカー・ポスト)を選択し、PEAKER POST(スピーカー・ポスト)画面にアクセスし、屋外スピーカー/マイクの設定を行います。



#### 注意:

マルチレーンの設定では、スピーカー・ポストの設定はレーンごとに表示されます。設定方法はシングルレーンの場合と同じになります。

Duplex(二重)ボタンを押し、Full(全)またはHalf(半)二重式操作を選択します。

AVCボタンを押して、AVC(Automatic Volume Control【自動音量調整】)の✓(オン)または-(オフ)を選択します。屋外に過度の騒音がある場合、スピーカーから流れるオーダー受付係の音声レベルが上がるよう調整されます。ドライブスルーの周辺が静かになると、音声レベルが下がるように調整されます。

Microphone(マイクロфон)ボタンをおして、以下の屋外マイク設定を行います。

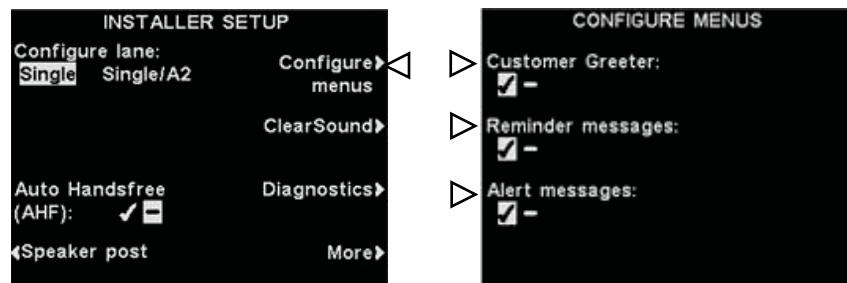


スピーカー・ポストに取り付けるマイクのタイプを選択するには、希望するマイクがハイライトされるまで Microphone(マイクロфон)ボタンを押します。ドライブスルーレーンでのマイクと車両の間の距離を選択するには、適切な距離がハイライトされるまで Distance to vehicle(車両までの距離)ボタンを押します。

Back(戻る)ボタンを押して、設定を保存します。

### 4.2.4 環境設定メニュー

Configure menus(環境設定メニュー)はメッセージセンターの設定を行いますが、マネージャ以外の人間が設定変更を行い内容にセキュリティがかけられています。変更を行うには、INSTALLER SETUP(インストーラ設定)画面で Configure menus(環境設定メニュー)を選択します。



On the CONFIGURE MENUS(環境設定メニュー)画面で各項目のボタンを押し、✓(オン)あるいは-(オフ)をハイライト表示させます。-(オフ)を選択すると、MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンターメニュー)からこの項目のメッセージが削除されます。これにより、マネージャが CONFIGURE MENUS(環境設定メニュー)の各項目の✓(オン)をハイライト表示させるまで、だれもメッセージセンターの設定を変更できないようになります。

Back(戻る)ボタンを押して、設定を保存します。

## 4.2.5 クリアサウンド

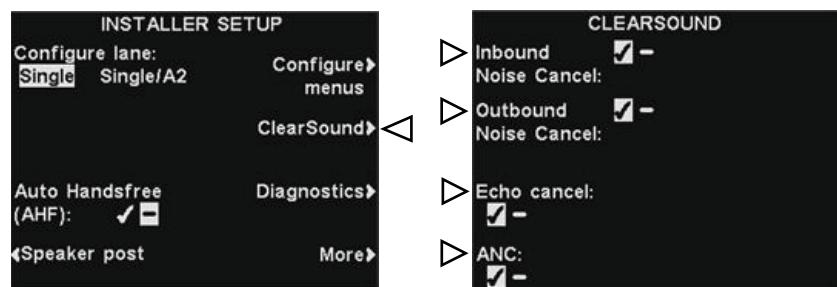
ClearSound(クリアサウンド)は、屋外スピーカーからのお客様の音声伝達をさらに明瞭化するため、環境騒音を低減します。INSTALLER SETUP(インストーラ設定)画面で ClearSound(クリアサウンド)ボタンを押して、CLEARSOUND(クリアサウンド)画面にアクセスします。

クリアサウンドのノイズキャンセル機能をオンまたはオフにするには、Inbound(入力)または Outbound Noise cancel(出力ノイズキャンセル)ボタンを押して、✓(オン)あるいはー(オフ)をハイライトさせます。

エコーフィルタにより、屋外スピーカーからヘッドセットに戻るエコー音を低減することができます。エコーフィルタをオンまたはオフにするには、Echo cancel(エコーフィルタ)ボタンを押して、✓(オン)あるいはー(オフ)をハイライトさせます。

**注:** 半二重式が選択されている場合は、Echo cancel(エコーフィルタ)は自動的にー(オフ)になります。

ANC(自動騒音制御)は、お客様が屋外のマイクに向かって話をすると音声を感知し、お客様が音声を発していないときは、入力音声レベルを下げます。ANCをオンまたはオフにするには、ANCボタンを押して、✓(オン)あるいはー(オフ)をハイライトさせます。



**注:**  
マルチレーンの場合は、  
CLEARSOUND(クリアサ  
ウンド)画面はレーンごと  
に分割されて表示されま  
す。設定はシングルレーン  
の場合と同じになります。

Back(戻る)ボタンを押して、設定を保存します。

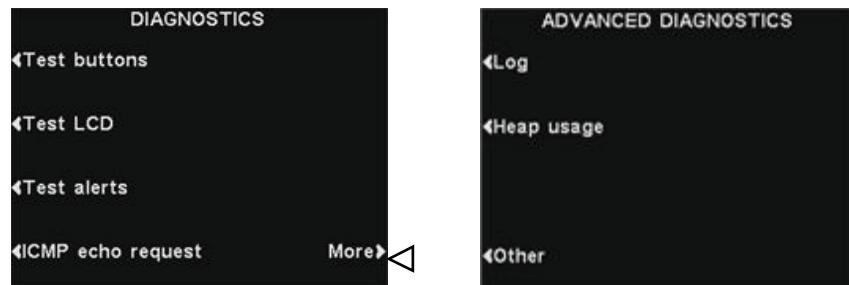
## 4.2.6 診断

EOS|HD にいろいろな機能診断テストを実行させるには、INSTALLER SETUP(インストーラ設定)画面で Diagnostics(診断)ボタンを押します。



**注:** 診断は通常、HME テクニカルサポートの指示に従って実行します。

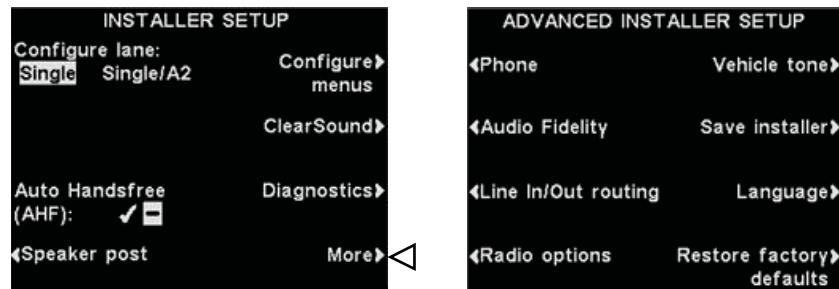
Diagnostics(診断)画面の More(詳細)ボタンを押すと、ADVANCED DIAGNOSTICS(詳細診断)画面に追加のテストが表示されます。



各画面の左側のボタンを押すことで、診断テストが実行されます。

## 詳細インストーラの設定

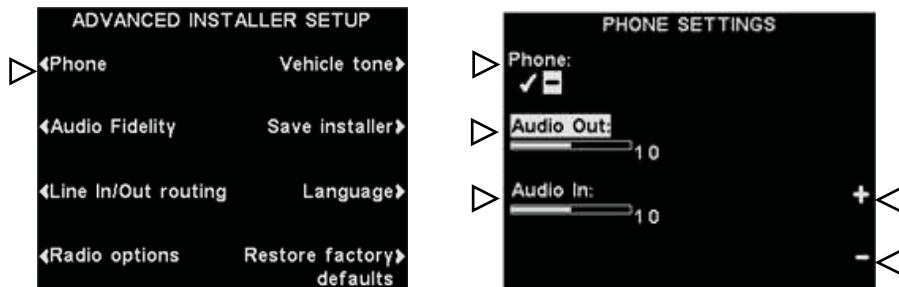
以下の詳細インストーラの設定を実行するには、**INSTALLER SETUP**(インストーラ設定)画面の**More(詳細)**ボタンを押し、**ADVANCED INSTALLER SETUP**(詳細インストーラ設定)画面にアクセスします。



### 4.3.1 電話

電話注文用に電話がベースステーションに接続されている場合は、電話操作用の設定を行う必要があります。これを行うには、**ADVANCED INSTALLER SETUP**(詳細インストーラ設定)画面で、**Phone(電話)**ボタンを押します。**PHONE SETTINGS**(電話の設定)画面で✓(オン)を選択します。電話を使用しない場合は、ー(オフ)を選択します。

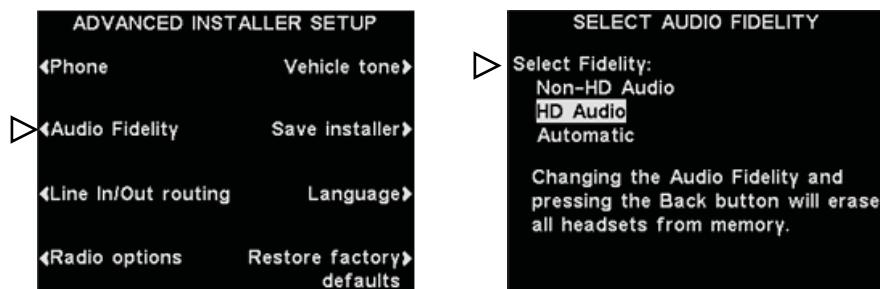
電話の発信または着信の音声レベルを調整するには、**Audio Out(送信音声)**または**Audio In(着信音声)**のボタンを押した後、+(アップ)または-(ダウン)を押して希望するレベルを設定します。



**注:**電話機能を✓(オン)に設定した場合は、電話用ヘッドセットを選択する必要があります。[4.5.7 章の Phone Headset\(電話用ヘッドセット\)](#)の項を参照して下さい。オプションの電話インターフェイスも必要です。図 36 のオプション機器の配線図を参照してください。

### 4.3.2 音質忠実度

新しいベースステーションを設置する場合、全ヘッドセットの音質を Non-HD(通常音質)あるいは HD Audio(高音質)(規定値)に設定しなければなりません。これを行うには、**ADVANCED INSTALLER SETUP**(詳細インストーラ設定)画面で、**Audio Fidelity(音質忠実度)**を選択し、**SELECT AUDIO FIDELITY(音質忠実度の設定)**画面で、**Select Fidelity(忠実度の選択)**ボタンを押します。もし Automatic(自動)が選択されていると、登録する最初のヘッドセットの音質忠実度が選択されます。



Back(戻る)ボタンを押して、設定を保存します。

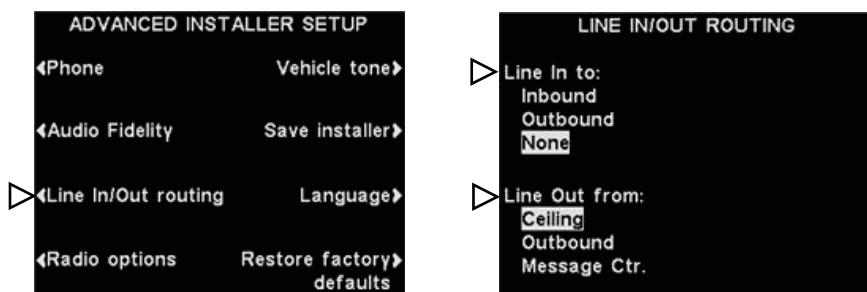
**注意:**この変更を実施すると、すべてのヘッドセットの再登録が要求されます。

### 4.3.3 ライン入力/出力のルート

外部オーディオソースがベースステーションのライン入力に接続されている場合は、**ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)**画面で、**Line In/Out routing(ライン入力/出力ルート)**ボタンを押し設定を行います。

**Line In to:**(ライン入力先)ボタンを押し、ヘッドセット、天井スピーカー、または着信音声が通常流れれる場所で聞こえる音源を、外部音源とする場合、**Inbound(入力)**ボタンを押します。**Outbound(出力)**ボタンを選択すると外部スピーカーで聞こえる音源が選択されます。

デバイス(例えばレコーダなどの)がベースステーションのライン出力に接続されている場合は、**Line Out from:**(ライン出力先)ボタンを押し、**Ceiling(天井)**スピーカーからの音声、屋外スピーカーへの**Outbound(出力)**音声、または**Message Ctr.(メッセージセンター)**からのメッセージを、ライン出力に接続されているデバイスに流すかどうかを選択します。



#### 注:

マルチレーンの場合は、**Line In/Out routing(ライン入力/出力ルート)**画面はレーンごとに分割されて表示されます。設定はシングルレーンの場合と同じになります。

### 4.3.4 無線オプション

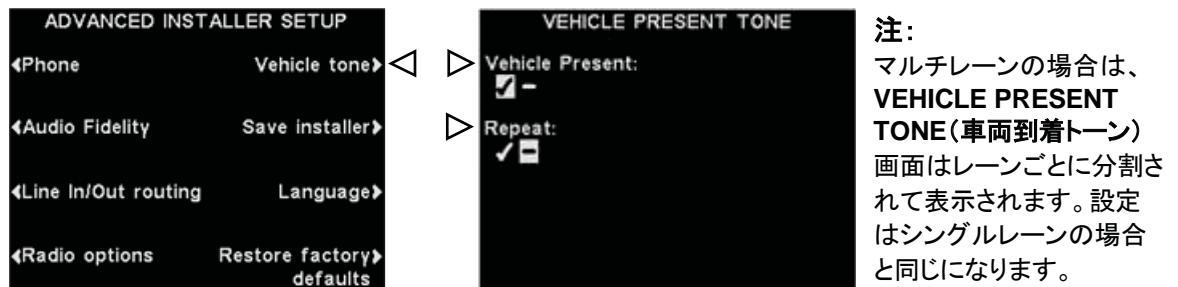
これは変更しないでください。以下に示される工場出荷時初期設定の無線オプションのままにします。



### 4.3.5 車両のトーン

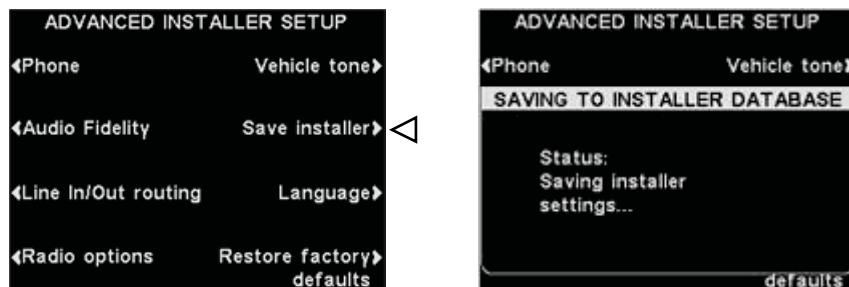
車両がドライブスルーレーンに到着した時点で、すべてのヘッドセットに警告音が流れるようになるには、ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)画面で、Vehicle tone(車両のトーン)ボタンを押し、VEHICLE PRESENT TONE(車両到着トーン)画面で Vehicle Present(車両到着)ボタンを押して、 (オン)を選択します。警告音を鳴らさない場合は、-(オフ)を選択します。

オーダー受付係がお客様に対応するまで3秒間隔で繰り返し警告音が流れるようになるには、Repeat(繰り返し)ボタンを押し、 (オン)を選択します。車両が到着したときだけ鳴らし、繰り返さない設定の場合は、-(オフ)を選択します。



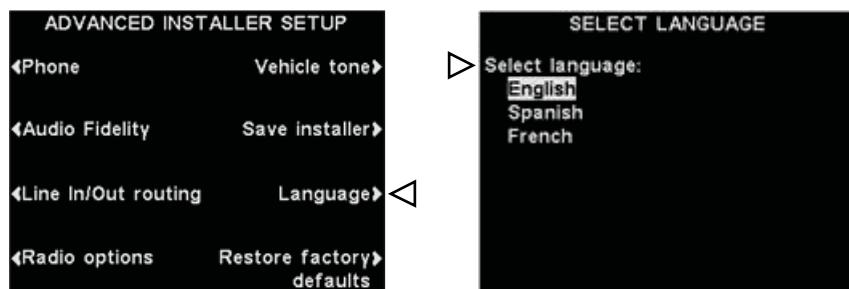
### 4.3.6 インストーラ設定の保存

行ったすべての設定を保存するには、ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)画面で、Save installer(インストーラの保存)ボタンを押します。設定は、インストーラ設定として保存されます。この機能はインストールの最後に実行することを強くお勧めします。これにより、ユーザーは固有のインストール設定のすべてをバックアップできることになります。



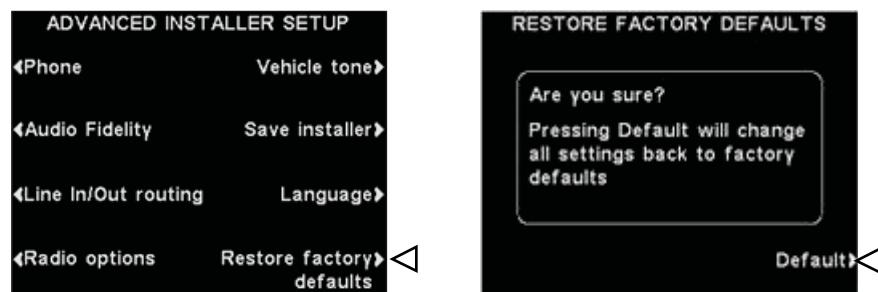
### 4.3.7 言語の選択

使用する言語を選択するには、ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)画面で、Language(言語)ボタンを押します。SELECT LANGUAGE(言語の選択)画面で Select language(言語の選択)ボタンを押し、English(英語)、Spanish(スペイン語)、またはFrench(フランス語)のいずれかをハイライトさせ、Back(戻る)ボタンを押します。ベースステーションは選択された言語を効化するため、自動的に再起動されます。



#### 4.3.8 初期値の復元

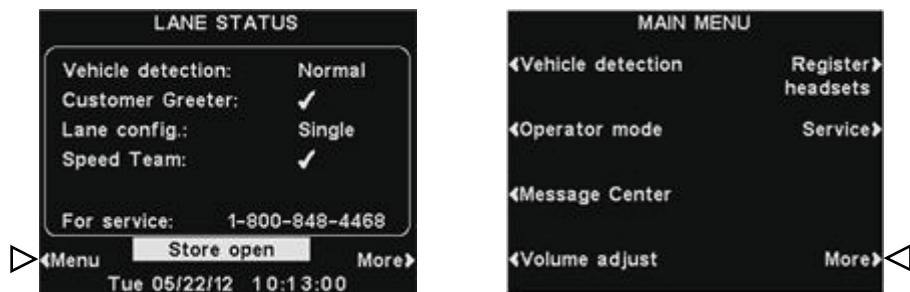
すべての設定を消去し、ベースステーションを工場出荷時の設定に戻すには、ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)画面で、Restore factory defaults(工場出荷時設定に復元)ボタンを押します。すべてを工場出荷時の設定に変更することを確認してから、RESTORE FACTORY DEFAULTS(工場出荷時設定に復元)画面で、Default(初期値)ボタンを押します。ベースステーションは工場出荷時設定を有効にするため、自動的に再起動されます。



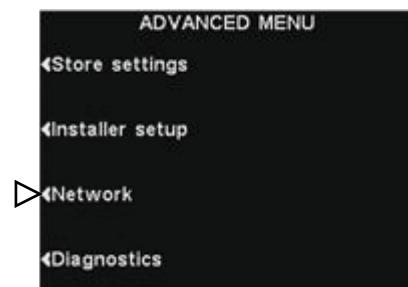
**注意:**ベースステーションを工場出荷時設定に戻すと、設定言語は英語となります。スペイン語やフランス語に言語設定を戻すには、[言語の選択](#) を参照してください。

## ネットワーク設定

ベースステーションが、リモートアクセス用のコンピュータネットワークに接続されている場合は、IT 部門からの情報に基づき、ネットワーク情報を入力する必要があります。これを実行するには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押し、**MAIN MENU(メインメニュー)**で **More(詳細)**ボタンを押します。



**ADVANCED MENU(詳細メニュー)**画面で、**Network(ネットワーク)**ボタンを押し、**NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)**画面を開きます。



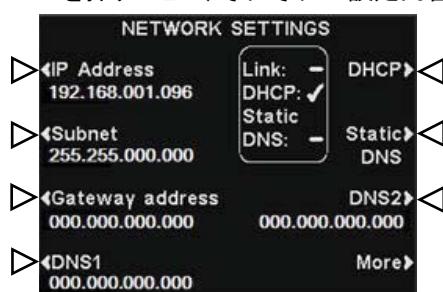
### 注:

いくつかのネットワーク設定変更はベースステーションを自動的に再起動させます。

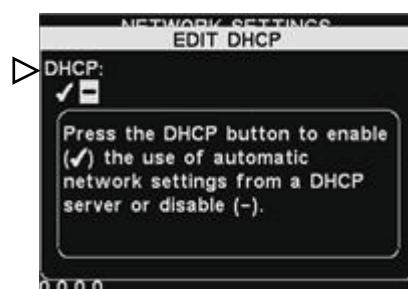
### 4.4.1 基本ネットワーク設定

**NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)**画面で、変更したい設定のそれぞれのボタンを押します。変更したい項目の画面が開きます。

ネットワーク設定の説明は以下です。**NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)**画面で関連するボタンを押すことで、それぞれの設定内容の確認と変更が行えます。



- **DHCP** – ローカルネットワーク上の DHCP サーバーによるネットワークの自動設定を許可します。



設定を変更するには、DHCP ボタンを押し、**✓(オン)**または**- (オフ)**をハイライトします。**- (オフ)**がハイライトされているとき、ベースステーションは **ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)**画面の **NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)**で入力された、静的ネットワーク設定値を使用します。

- **IP Address(IP アドレス)** – ローカルネットワーク上で、ベースステーションを認識するためのインターネット・プロトコル・アドレスとなります。



この設定を変更するには、IP Address(IP アドレス)ボタンを押し、EDIT STATIC IP ADDRESS(静的 IP アドレスの編集)画面で、◀(左)または▶(右)ボタンを使用し、変更したい数字にハイライトを移動し、+(アップ)と、-(ダウン)ボタンを使用し希望する数値を入力します。

- **Subnet(サブネット)** – ゲートウェイ経由の外部ネットワーク、あるいはローカルネットワークにネットワークパケットを出力する際、ベースステーションを識別するために使用される値を設定します。



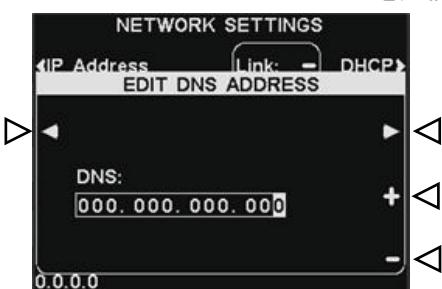
この設定をするには、Subnet(サブネット)ボタンを押し、EDIT STATIC IP SUBNET(静的サブネットの編集)画面で、◀(左)または▶(右)ボタンを使用し、変更したい数字にハイライトを移動し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用し希望の数字を入力します。

- **Gateway address(ゲートウェイアドレス)** – ネットワークパケットを外部ネットワークからローカルへ、またその逆方向に転送するのに使用する、ローカルネットワーク上のルーターアドレスを設定します。



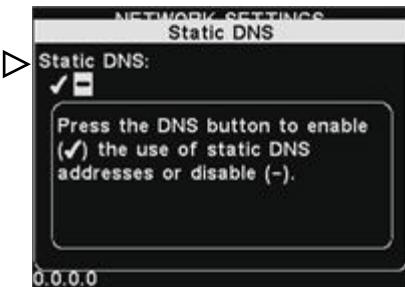
ゲートウェイアドレス編集をするには、Gateway address(ゲートウェイアドレス)ボタンを押し、EDIT STATIC GATEWAY ADDRESS(静的ゲートウェイアドレスの編集)画面で、◀(左)または▶(右)ボタンを使用し、変更したい数字にハイライトを移動し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用し希望の数字を入力します。

- **DNS1(DNS1 アドレス) & DNS2(DNS2 アドレス)** – ホスト/ドメイン名を解決し、IP アドレスに変換するドメインネームサーバーのアドレスを設定します。DNS サーバーは、メールアドレスによって識別されるメールサーバーへメールを発信する時に使用します。



DNS アドレス編集をするには、DNS1(DNS1 アドレス)あるいは DNS2(DNS2 アドレス)ボタンを押し、EDIT DNS ADDRESS(DNS アドレスの編集)画面で、◀(左)または▶(右)ボタンを使用し、変更したい数字にハイライトを移動し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用し希望の数字を入力します。

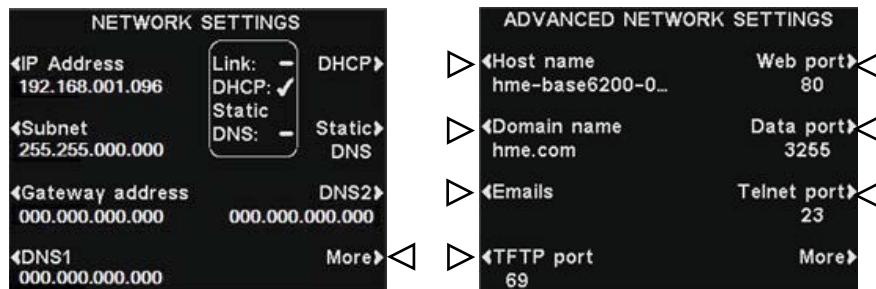
- **Static DNS(静的 DNS)** – 一般的に、DHCP が有効で、Static DNS(静的 DNS)が無効-(オフ)の場合は、DNS アドレスは DHCP サーバーにより、自動的に供給されます。Static DNS(静的 DNS)が有効✓(オン)の場合、DHCP サーバーから供給される DNS1 と DNS2 アドレスは、このメニューで設定された静的アドレスによって上書きされます。



Static DNS(静的 DNS)を有効/無効にするには、Static DNS(静的 DNS)ボタンを押し、Static DNS(静的 DNS)画面で Static DNS(静的 DNS)ボタンを押して、✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。

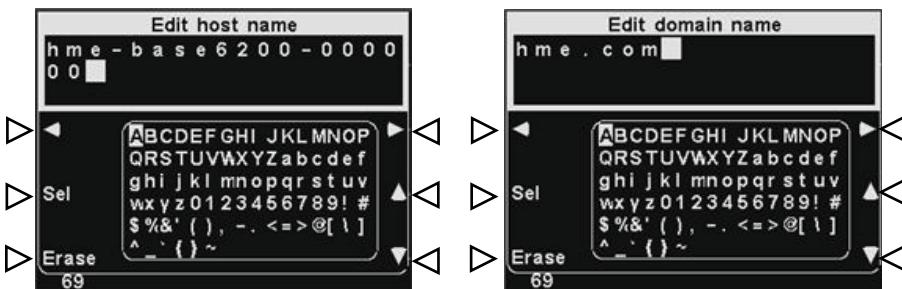
#### 4.4.2 詳細ネットワークの設定

追加の詳細ネットワークの設定を行うには、NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)画面で More(詳細)ボタンを押します。



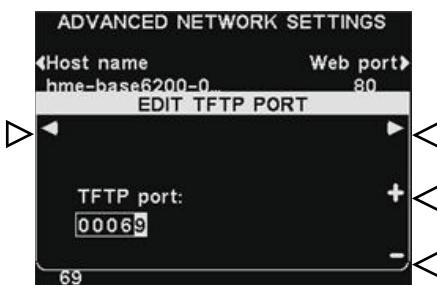
それぞれの設定の確認、あるいは変更をするために、ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)画面で、それぞれのボタンを押します。

- **Host name(ホスト名) / Domain name(ドメイン名)** – これらの名称はネットワーク上で、名称によりベースステーションを固有の個体識別に結び付けます。この名称はネットワーク上で、IP アドレスを使用する代わりに、ベースステーションにアクセスすることを可能にします。NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)画面で DHCP が有効で、ローカルネットワーク上に DNS サーバーがインストールされており、DHCP サーバーから設定情報が更新されていれば、この機能は動作します。



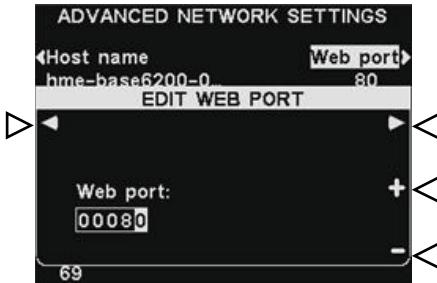
ホスト名、あるいはドメイン名を入力、あるいは変更するために、ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)画面で Edit host name(ホスト名の編集)あるいは、Edit domain name(ドメイン名の編集)ボタンを押します。表示された Edit...(...修正)画面で、変更したい現在の名称の文字を Erase(消去)ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、Sel(選択)ボタンを押して入力します。名称入力が終了したら、Back(戻る)ボタンを押し、名称を保存します。

- **Emails(メール)** – ベースステーションは、店舗内で警告状態が発生したときに、店舗マネージャへメールを送信することができます。メールの設定は [4.4.3 章](#) を参照してください。
- **TFTP port(TFTP ポート)** – このポートは、ベースステーションへのファイル転送(設定更新と音声ファイル)とベースステーションからのファイル転送(設定ファイルの読み取りだけ)に使用します。ポートの番号は 69 ですが、必要に応じ変更することができます。0 を設定するとこのポートは禁止されます。



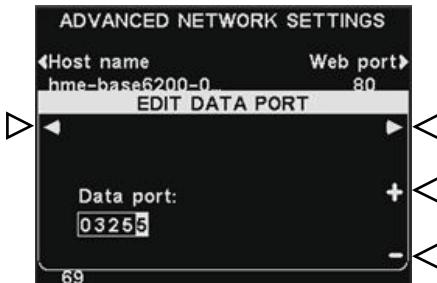
TFTP port(TFTP ポート)番号を修正するには、EDIT TFTP PORT(TFTP ポートの修正)画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Web port(ウェブポート)** – このポートは制御設定値等を見るために、ベースステーションのウェブページにアクセスするときに使用します。ポートの番号は 80 ですが、必要に応じ変更することができます。0 を設定するとこのポートは禁止されます。



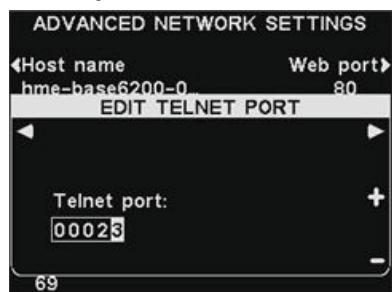
web port(ウェブポート)番号を修正するには、EDIT WEB PORT(ウェブポートの修正)画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Data port(データポート)** – このポートは TCP/IP ソケットを使用し、ベースステーションに HME サポートコマンドを送るために使用します。ポートの番号は 3255 ですが、必要に応じ変更することができます。0 を設定するとこのポートは禁止されます。



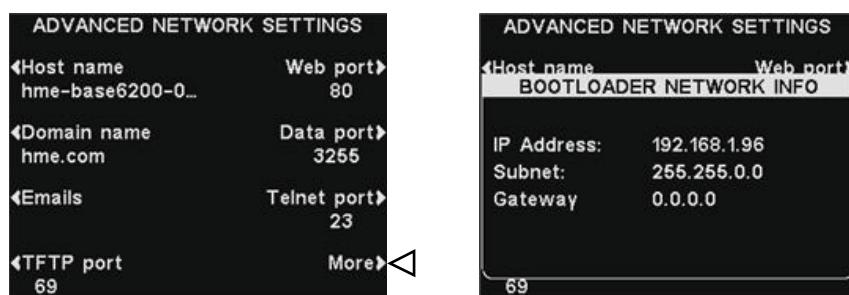
data port(データポート)番号を修正するには、EDIT DATA PORT(データポートの修正)画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- Telnet port(テルネットポート) – このポートは HME による技術サポートの為に予約されています。



- ADVANCEED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)画面で、More(詳細)ボタンを押すと、BOOTLOADER NETWORK INFO(ブートローダーネットワーク情報)画面が表示されます。

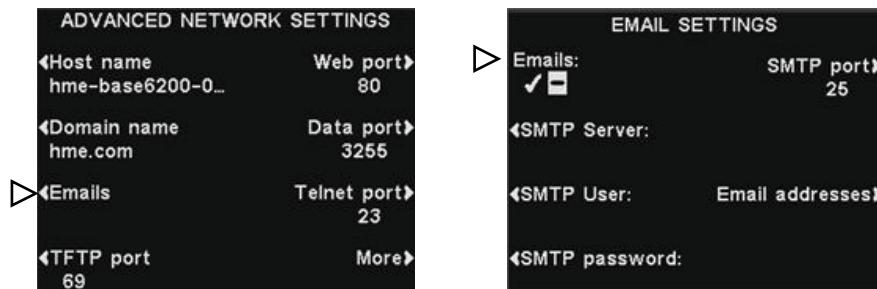
**注意:** ブートローダー情報は HME による技術サポートによって使用されます。



#### 4.4.3 メール/テキスト

ベースステーションは、店舗内で警告状態が発生したときに、店舗マネージャへメールを送信することができます。この機能を使用するには、使用される企業のIT部門から配布されるネットワーク情報に基づきメール情報を設定しなければなりません。

メール設定を編集するには、ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)画面で Emails(メール)ボタンを押します。

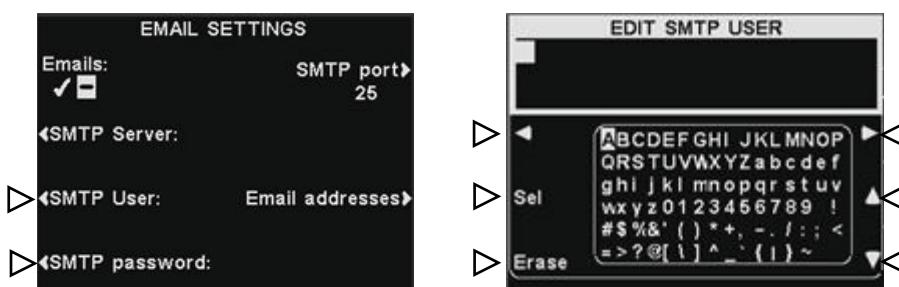


- メール機能のオン、オフを切り替えるには、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で Emails(メール)ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。
- SMTP Server(SMTP サーバー) – これはメールを適切なメールアドレスに配達する SMTP(mail) sever(SMTP(メール)サーバー)です。SMTP サーバーの IP アドレスか、そのサーバーのドメイン名のどちらも入力することができます。



SMTP サーバー名を入力、あるいは変更するには、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で SMTP Server(SMTP サーバー)ボタンを押します。変更したい現在の名称の文字を Erase(消去)ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、Sel(選択)ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。名称入力が終了したら、Back(戻る)ボタンを押し、名称を保存します。

- SMTP User(ユーザー)/password(パスワード) – メールをより安全にするため、SMTP サーバーはユーザー名あるいはパスワードを要求します。



SMTP ユーザー名あるいは、パスワードを入力、あるいは変更するには、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で SMTP User(SMTP ユーザー)あるいは、SMTP Password(SMTP パスワード)ボタンを押します。変更したい現在の名称の文字を Erase(消去)ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、Sel(選択)ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。名称入力が終了したら、Back(戻る)ボタンを押し、名称を保存します。

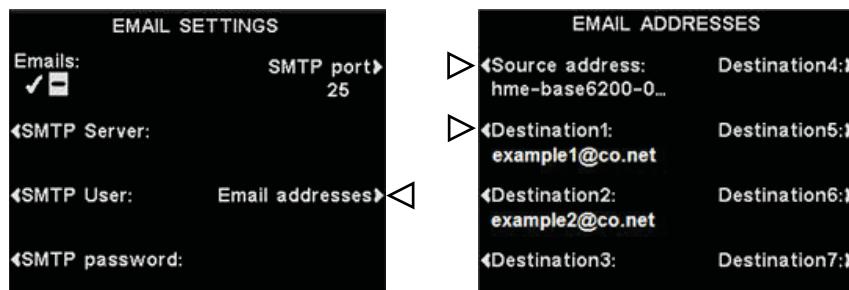
- **SMTP port(SMTP ポート)** – SMTP ポートは通常 25 に設定されています。しかし、いくつかのメールサーバーは異なったポートを使用します。SMTP ポート番号の変更が必要な場合、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で SMTP Port(SMTP ポート)ボタンを押します。



SMTP ポート番号を変更するには、EDIT SMTP PORT(SMTP ポートの編集)画面で、◀(左)、▶(右)ボタンを使用し、ハイライトボックスを移動させ、+(アップ)と-(ダウント)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Email address(メールアドレス)** –

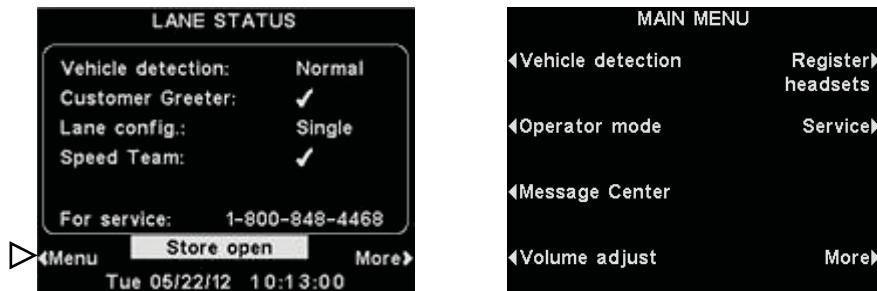
送り元アドレスとして `hme-base6200-XXXXXX@hme.com` が事前に設定されています。  
これは、選択された送り先へ送られる警告メールの「From:」の行に表示されるアドレスとなります。送り先メールアドレスは、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で Emails(メール)が✓(オン)に設定されていた場合、警告メールが送信される宛先となります。  
Source Address(送り元アドレス)や Destination(送り先アドレス)を返却するには、EMAIL SETTINGS(メールの設定)画面で Email Address(メールアドレス)ボタンを押します。



メールアドレスを入力、あるいは変更するには、EMAIL SETTINGGS(メールの設定)画面で Source Address(送り元アドレス)あるいは Destination(送り先アドレス)ボタンを押します。  
変更したい現在の名称の文字を Erase(消去)ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、Sel(選択)ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。アドレス入力が終了したら、Back(戻る)ボタンを押し、アドレスを保存します。

## 4.5 ユーザー設定

ユーザー設定は、ドライバスルーの定常操作のための設定です。初期設定を行った後、必要に応じて、店舗の担当者が設定を変更することができます。ユーザー設定にアクセスするには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押します。定常ユーザー設定は、**MAIN MENU(メインメニュー)**からアクセスします。



### 4.5.1 車両検出

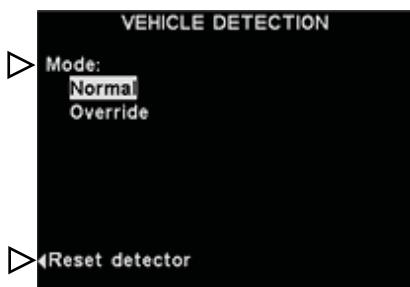
スピーカーポストまたはメニュー ボードへの車両到着をシミュレートして、車両検出器の機能をテストするには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**を選択し、**MAIN MENU(メインメニュー)**で **Vehicle detection(車両検出)**ボタンを押します。

**注:車両(または金属物)が検出地点にないことを必ず確認してください。**

**VEHICLE DETECTION(車両検出)**画面で **Mode(モード)**ボタンを押し、**Override(オーバーライド)**を選択します。

これにより、車両警告音がヘッドセットに流れ、屋外スピーカーポストからの音声が聞こえます。もし、顧客歓迎メッセージが有効になっている場合、顧客歓迎メッセージも再生されます。通常の操作に戻るには、もう一度 **Mode(モード)**ボタンを押します。

車両が到着したにもかかわらず屋外スピーカーポストから音声が流れない、または警告音が鳴らないなどの車両検出に問題が生じた場合は、車両検出器をリセットするために、**VEHICLE DETECTION(車両検出)**画面で **Reset detector(検出器のリセット)**ボタンを押し、その後、**Yes(はい)**ボタンを押します。



**注:**  
マルチレーンの場合は、  
**VEHICLE DETECTION(車両検出)**画面はレーンごとに  
分割されて表示されます。  
設定はシングルレーンの場  
合と同じになります。



画面に「**Reset Completed(リセット完了)**」と表示され消えた後、**Back(戻る)**ボタンを押して終了します。

## 4.5.2 オペレータ モード

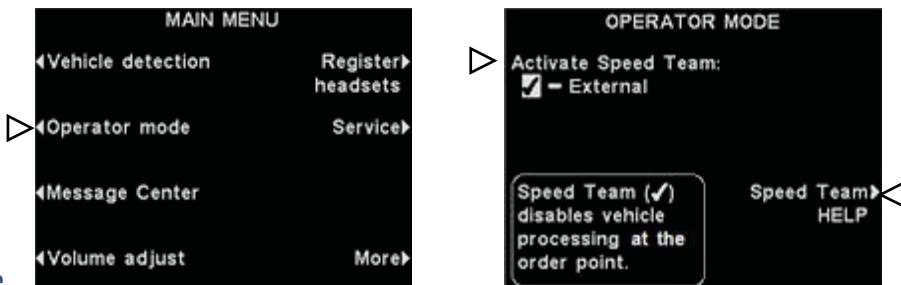
オペレータモードは **Speed Team(スピードチーム)** の設定を行います。スピードチーム操作では、音声と車両の検出はオーダーポイントでは無効になります。

### スピードチーム操作

スピードチーム操作を設定するには、**LANE STATUS(レーン状態)** 画面で **Menu(メニュー)** ボタンを押した後、**MAIN MENU(メインメニュー)** 画面の **Operator mode(オペレーターモード)** を選択します。**OPERATOR MODE(オペレータモード)** 画面で **Activate Speed Team(スピードチームの有効化)** ボタンを押して **✓(オン)** を選択します。

**Activate Speed Team(スピードチームの有効化)** が **✓(オン)** になっているときに、通常操作に戻る場合は、**- (オフ)** を選択します。

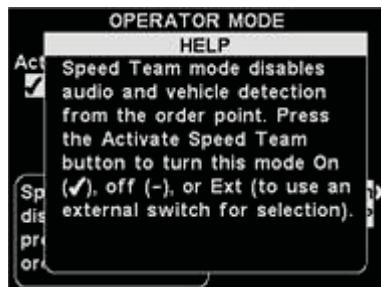
**注意:** スピードチームを **✓(オン)** にすると、ベースステーションの多くの機能が無効になります。スピードチーム操作中は、車両の到着音とお客様の声は聞こえません。通常に注文を受ける場合は、スピードチームの設定は **- (オフ)**にしてください。



マルチレーンの場合は、[Appendix \(付録\)](#)、[Dedicated Mode \(専用モード\)](#)を参照してください。

リモートスイッチがある場合に限り、**External(外部)**を選択します。

**Speed Team HELP(スピードチームヘルプ)** ボタンを押すと、説明文(英語)が表示されます。



**注意:** スピードチームについては [6.7 章](#)も参照してください。

### 4.5.3 メッセージセンター

メッセージセンターでは、指定の時間帯に様々なイベントによってトリガーされるメッセージを、ヘッドセットや天井スピーカーからスピーカーポストにいるお客様やクルーメンバーに流すメッセージを設定できます。

一部のメッセージは、事前に名前が付けられ録音済みです。すべてのメッセージは、編集、録音することができで、ユーザーの望みどおりにカスタマイズすることができます。以下に3種類のメッセージについて説明します。次ページの表には、工場出荷時の事前設定のメッセージの名前と内容が示されています。以下の表では、メッセージセンターのセットアップ方法の手順について説明します。

本書の最後には、メッセージ設定に関する「メッセージセンタークイックスタートガイド」が掲載されています。

**注:** 次に進む前に、メッセージセンターのメッセージを店舗内で再生する必要がある時間帯をすべて想定し、考慮することが重要です。最大12件の期間が設定できます。本書裏表紙の「メッセージセンターの設定ワークシート」が使用できます。必要な時間帯をすべて判断したら、メッセージセンターの設定を続ける前に、本マニュアルの「スケジュール時間」セクションを読み、店舗の時間帯を設定してください。メッセージセンターを設定する前に、現在の時刻と日付、店舗開店時間と閉店時間を設定する必要があります。

#### 顧客歓迎メッセージ

顧客歓迎メッセージは、スピーカーポストに到着された客様に流れるメッセージです。メッセージは通常、お客様を迎え、セール商品をお知らせするために使用されます。顧客歓迎メッセージは事前に名前が付けられていますが、「Store Closed(閉店中)」と「Pull Forward(前進)」(タンデムドライブスルー専用)メッセージを除き、録音はされていません。顧客歓迎メッセージはすべて、店舗のニーズに合わせて、名前の変更、録音、再録音が可能です。

#### リマインダーメッセージ\*

リマインダーメッセージは、日常業務を行う際にクルーメンバーに注意事項などの念を押すためにヘッドセットから流れます。天井スピーカーから流れるように設定することもできます。リマインダーメッセージはスケジュールされた期間の最初に再生されるよう設定できます。事前に名前が付けられ録音済みのメッセージが12件あり、店舗のニーズに合わせて名前を変更して再録音することも可能です。必要に応じて名前を付けて録音できる3件の「空」のメッセージもあります。リマインダーメッセージは、すべてのヘッドセットに、または指定ヘッドセットのみに送信できます。

#### 警告メッセージ\*

- 警告メッセージ(音声)は、ドアが開いたままになっていることやお客様の来店など、クルーメンバーに注意を喚起するために、ヘッドセットを通じて流れます。警告メッセージ(音声)は、すべてのヘッドセットに送信したり、指定のヘッドセットや天井スピーカーからのみ流れるようにしたりすることもできます。スイッチ入力(リレー接続)のトリガーによる6件の警告メッセージと、ネットワーク・コマンドによりトリガーできる14件の警告メッセージがあります。
- マネージャが店舗で何が起きたかを知ることができる、警告メッセージ(メール/テキスト)を指定されたメール受信者のスマートフォンや他のメール受信機器にテキストメッセージとして送ることができます。

\* リマインダーメッセージと警告メッセージは優先度の高、低のどちらかを設定できます。

**優先度 低:**メッセージが再生中に、Aボタン、Bボタン、車両到着の3つの事象のどれかが発生したとき、優先度低のメッセージの再生は取り消されます。優先度低のメッセージが中止された場合、新たなトリガーが発生しない限り、再度のメッセージ再生は行われません。

**優先度 高:**メッセージ再生中に、Aボタン、Bボタンのどちらかの事象が発生したとき、優先度高のメッセージは、再生が中断されます。中断事象の終了後、メッセージは再度、最後まで再生されます。

メッセージセンター メッセージ			
名前	内容		
ジーベック 開店	All Day 1 (全日 1)	事前録音はありません。	
	All Day 2 (全日 2)	事前録音はありません。	
	Breakfast 1 (朝食 1)	事前録音はありません。	
	Breakfast 2 (朝食 2)	事前録音はありません。	
	Lunch 1 (昼食 1)	事前録音はありません。	
	Lunch 2 (昼食 2)	事前録音はありません。	
	Snack 1 (スナック 1)	事前録音はありません。	
	Snack 2 (スナック 2)	事前録音はありません。	
	Dinner 1 (夕食 1)	事前録音はありません。	
	Dinner 2 (夕食 2)	事前録音はありません。	
ジーベック 閉店	Store Closed (閉店中)	Thank you for your visit, but we are currently closed. (ご来店ありがとうございます。現在閉店中です。) Please visit us again during our normal business hours. (営業時間内のご来店をお待ちしております。)	
	Pull Forward* (前進) *	Hello, please pull forward to the next speaker. Thanks. (ご来店ありがとうございます。次のスピーカーまで車をお進めください。)* (タンデム ドライブスルーのみ)	
	Hand Washing (手洗い)	Please wash your hands. (手を洗ってください。)	
ジーベック リマインダー	Sanitizer (除菌)	Please change sanitizer solution. (殺菌剤を交換してください。)	
	DR Trash (厨房のごみ箱)	Please check the dining room trash. (厨房のゴミ箱をチェックしてください。)	
	HAACP	Please complete the HAACP shift checklist. (HAACP シフトチェックリストを完了してください。)	
	Quality Check (品質チェック)	Please complete the shift quality check. (シフト品質チェックを完了してください。)	
	Lot Check (駐車場チェック)	Please complete a parking lot check. (駐車場チェックを完了してください。)	
	Restroom Check (トイレチェック)	Please check the restrooms. (トイレをチェックしてください。)	
	Pre-Rush (混雑前)	Please complete the pre-rush tasks for your workstation. (混雑前に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)	
	Post-Rush (混雑後)	Please complete the post-rush tasks for your workstation. (混雑後に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)	
	Headset Status (ヘッドセットの状態)	To check headset status, press and hold A2 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの状態をチェックするには、電源をオンにする時に <b>A2</b> と <b>音量ダウン</b> に触れ続けます。)	
	Change Language (言語の変更)	To change headset prompt language, press and hold A1 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの指示言語を変更するには、電源をオンにする時に <b>A1</b> と <b>音量ダウン</b> に触れ続けます。)	
ジーベック 営業	Hands Free ON (ハンズフリー オン)	To turn headset hands free mode on, press and hold B and volume up while turning on the power. (ヘッドセットのハンズフリーモードをオンにするには、電源をオンにする時に <b>B</b> と <b>音量アップ</b> に触れ続けます。)	
	Empty 1-3 (空 1-3)	事前録音はありません。	
	名前	イベント	内容
	Freezer Door (冷凍庫ドア)	S1	The freezer door has been left open. (冷凍庫のドアが開いたままになっています。)
	Cooler Door (冷却器ドア)	S2	The cooler door has been left open. (冷却器のドアが開いたままになっています。)
	Back Door (裏口)	S3	The back door has been left open. (裏口が開いたままになっています。)
	Lobby Door (ロビードア)	S4	A guest has entered the lobby. (お客様がロビーに入りました。)
ジーベック 営業	Empty(空)	S5	事前録音はありません。
	Empty(空)	S6	事前録音はありません。
	Empty(空)	N1-N14	事前録音はありません。

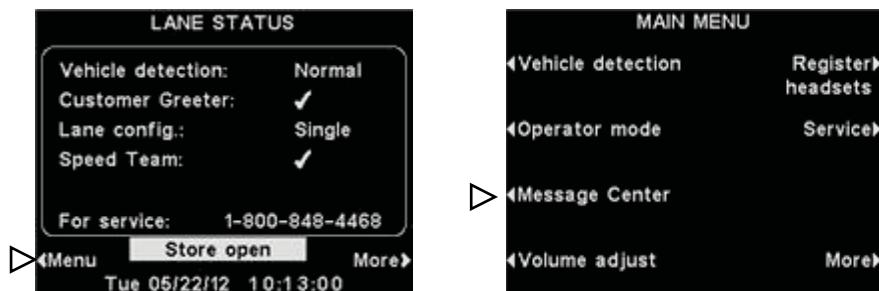
顧客歓迎メッセージは、ドライブスルー レーンの車両検出に加え、時刻と曜日によってトリガーされます。

リマインダー メッセージは、時刻と曜日によってのみトリガーされます。

警告メッセージは、入力信号に加え、時刻と曜日、またネットワークイベントによってトリガーされます。  
イベント項目の S#はスイッチトリガーによる警告。N#はネットワークトリガーによる警告を表します。

## 1. 顧客歓迎メッセージの設定

顧客歓迎メッセージを再生する時間帯や場所を設定する、または顧客歓迎メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **LANE STATUS**(レーン状態)画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押し、その後、**MAIN MENU(メインメニュー)**で **Message Center(メッセージセンター)**ボタンを押します。



**MESSAGE CENTER MENU(メッセージ センター メニュー)**で **Customer Greeter(顧客歓迎メッセージ)**ボタンを押します。

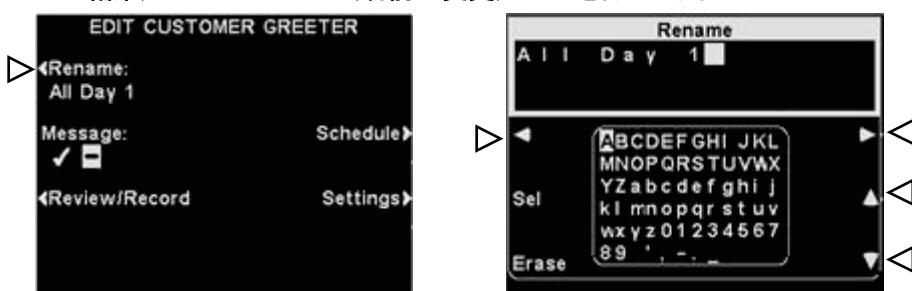


**CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージ)**画面で編集するメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。

メッセージを編集するには、メッセージを選択し、Edit(編集)ボタンを押します。

### メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージの編集)**画面で Rename(名前の変更)ボタンを押します。



マルチレーンの動作については、  
[Appendix\(参照\)](#),  
[Customer Greeter Messages\(顧客歓迎メッセージ\)](#)を参照願います。

**RENAME(名前変更)**画面で、**Erase(消去)**ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、名前に使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel(選択)**ボタンを押してハイライトされている文字を名前として入力します。入力が完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して新しい名前を保存します。

## メッセージのオン/オフ

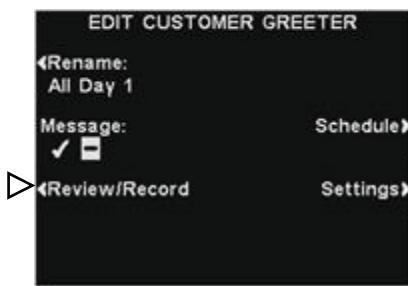


選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT CUSTOMER GREETER**(顧客歓迎メッセージの編集)画面で **Message**(メッセージ)ボタンを押し、✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。

**Back**(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

## メッセージの確認または録音

選択された既存のメッセージを聞く、または新しいメッセージを録音するには、**EDIT CUSTOMER GREETER**(顧客歓迎メッセージの編集)画面で **Review/Record**(確認/録音)ボタンを押します。



注：確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE**(メッセージの確認/録音)画面で、**Review**(確認)ボタンを押します。**READY TO REVIEW**(確認の準備)画面表示の操作を行います。Bボタンに触れ続けます。メッセージがBボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。



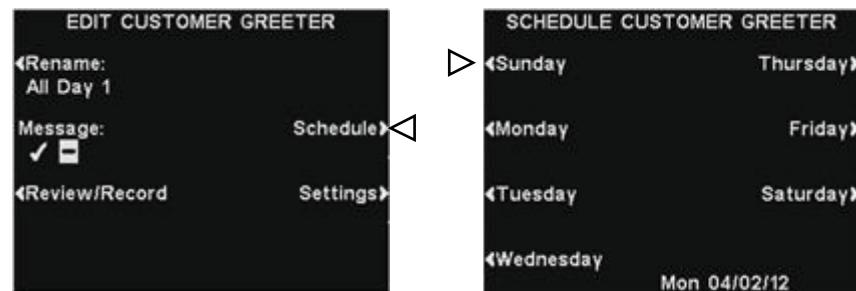
新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE**(メッセージの確認/録音)画面で **Record**(録音)ボタンを押します。



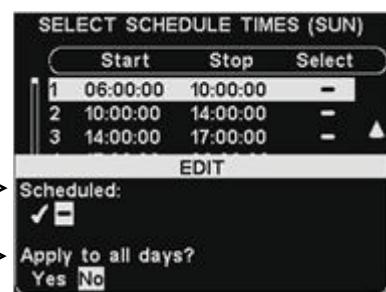
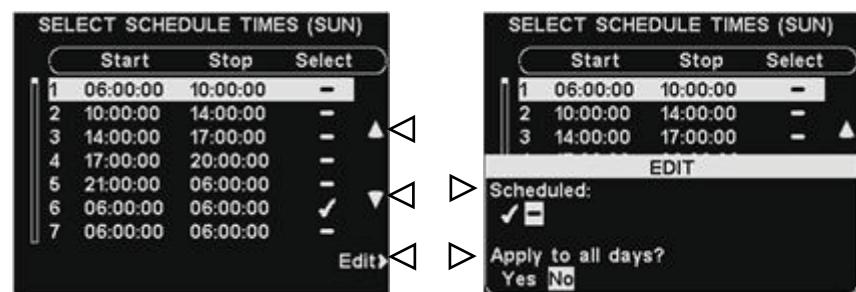
画面の **READY TO RECORD**(録音の準備)の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンに触れ続けると、最高 16 秒間のメッセージを録音できます。**Progress**(プログレス)インジケーターが録音の残り時間を示します。録音を終了するときは、B ボタンを離し、画面の **Review**(確認)ボタンを押し、**READY TO REVIEW**(確認の準備)画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

## メッセージのスケジュール

選択したメッセージのスケジュールを選択するには、EDIT CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージの編集)画面で Schedule(スケジュール)ボタンを押します。



SCHEDULE CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージのスケジュール)画面で、選択したメッセージを再生したい曜日のボタンを押します。



SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)画面で、▲(アップ)と▼(ダウント)のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯がハイライトしたら、Edit(編集)ボタンを押します。

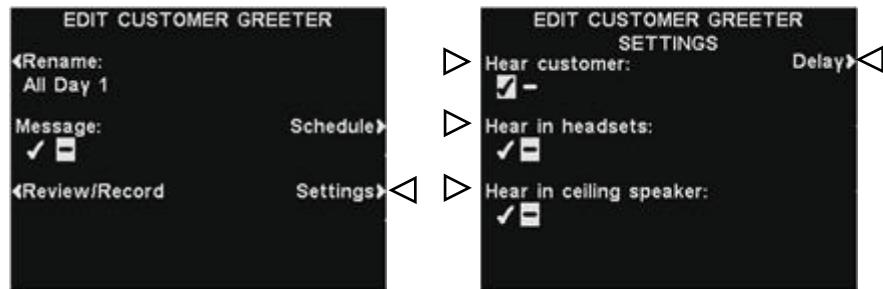
EDIT(編集)画面で Scheduled(スケジュール)ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを✓(オン)または -(オフ)にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、Apply to all days(全曜日に適用)ボタンを押して Yes(はい)を選択します。No(いいえ)を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

**注意:** SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンター メニュー)に移動し、Edit schedule times(スケジュール時間の編集)を選択します。

## メッセージ再生の設定

選択した顧客メッセージを流す場所(スピーカーポストに加えて)を編集するには、**EDIT CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージの編集)**画面で **Settings(設定)**ボタンを押します。



**注意:** 顧客歓迎メッセージは、他の設定に関係なく、常にドライブスルーのスピーカーに送られます。ドライブスルーのスピーカーからの再生を停止する時は、**Customer Greeter(顧客歓迎メッセージ)**の音量設定を 0 にします。[4.5.4 章](#)を参照してください。ドライブスルーのスピーカーからメッセージを流す場合は、**Customer Greeter volume(顧客歓迎メッセージ音量)**を調整し、スピーカーポストでの音量を確認してください。

**EDIT CUSTOMER GREETER SETTINGS(顧客歓迎メッセージ設定の編集)**画面で、選択した顧客歓迎メッセージを流す、または流さない場所に該当するボタンを押し、**✓(オン)**または**- (オフ)**をハイライトします。

**Hear customer:**(顧客の声を聞く)に**✓(オン)**を選択すると、選択した顧客歓迎メッセージが流れると共に、スピーカーポストにいるお客様の声も聞こえます。**Hear customer:**(顧客の声を聞く)に**- (オフ)**を選択すると、メッセージの再生が完了するまでお客様の声は聞こえません。

**Hear in headsets(ヘッドセットで流す)**と **Hear in ceiling speaker(天井スピーカーから流す)**の設定では、選択した顧客歓迎メッセージをこれらの場所で聞こえるようにするかどうかを選択できます。

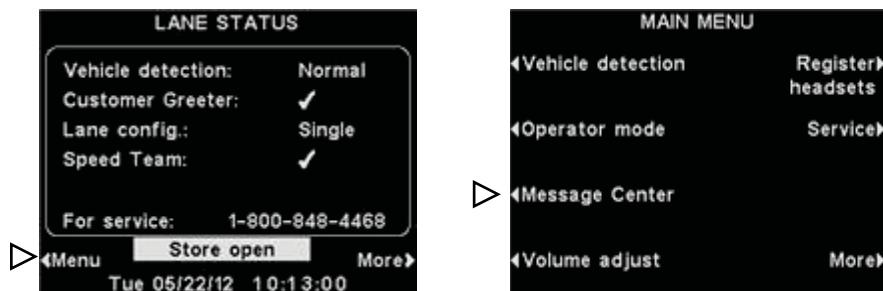
顧客メッセージの再生が始まるまでの遅延時間を設定するには、**EDIT CUSTOMER GREETER SETTINGS(顧客歓迎メッセージ設定の編集)**画面で **Delay(遅延)**ボタンを選択します。**DELAY BEFORE PLAY(再生前の遅延)**画面にて、**+(アップ)**と**-(ダウン)**ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。ハイライト表示を左右に移動するには**◀(左)**または**▶(右)**ボタンを使います。



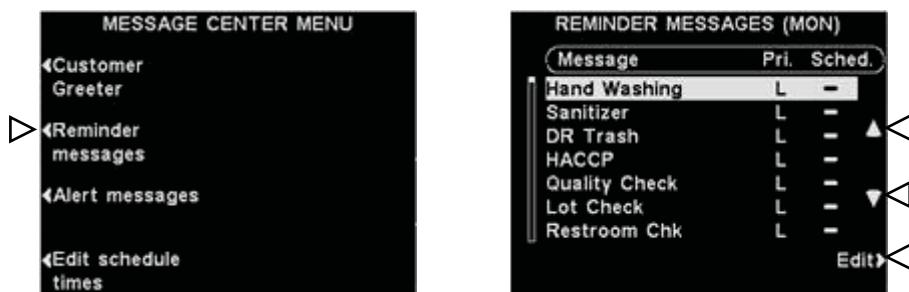
完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

## 2. リマインダーメッセージの設定

リマインダーメッセージを再生する時間帯と場所を設定する、またはリマインダーメッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **LANE STATUS(レーン状態)** 画面で **Menu(メニュー)** ボタンを押し、その後、**MAIN MENU(メインメニュー)** で **Message Center(メッセージ センター)** ボタンを押します。



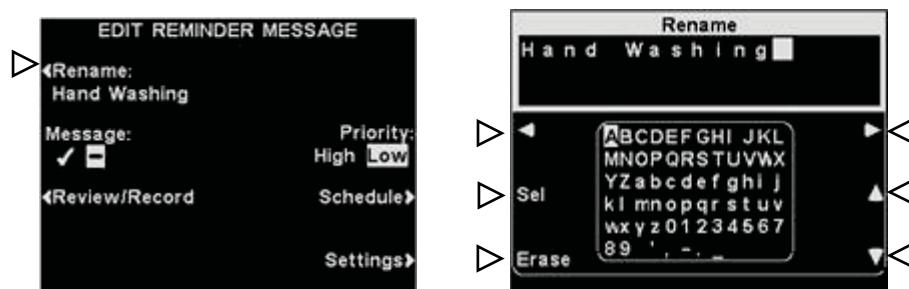
**MESSAGE CENTER MENU(メッセージ センター メニュー)** で **Reminder messages(リマインダーメッセージ)** ボタンを押します。



**REMINDER MESSAGES(リマインダーメッセージ)** 画面でメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit(編集)** ボタンを押します。

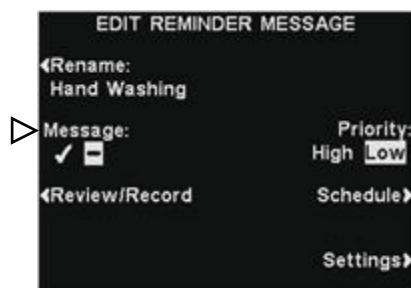
### メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージの編集)** 画面で **Rename(名前の変更)** ボタンを押します。



**RENAME(名前変更)** 画面で、**Erase(消去)** ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。**◀(左)**、**▶(右)**、**▲(上)**、**▼(下)** ボタンを使用し、名前に使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel(選択)** ボタンを押してハイライトされている文字を名前として入力します。入力が完了したら、**Back(戻る)** ボタンを押して新しい名前を保存します。

## メッセージのオン/オフ



選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で **Message**(メッセージ)ボタンを押し、**✓(オン)**または **-(オフ)**をハイライトします。

**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

## メッセージの確認または録音

選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを録音するには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で **Review/Record**(確認/録音)ボタンを押します。



注：確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE**(メッセージの確認/録音)画面で、**Review**(確認)ボタンを押します。READY TO REVIEW(確認の準備)画面表示の操作を行います。Bボタンに触れ続けます。メッセージがBボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE**(メッセージの確認/録音)画面で **Record**(録音)ボタンを押します。



画面の **READY TO RECORD**(録音の準備)の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンに触れ続けると、最高 10 秒間のメッセージを録音できます。Progress(プログレス)インジケーターが録音の残り時間を示します。録音を終了するときは、B ボタンを離し、画面の **Review**(確認)ボタンを押し、**READY TO REVIEW**(確認の準備)画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

## メッセージの優先度

リマインダーメッセージは優先度 高、低を選択することができます。メッセージの優先度を設定するには、**EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージの編集)**画面で **Priority(優先度)**ボタンを押し、**High(高)**または **Low(低)**をハイライトさせます。**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

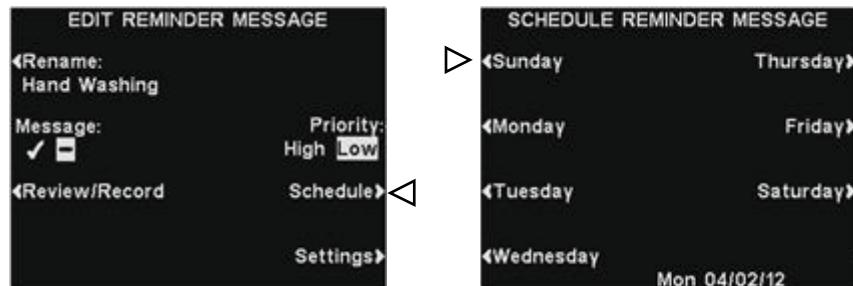


**注意:** 優先度が低に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されるか、ヘッドセットからの A ボタン操作、B ボタン操作、レーンへの車両到着によって取り消されます。

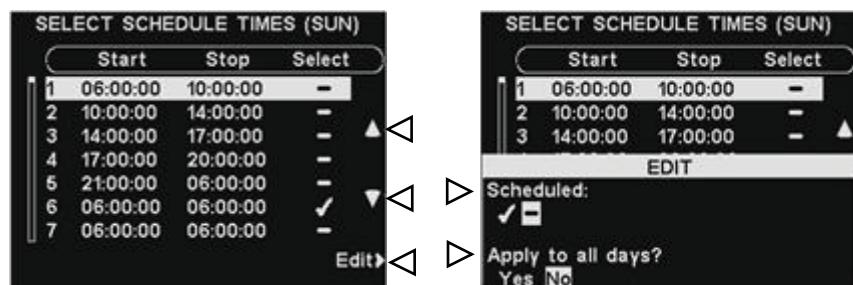
優先度が高に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されます。もし、ヘッドセットの A ボタン操作、B ボタン操作により中断された場合は、ヘッドセットのボタン操作終了後に再生されます。

## メッセージのスケジュール

選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージの編集)**画面で **Schedule(スケジュール)**ボタンを押します。



**SCHEDULE REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージのスケジュール)**画面で、選択したメッセージを再生したい曜日のボタンを押します。



**SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)**画面で、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯がハイライトしたら、**Edit(編集)**ボタンを押します。

**注意:** リマインダーメッセージは、スケジュールされた時刻の最初にトリガーされ、再生されます。

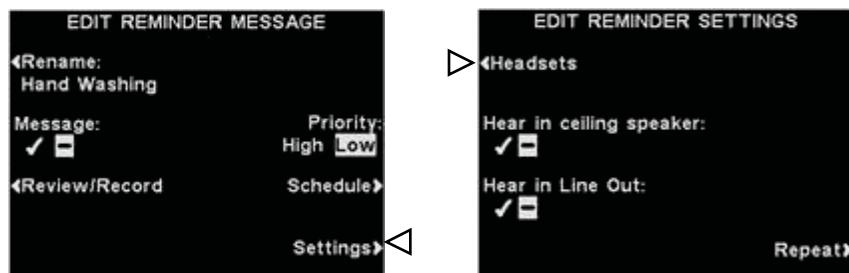
**EDIT(編集)**画面で **Scheduled(スケジュール)**ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを✓(オン)または -(オフ)にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days(全曜日に適用)**ボタンを押して **Yes(はい)**を選択します。**No(いいえ)**を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

**注意:** **SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)**画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンター メニュー)**に移動し、**Edit schedule times(スケジュール時間の編集)**を選択します。

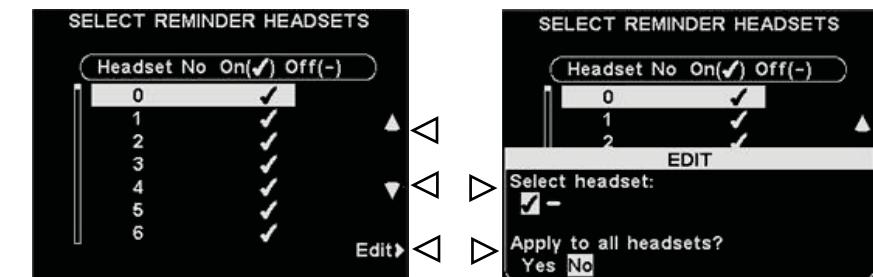
## メッセージ再生の設定

- メッセージ再生先の設定 - リマインダーメッセージの再生先を設定するには、EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージの編集)画面で Settings(設定)ボタンを押し、EDIT REMINDER SETTINGS(リマインダー設定の編集)画面で Headsets(ヘッドセット)ボタンを押します。

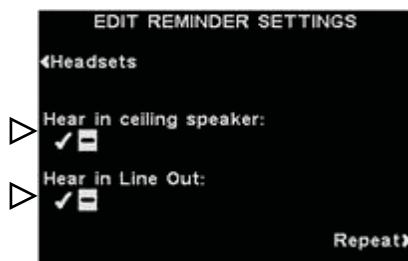


マルチレーンの場合は、  
[Appendix\(参照\)](#),  
[Reminder Messages](#)  
(リマインダーメッセージ)を参照してください。

SELECT REMINDER HEADSETS(リマインダーヘッドセットの選択)画面で▲(アップ)と▼(ダウン)ボタンを押して、選択したリマインダーメッセージをオンまたはオフにするヘッドセットの番号を選択し、Edit(編集)ボタンを押します。



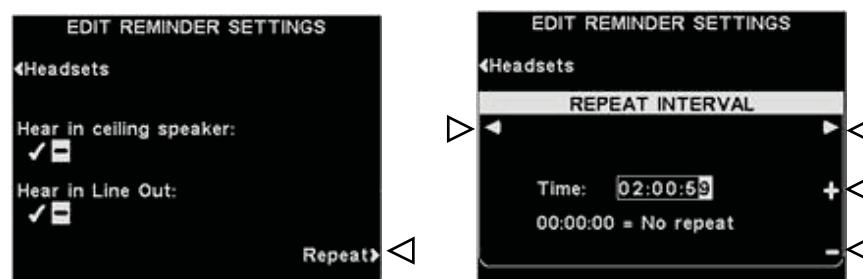
メッセージを再生するヘッドセットを選択/非選択にするには、EDIT(編集)画面で Select headsets(ヘッドセットの選択)ボタンを押し、✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。すべてのヘッドセットを選択/非選択にするには、Apply to all headsets?(すべてのヘッドセットに適用しますか)ボタンを押し、Yes(はい)または No(いいえ)をハイライトします。Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。



選択したリマインダーメッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、Hear in ceiling speaker(天井スピーカーから流す)ボタンを押して ✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。  
選択したリマインダーメッセージをライン出力から流す、または流さないようにするには、Hear in Line Out(ライン出力から流す)ボタンを押して ✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。

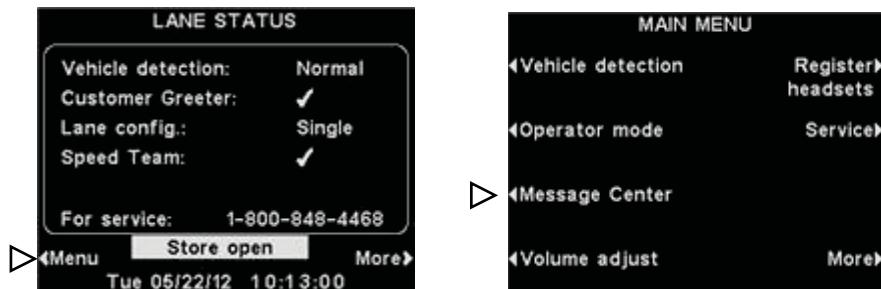
**注意:** 天井スピーカー、あるいはラインからリマインダーメッセージを流す設定で、✓(オン)を選択した後、メッセージが適正な音量で出力されるかを確認してください。音量調整をするには、MAIN MENU(メインメニュー)画面に戻り、Volume adjust(音量調節)を選択します。

- 繰り返し設定 - 指定した間隔でリマインダーメッセージを繰り返し流すためには、EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージの編集)画面で Repeat(繰り返し)ボタンを押します。REPEAT INTERVAL(繰り返し間隔)画面で、Time(時間)フィールドの時、分、秒(HH:MM:SS)のハイライト表示を、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示ボックスの数字を変更します。リピート間隔をすべて「0」にした場合は、繰り返し動作は禁止されます。Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

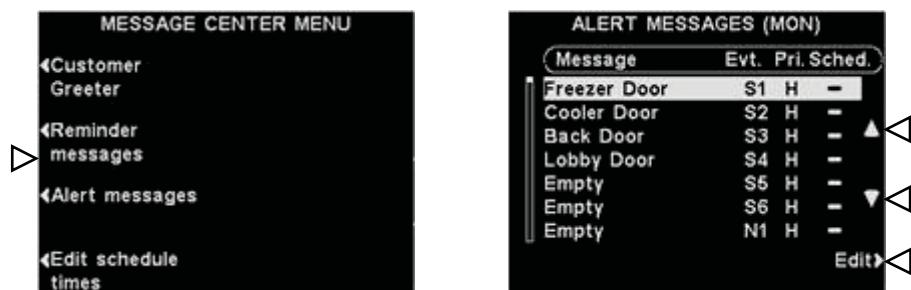


### 3. 警告メッセージの設定

警告メッセージを再生する時間帯と場所を設定する、または警告メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **LANE STATUS(レーン状態)** 画面で **Menu(メニュー)** ボタンを押してから、**MAIN MENU(メインメニュー)** で **Message Center(メッセージ センター)** ボタンを押します。



**MESSAGE CENTER MENU(メッセージ センター メニュー)** で **Alert messages(警告メッセージ)** ボタンを押します。



**ALERT MESSAGES(警告メッセージ)** 画面でメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit(編集)** ボタンを押します。

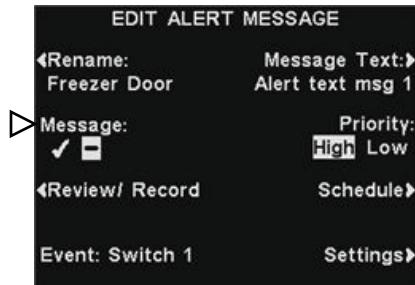
#### メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)** 画面で **Rename(名前の変更)** ボタンを押します。



**RENAME(名前変更)** 画面で、**Erase(消去)** ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下) ボタンを使用し、名前に使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel(選択)** ボタンを押してハイライトされている文字を名前として入力します。入力が完了したら、**Back(戻る)** ボタンを押して新しい名前を保存します。

## メッセージのオン/オフ



選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)**画面で **Message(メッセージ)**ボタンを押し、**✓(オン)**または **-(オフ)**をハイライトします。

**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

## メッセージの確認または録音

選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを録音するには、**EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)**画面で **Review/Record(確認/録音)**ボタンを押します。



**注:** 確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE(メッセージの確認/録音)**画面で、**Review(確認)**ボタンを押します。READY TO REVIEW(確認の準備)画面表示の操作を行います。Bボタンに触れ続けます。メッセージがBボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE(メッセージの確認/録音)**画面で **Record(録音)**ボタンを押します。



画面の **READY TO RECORD(録音の準備)**の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンに触れ続けると、最高 10 秒間のメッセージを録音できます。**Progress(プログレス)**インジケーターが録音の残り時間を示します。録音を終了するときは、B ボタンを離し、画面の **Review(確認)**ボタンを押し、**READY TO REVIEW(確認の準備)**画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

## メッセージの優先度

警告メッセージは優先度 高、低を選択することができます。メッセージの優先度を設定するには、**EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)**画面で **Priority(優先度)**ボタンを押し、**High(高)**または **Low(低)**をハイライトさせます。**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

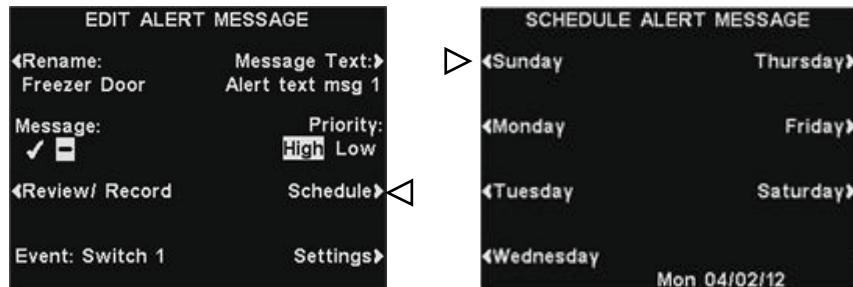


**注意:** 優先度が低に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されるか、ヘッドセットからの **A** ボタン操作、**B** ボタン操作、レーンへの車両到着によって取り消されます。

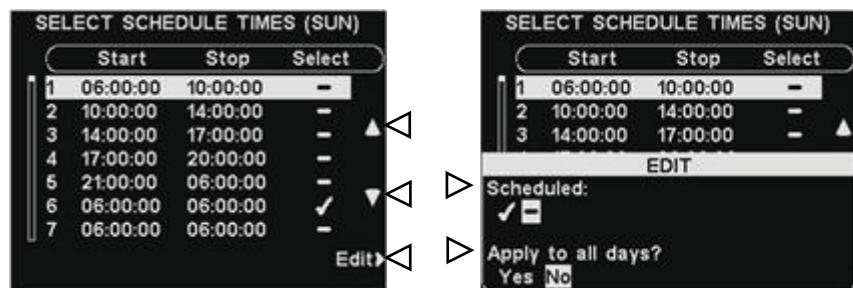
優先度が高に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されます。もし、ヘッドセットの **A** ボタン操作、**B** ボタン操作により中断された場合は、ヘッドセットのボタン操作終了後に再生されます。

## メッセージのスケジュール

選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)**画面で **Schedule(スケジュール)**ボタンを押します。



**SCHEDULE ALERT MESSAGE(警告メッセージのスケジュール)**画面で、選択したメッセージを再生したい曜日のボタンを押します。



**SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)**画面で、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯がハイライトしたら、**Edit(編集)**ボタンを押します。

**EDIT(編集)**画面で **Scheduled(スケジュール)**ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを✓(オン)または - (オフ)にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days(全曜日に適用)**ボタンを押して **Yes(はい)**を選択します。

**No(いいえ)**を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

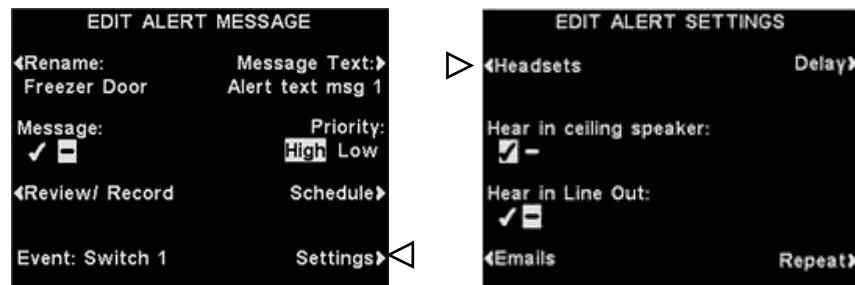
**Back(戻る)**ボタンを押して設定を保存します。

**注意:** **SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)**画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンター メニュー)**に移動し、**Edit schedule times(スケジュール時間の編集)**を選択します。

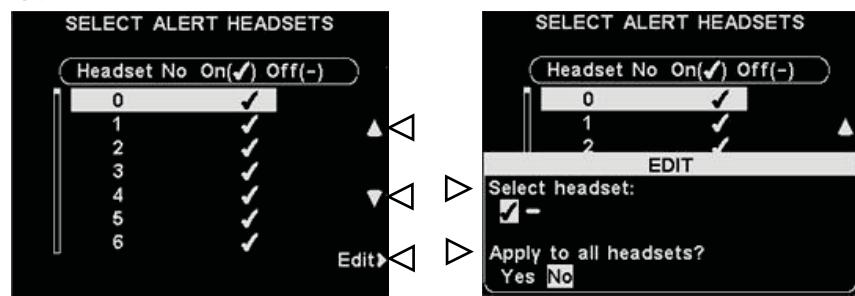
## メッセージ再生の設定

- メッセージ再生先の設定 – 警告メッセージの再生先を設定するには、EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)画面で Settings(設定)ボタンを押し、EDIT ALERT SETTINGS(警告設定の編集)画面で Headsets(ヘッドセット)ボタンを押します。

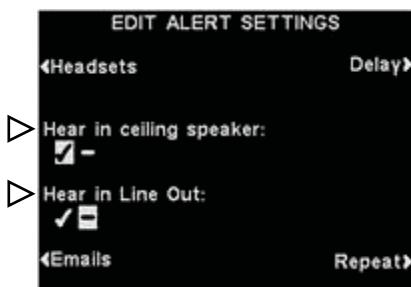
マルチレーンの場合  
Appendix(参照)、  
Alert Messages(警告メッセージ)を参照してください。



SELECT ALERT HEADSETS(警告ヘッドセットの選択)画面で▲(アップ)と▼(ダウント)ボタンを押して、選択した警告メッセージをオンまたはオフにするヘッドセットの番号を選択し、Edit(編集)ボタンを押します。



メッセージを再生するヘッドセットを選択/非選択にするには、EDIT(編集)画面で Select headsets(ヘッドセットの選択)ボタンを押し、✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。すべてのヘッドセットを選択/非選択にするには、Apply to all headsets?(すべてのヘッドセットに適用しますか)ボタンを押し、Yes(はい)または No(いいえ)をハイライトします。Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

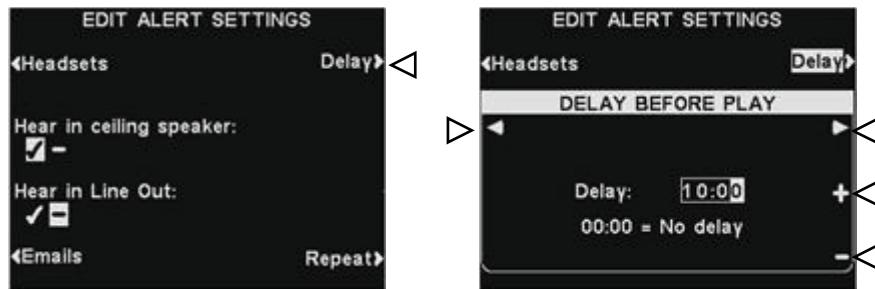


選択した警告メッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、Hear in ceiling speaker(天井スピーカーから流す)ボタンを押して ✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。

選択した警告メッセージをライン出力から流す、または流さないようにするには、Hear in Line Out(ライン出力から流す)ボタンを押して ✓(オン)または -(オフ)をハイライトします。

**注意:** 天井スピーカー、あるいはラインから警告メッセージを流す設定で、✓(オン)を選択した後、メッセージが適正な音量で出力されるかを確認してください。音量調整をするには、MAIN MENU(メインメニュー)画面に戻り、Volume adjust(音量調節)を選択します。

- **再生遅延設定** -警告メッセージがトリガーされてから再生が開始されるまでの遅延時間を設定するには、Delay(遅延)ボタンを押します。DELAY BEFORE PLAY(再生前の遅延)画面で、Delay(遅延)フィールドの分と秒(MM:LL)のハイライトを、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。



**注意:** DELAY BEFORE PLAY(再生前の遅延)設定は警告メッセージの音声とメールの両方に適応されます。

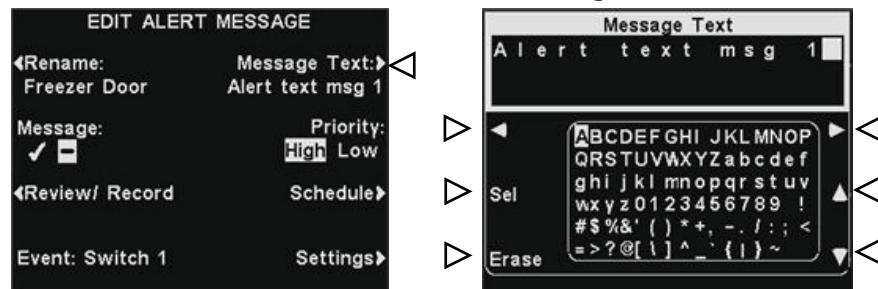
- **繰り返し設定** -指定した間隔で警告メッセージを繰り返し流すためには、EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージの編集)画面で Repeat(繰り返し)ボタンを押します。REPEAT INTERVAL(繰り返し間隔)画面で、Time(時間)フィールドの時、分、秒(HH:MM:SS)のハイライト表示を、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示ボックスの数字を変更します。リピート間隔をすべて「0」にした場合は、繰り返し動作は禁止されます。Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。



**注意:** 繰り返し設定は警告メッセージ送信を繰り返す必要がないので、メールには適応されません。

## 警告メッセージメール

指定された警告状態が発生したとき、指定宛先へ送るメールを作成するために、**EDIT ALERT MESSAGE**(警告メッセージの編集)画面で **Message Text(メッセージ文)**ボタンを押します。

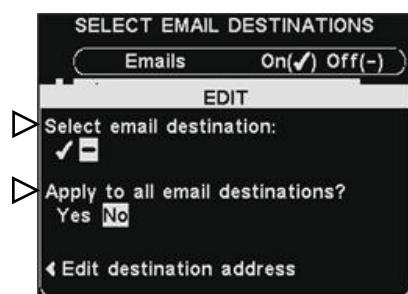


**Message Text(メッセージ文)**画面でメッセージ文を編集するには、変更したい現在の文字を、**Erase(消去)**ボタンを使用し、消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しいメールに使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel(選択)**ボタンを押してハイライ表示文字をメッセージとして入力します。入力が完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押してメッセージ文を保存します。

警告メッセージを送りたいメールアドレスを選択するには、**EDIT ALERT SETTINGS(警告設定の編集)**画面で、**Emails(メール)**ボタンを押します。



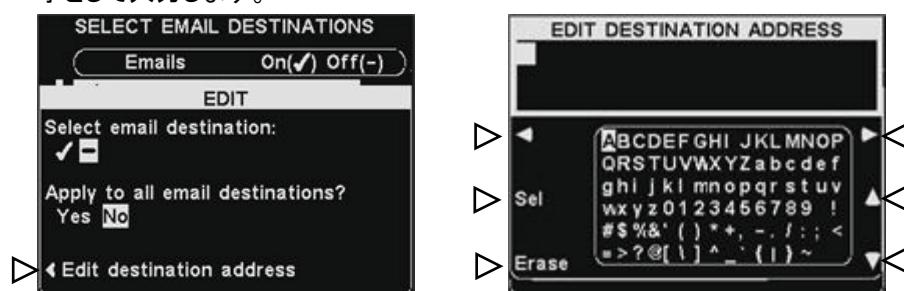
**SELECT EMAIL DESTINATIONS(メールアドレスの選択)**画面で、選択されたメッセージのオンまたはオフを切り替えるために、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを使用し、メール送信先を選択し、**Edit(編集)**ボタンを押します。



**EDIT(編集)**画面において、メッセージ文を受信するメールアドレスを、選択/非選択するには、**Select email destinations(メール送信先の選択)**ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトさせます。

すべての送信先を選択/非選択するには、**Apply to all email destinations?(すべての送信先に適用?)**ボタンを押し、Yes(はい)またはNo(いいえ)をハイライトさせ、**Back(戻る)**ボタンを押します。

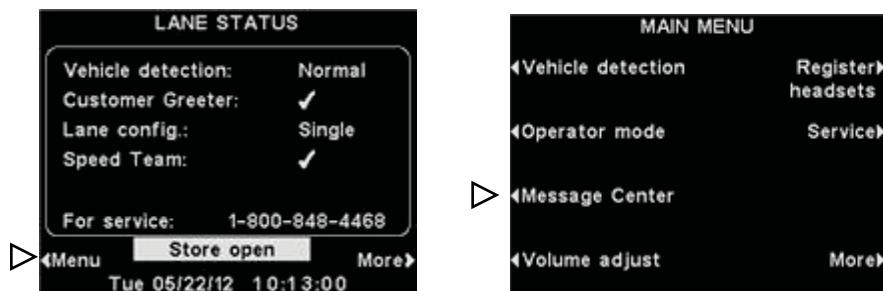
選択されたメールアドレスを編集するには、**Edit destination address(メール送信先編集)**ボタンを押します。**EDIT DESTINATION ADDRESS(メール送信先編集)**画面において、**Erase(消去)**ボタンを使用し、現在のメール送信先アドレスの変更部分を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しいメール送信先アドレスに使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel(選択)**ボタンを押してハイライ表示文字をメール送信先アドレスの文字として入力します。



入力が完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して新しいメールアドレスを保存します。

## 4. メッセージのスケジュール時間

メッセージセンターの全メッセージを流すため、それぞれの日の時間帯をスケジュール設定するには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押し、その後、**MAIN MENU(メインメニュー)**で **Message Center(メッセージセンター)**ボタンを押します。



**MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンターメニュー)**で **Edit schedule times(スケジュール時間の編集)**ボタンを押します。



設定可能な時間帯が 12 個あります。

**注意:** これらの時間帯を変更すると、すべてのメッセージセンターのスケジュールが影響をうけます。外部出力音量の設定におけるスケジュール設定は影響をうけません。

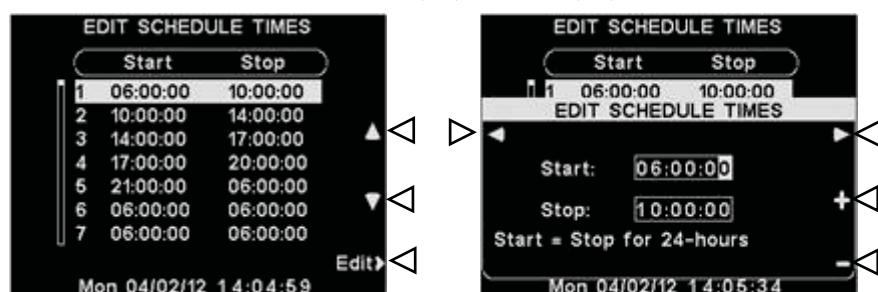
編集する時間帯を選択するには、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを押して、12 個の有効な時間帯をスクロールします。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit(編集)**ボタンを押します。

**EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)**画面で、開始時間と停止時間を編集するには、◀(左)と▶(右)ボタンを使って **Start(開始)**または **Stop(停止)**フィールドのハイライト表示を移動させ、+(アップ)と -(ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。

**注意:** 時刻表記は 24 時間表記です。

例 - 0500 = 午前 5 時  
1700 = 午後 5 時  
0000 = 午前零時

ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。



これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

#### 4.5.4 音量調整

送信と着信の音声、顧客歓迎メッセージ、天井スピーカー音声、車両到着音、または外部音量をスケジュールに沿って大きくしたり、小さくしたりするには、ベースステーションの **LANE STATUS(レーン状態)** 画面で **Menu(メニュー)** を選択した後、**MAIN MENU(メインメニュー)** で **Volume adjust(音量調整)** を選択します。

**VOLUME MENU(音量メニュー)** 左側のボタンを押して、調整したい音量を選択します。

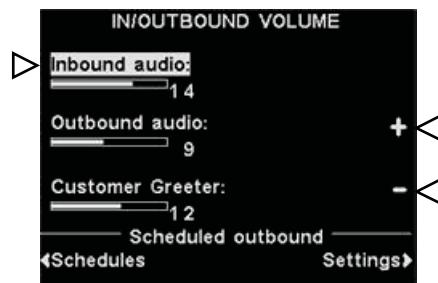


##### 注:

マルチレーンの場合は、**VOLUME MENU(音量メニュー)** 画面はレーンごとに分割されて表示されます。設定はシングルレーンの場合と同じになります。

### 1. 入/出力音量調整

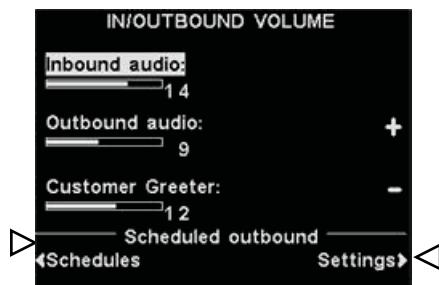
**IN/OUTBOUND VOLUME(入出力音量調整)** 画面で、調整したい音量項目を選択し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。最初の二つの設定は、屋外のスピーカーとマイクロфонの音量調整が行えます。3番目の項目は、メッセージセンターの Customer Greeter message(顧客歓迎メッセージ)の出力音量を調整します。もし、音量を0になると、この機能は停止され、一切聞こえなくなります。デュアルレーンの場合、これらの設定はレーン1とレーン2のそれぞれを設定できます。



##### 注:

**Outbound audio(出力音声)** の音量はスケジュール出力機能が無効の場合、この値が常に選択されます。

自動的に屋外スピーカーの音量を変更(例えば、夜間に音量を下げる)するには、画面下のほうの **Scheduled outbound(スケジュール出力)** で、**Scheduled(スケジュール)** を選択し、次の **Settings(設定)**を行います。



## スケジュール

最大7種類の時間間隔を設定できます。これらの時間間隔はスケジュール出力音量設定にだけ使用されます。これらは、他のメッセージ出力のスケジュールには影響しません。

編集する時間間隔を選択するには、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを使用して、利用できる時間間隔をスクロールします。希望する時間間隔がハイライトされたら、Edit(修正)ボタンを押します。

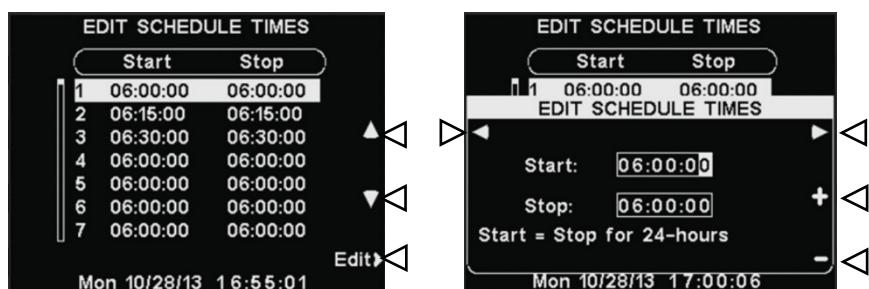
ドロップダウン表示される EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面で、スタートあるいはストップ時刻を編集するには、◀(左)と▶(右)ボタンを使って Start(開始)または Stop(停止)フィールドのハイライト表示を移動させ、+(アップ)と -(ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。

**注意:** 時刻表記は24時間表記です。 例 - 0500 = 午前5時

1700 = 午後5時

0000 = 午前零時

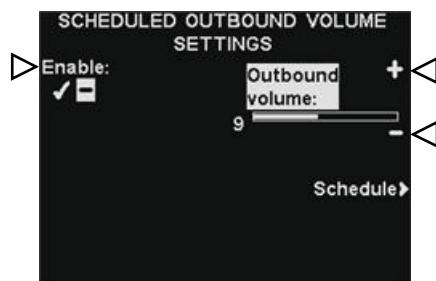
ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。



これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## 設定

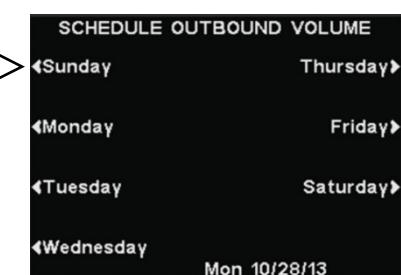
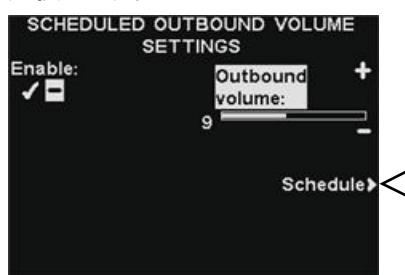
選択された曜日と時刻に有効となる出力音量を大きく、あるいは小さくするには、Outbound volume(出力音量)の+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用します。



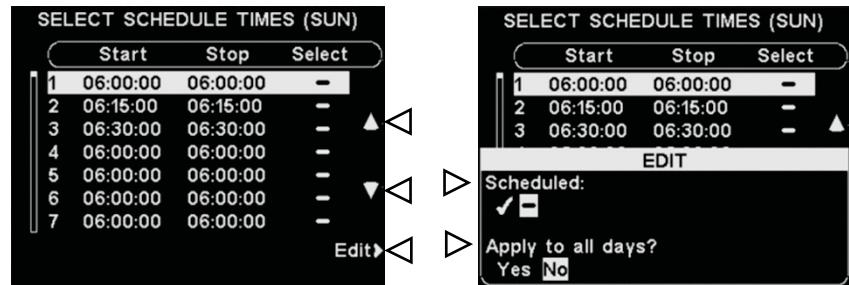
**注:** この Outbound volume(出力音声)の音量はスケジュール出力機能が enable(有効)の場合、スケジュールされた曜日と時刻にだけ有効になります。  
スケジュール期間だけこの Outbound volume(出力音声)を有効にするには、Enable(有効)ボタンを押し、✓(オン)をハイライトさせ選択します。

## スケジュール

設定された出力音量をいつ有効にするかを設定するには、SCHEDULED OUTBOUND VOLUME SETTINGS(スケジュール出力音量の設定)画面で、schedule(スケジュール)を選択します。



SCHEDULED OUTBOUND VOLUME(スケジュール出力音量)画面でスケジュールされた出力音量で運用したい曜日を選択します。



**SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時刻の設定)**画面で、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを使用して、7つのスケジュール時間間隔から、適応したい時間間隔をスクロールします。希望する時間間隔にハイライトが来たら、Edit(修正)ボタンを押します。

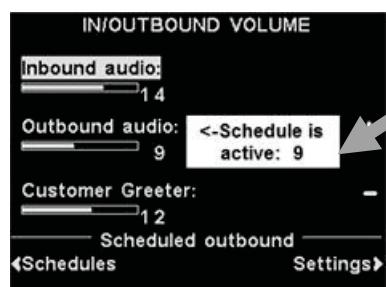
**EDIT(修正)**画面で、Scheduled(スケジュール)ボタンを押し、選択したスケジュール時間間隔に対し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。もし、出力音量の設定をスケジュールされた出力音量で毎日行いたい場合は、Apply to all days?(全曜日に適用)ボタンを押し、Yes(はい)をハイライトさせます。もし、No(いいえ)をハイライトさせた場合は、選択した曜日だけにこの変更が適用されます。

ヘルプが必要な場合は、Help(ヘルプ)ボタンを押します。(英文で表示されます)

これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

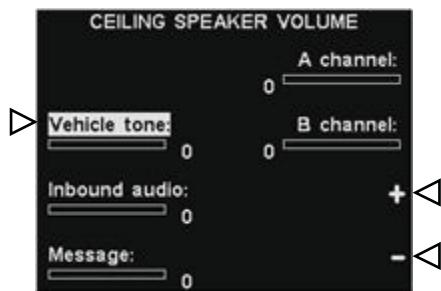
### 確認

スケジュールされた曜日と時刻に出力音量が変更されている間は、現在の出力音量が、**IN/OUTBOUND VOLUME(入出力音量調整)**画面に白いボックスが表示され、音量は内部に表示される値で確認できます。



## 2. 天井スピーカー音量

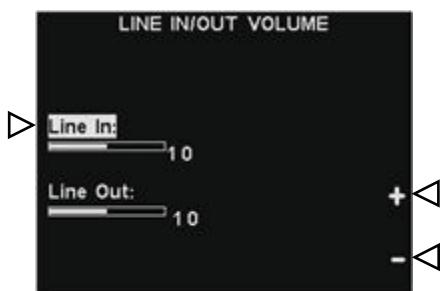
天井スピーカーからの音量を上げたり、下げたりするには、VOLUME MENU(音量メニュー)画面で、Ceiling speaker(天井スピーカー)ボタンを押します。CEILING SPEAKER VOLUME(天井スピーカー音量調整)画面で、調整したい音量項目を選択し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。もし、音量を0にすると、この機能は停止され、選択した項目の音は、一切聞こえなくなります。



これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## 3. ライン入出力

ベースステーションに接続された機器への入出力音量を上げたり、下げたりするには、LINE IN/OUT VOLUME(ライン入出力音量調整)画面で、Line In(ライン入力)またはLine Out(ラインアウト)を選択し、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用します。

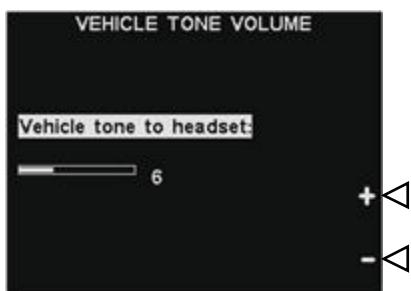


これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## 4. ヘッドセットへの車両到着音

VEHICLE TONE VOLUME(車両到着音音量)設定はヘッドセットに聞こえる警告音だけの調整を行います。

警告音を上げたり、下げたりするには、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用します。



これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

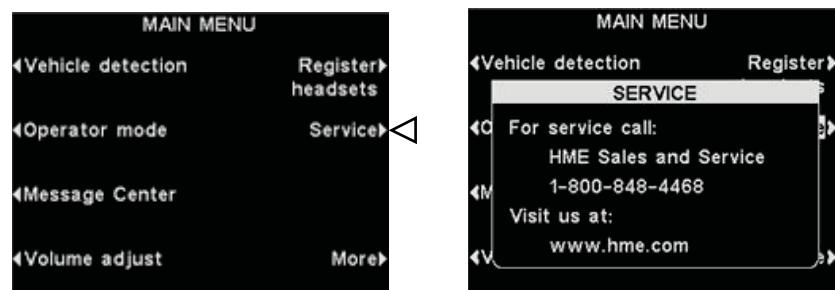
## 4.5.5 ヘッドセット登録

各ヘッドセットをベースステーションに「登録」すると、ベースステーションはヘッドセットの電源が入っていることを認識し、同じような周波数で稼働している他の電子機器と区別することができます。ヘッドセットを交換する場合は、新しいものを使いはじめる前に登録する必要があります。

ヘッドセットを登録するには、ベースステーションの [3.1.3 章](#) を参照してください。

## 4.5.6 サービス

HME の技術サポートとのコンタクト情報を得るには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**を選択した後、**MAIN MENU(メインメニュー)**で **Service(サービス)**を選択します。すべて英語での対応となります。



## 4.5.7 店舗設定

店舗設定はドライブスルー業務で重要な設定です。初期設定後、これらの変更は店舗マネージャか、他の権限のある方が変更できるようにする必要があります。

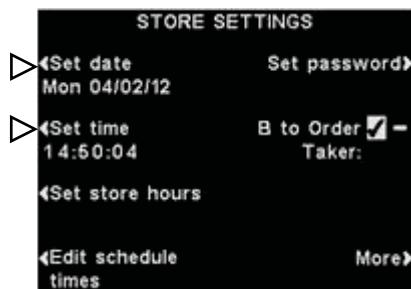
すべての店舗設定を行った後、店舗設定にアクセスできるパスワードを設定し、そのパスワードを店舗マネージャに伝えます。

店舗の設定にアクセスするには、MAIN MENU(メインメニュー)画面で More(詳細)ボタンを押し、ADVANCED MENU(詳細メニュー)で Store settings(店舗の設定)ボタンを押します。



### 日付と時刻の設定

日付と時刻の設定をするには、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で Set date(日付の設定)または Set time(時刻の設定)ボタンを押します。



**注意:** 時刻表記は 24 時間表記です。

SET DATE(日付の設定)または SET TIME(時刻の設定)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使って Date(日付)または Time(時刻)フィールドのハイライトボックスを移動させ、+(アップ)と -(ダウント)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。

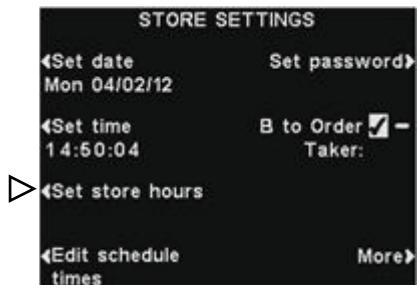
**ヒント!** 時刻の設定を行なう場合は、正確な時刻より少し前の時刻を設定し、正確な時刻に設定が一致するとき、Back(戻る)ボタンを押します。



これらの設定を保存し、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面に戻るには、Back(戻る)ボタンを押します。

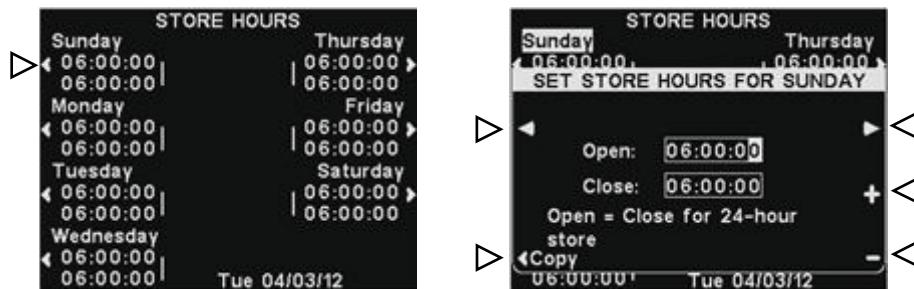
## 営業時間の設定

個別あるいは、毎日の営業時間を設定するには、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で、Set store hours(営業時間の設定)ボタンを押します。

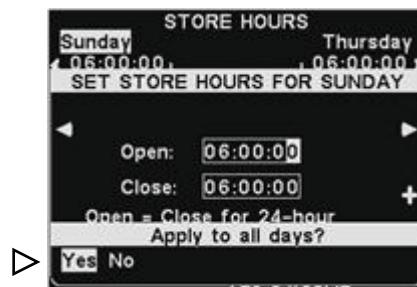


STORE HOURS(開店時間)画面で、変更したい曜日の横のボタンを押します。SET STORE HOURS(開店時間の設定)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使って Open(開店)または Close(閉店)フィールドのハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウント)ボタンを使ってハイライト表示の数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、◀(左)または▶(右)ボタンを使って、ハイライトがひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまでボタンを繰り返し押します。

注：もし、店舗が 24 時間営業の場合、Open(開店)と Close(閉店)に同じ時刻を設定します。



営業時間をすべての曜日に適用する場合は、Copy(コピー)ボタンを押した後、Apply to all days? (全曜日に適用しますか?)ボタンを押し Yes(はい)をハイライトします。No(いいえ)を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

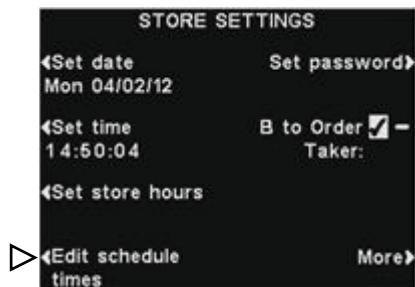


これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## スケジュール時間の編集

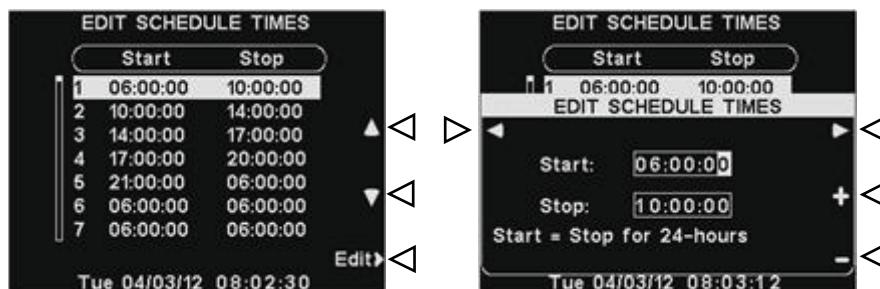
最大 12までのスケジュール時間を設定して、メッセージセンターからメッセージを再生する時間帯を確立できます。スケジュール時間は必要に応じて編集可能です。スケジュール時間を変更するには STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で **Edit schedule times**(スケジュール時間の設定)ボタンを押します。

**注:** EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面には、MESSAGE CENTER(メッセージセンター)からもアクセスできます。



EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面で▲(アップ)と▼(ダウント)ボタンを押して、時間帯リスト内を上下に移動します。▼(ダウント)ボタンを押し続けることで7を超え、12まで、選択することができます。変更したい時間帯がハイライトされたら、Edit(編集)ボタンを押します。

**注意:** これらの時間帯を変更すると、すべてのメッセージセンターのスケジュールが影響をうけます。外部出力音量の設定におけるスケジュール設定は影響をうけません。



◀(左)と▶(右)ボタンを使って Start(開始)または Stop(停止)フィールドのハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウント)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。

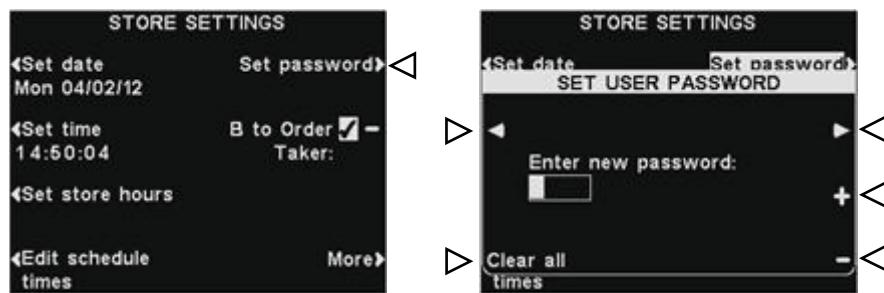
**注:** もし、店舗が 24 時間営業の場合で 24 時間連続させる場合は、Start(開始)と Stop(停止)に同じ時刻を設定します。

これらの設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## パスワードの設定

すべての店舗設定が完了したら、ユーザーpasswordを設定します。設置終了後、必ず、店舗マネージャにこのpasswordを連絡してください。

初めてpasswordを設定するには、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で Set password(password設定)ボタンを押します。



◀(左)と▶(右)ボタンを使って、Enter new password(新規password入力)フィールドのハイライト表示のボックスを移動します。ハイライト表示のボックスに+ (アップ)ボタンを使って英字を入力し、- (ダウブ)ボタンを使って数字を入力します。A 表示の時に- (ダウブ)ボタンを押すと数字を入力できます。9 表示のときに+ (アップ)ボタンを押すと英字を入力できます。▶(右)ボタンを押して、ハイライト表示のボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいpasswordを最初から入力し直す場合は、Clear All(すべてを消去)ボタンを押します。新しいpasswordを入力した後、Back(戻る)ボタンを 2 回押して新しいpasswordを保存し、ADVANCED MENU(詳細メニュー)に戻ります。

## B-to-Order Taker (ビーツーオーダーテイカー)

B-to-Order Taker(ビーツーオーダーテイカー)機能により、オーダー受付係は A ボタンでお客様と交信中に、B ボタンの交信を聞く(または聞かない)ようにすることができます。

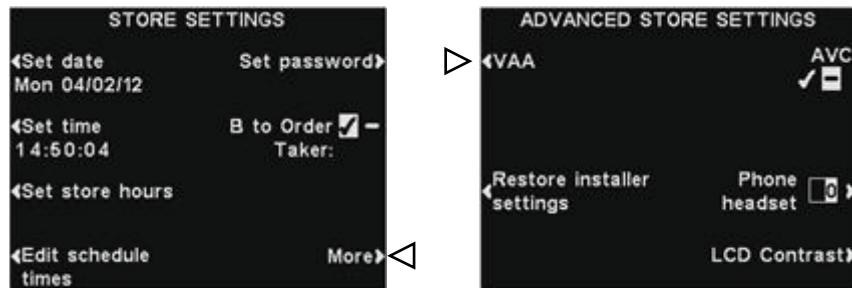
STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で B-to-Order Taker(ビーツーオーダーテイカー) ボタンを押して ✓(オン)を選択すると、オーダー受付係は A ボタンが押されている間も B ボタン交信を聞くことができます。-(オフ)を選択すると、オーダー受付係は A ボタンが押されている間は B ボタン交信を聞くことはできません。



この設定を保存するには、Back(戻る)ボタンを押します。

## VAA 調整

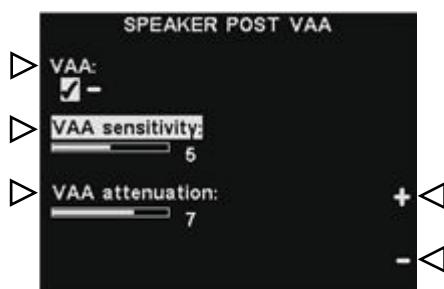
VAA 設定を調整して、エコーヤハウリング、変動する着信音声レベルを取り除くことができます。VAA レベル機能のオン/オフ、または VAA レベルを調整するには、**STORE SETTINGS(店舗の設定)**画面で **More(詳細)**ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS(店舗の詳細設定)**画面で **VAA** ボタンを押します。



### 注意:

マルチレーンの場合  
は、VAA 設定は、レ  
ーン 1 と 2 用が表示  
されます。設定はど  
ちらも同じになります。

**注:** デュアルレーンの店舗の場合、それぞれのレーンについて調整を行う必要があります。



### VAA ✓(オン)または -(オフ):

VAA 機能をオンまたはオフにするには、VAA ボタンを押し、✓(オン)または -(オフ)を選択します。

### VAA 感度レベル:

これは、VAA の回路をアクティブにするために必要なオーダー受付係の声の音量レベルです。通常業務では、オーダー受付係がお客様に話しかけているとき、外部スピーカーの入力レベルを下げる必要があります。お客様に話しかけても着信レベルが自動的に下がらない場合は、**VAA sensitivity(VAA 感度)**ボタンを押し、お客様との会話中に着信音声の音量が下がり、お客様との会話を止めると通常のレベルに戻るようになるまで、+(アップ)と -(ダウ)ボタンを押します。

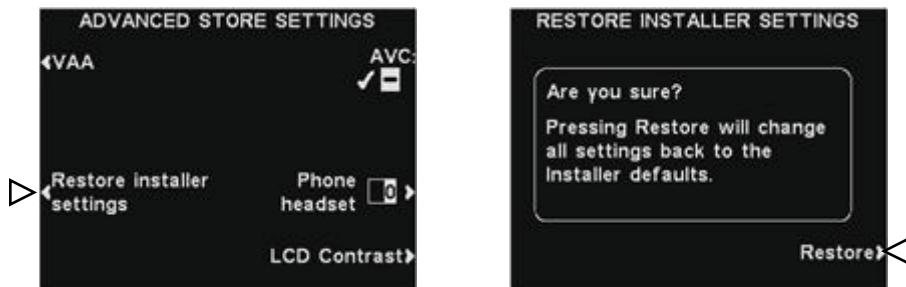
### VAA 減衰レベル:

これは、オーダー受付係がお客様と会話する際に、着信音量レベルを下げる量を示します。この元帥レベルは工場にて 15dB に設定されており、通常調整は必要ありません。

オーダー受付係が話す際に着信音声を全く聞くことができない場合は、**VAA attenuation(VAA 減衰)**をより低いレベルに調整します。この調整を行なうには、**VAA attenuation(VAA 減衰)**ボタンを押し、希望するレベルに達するまで +(アップ)と -(ダウ)ボタンを押します。減衰機能を使用しない場合は、この設定を調整せずに VAA をオフにしてください。

## インストーラ設定の復元

すべての初期設定を行った後には、店舗の方により、設定のカスタマイズ調整を行うことができます。カスタマイズを実行後、ベースステーションの設定をオリジナルなインストーラ設定に戻すことができます。これを行うには、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で **Restore installer settings**(インストーラ設定の復元)ボタンを押し、**RESTORE INSTALLER SETTINGS**(インストーラ設定値の復元)画面で **Restore**(復元)ボタンを押します。



## AVC(自動音量コントロール)設定

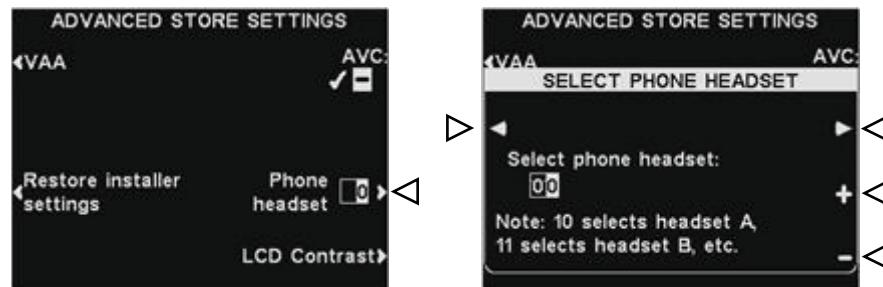
AVC(自動音量コントロール)ボタンを押し、AVC(自動音量コントロール)機能の✓(オン)または - (オフ)を選択します。屋外に過度の騒音がある場合、スピーカーから流れるオーダー受付係の音声レベルが上がります。ドライブスルーの周辺が静かになると、音声レベルが下がるように調整されます。



**注意:**  
マルチレーンの場合  
は、AVC 設定は、レ  
ーン 1 と 2 用が表示  
されます。設定はど  
ちらも同じになりま  
す。

## 電話対応ヘッドセット

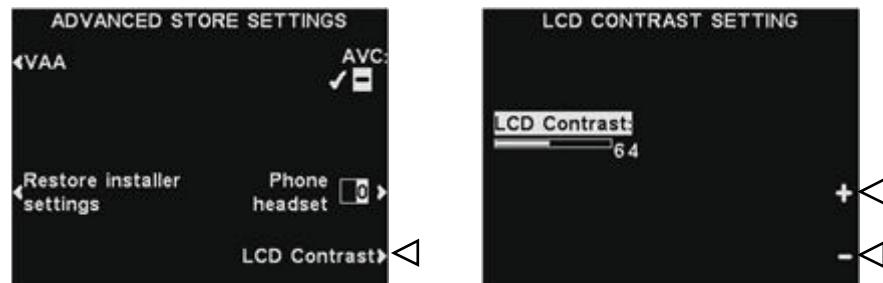
ベースステーションに HME 電話インターフェイスが接続されている場合、電話応答を行うひとつのヘッドセットを指定できます。これを行うためには、**ADVANCED STORE SETTINGS(店舗の詳細設定)**画面で **Phone headset(電話対応ヘッドセット)** ボタンを押します。**◀(左)**と**▶(右)**ボタンを使って **Select phone headset(電話対応ヘッドセットの選択)** フィールドのハイライトを移動した後、**+(アップ)**と**- (ダウン)**ボタンを使ってヘッドセット番号を入力します。



この設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

## LCD コントラスト

ベースステーション画面の明/暗のコントラストを調整するには、**ADVANCED STORE SETTINGS(店舗の詳細設定)**画面で **LCD Contrast(LCD コントラスト)** ボタンを押した後、**+(アップ)**(より明るい)と**-(ダウン)**(より暗い)のボタンを押してコントラストを調整します。完了したら、**Back(戻る)**ボタンを押して、設定を保存し、希望する画面に戻ります。



注:LCD コントラストは工場で設定されており、通常、調整する必要はありません。

## 4.5.8 インストーラの設定

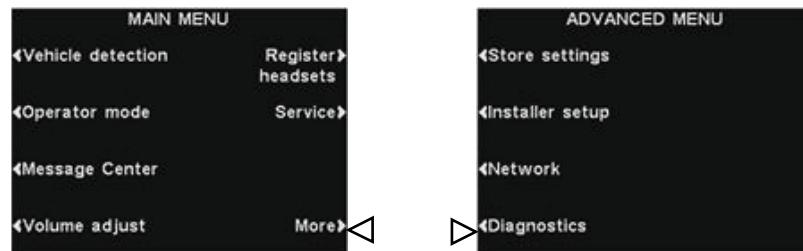
基本インストーラの設定は [4.2 章](#) を参照してください。詳細インストーラの設定は [4.3 章](#) を参照してください。

## 4.5.9 ネットワーク

ネットワークの設定は [4.4 章](#) を参照してください。

## 4.5.10 診断

EOS|HD の操作で問題が発生した場合、**Diagnostics(診断)**ボタンを押すだけで、HME テクニカルサポートと連絡をとります。テクニカルサポートの担当者が自動診断を指導します。サポートが必要な場合、ベースステーションの **LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**を選択した後、**MAIN MENU(メインメニュー)**画面で **More(詳細)**ボタンを押します。**ADVANCED MENU(詳細メニュー)**画面で、**Diagnostics(診断)**ボタンを押して、テクニカルサポート担当者に要請されたテストを選択します。



もし要求された場合、**DIAGNOSTICS(診断)**画面で、追加の診断のために **More(詳細)**ボタンを押します。



## 4.5.11 早期警報設定

外部検出器を EOS|HD 併用すると、車両がドライブスルーエリアに進入した時点で、事前警報信号を発するように設定できます。事前警報信号を設定するには、まず、外部車両検出器を希望する検出地点に設置し、ケーブルを [図 26~36](#) の配線図に従って、ベースステーションのオーディオ回路基板に接続します。

EOS|HD をネットワーク上で動作するように設定した場合は、ベースステーションから行った設定を、ウェブブラウザを使用し、PC でも同じように設定することができます。[4.4 章\(ネットワーク設定\)](#)を参照し、IT 部門からの情報により、ベースステーションをネットワークに接続する設定を行ってください。

EOS|HD は、ベースステーションの構成設定を表示し、編集することができます。EOS|HD を PC で開くには、以下の例に示されるように、インターネット・ブラウザのアドレスバーに IP Address(IP アドレス)を入力し、キーボードの **Enter(入力)** キーを押します。



**注:**IP アドレスを調べるには、ベースステーションで次の通りに操作し、画面で確認して下さい。

LANE STATUS(レーン状態)> More(詳細)> More(詳細)> More(詳細)> More(詳細)

NETWORK STATUS	
Link:	- DHCP: ✓
IP Address:	192.168.001.096
Subnet:	255.255.000.000
Gateway	000.000.000.000
DNS1:	000.000.000.000
DNS2:	000.000.000.000
MAC address:	00.00.00.00.00.00
◀Menu	More▶
Thu 02/06/14 09:47:47	

**Main Menu(メインメニュー)**  
一)から表示または編集するカテゴリを選択します。いくつかのトピックには、サブトピックが選べる  
**Secondary Menu(セカンダリメニュー)**バーがあります。

Main menu (メインメニュー)		Secondary menu (セカンダリメニュー)		
Status	Message Center			
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	
Vehicle detection	Times: 1 07:00:00 2 10:31:00 3 07:00:00 4 17:00:00 5 11:01:00 6 01:01:00 7 06:00:00 8 06:00:00 9 06:00:00 10 06:00:00 11 06:00:00 12 06:00:00	Start 22 - :00 - :00 -	Stop 01:00:00 11:00:00 20:00:00 01:00:00 00:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00	<b>Edit buttons</b> (編集ボタン)
Volume adjust				
Register headsets				
Message Center				
Store settings				
Installer settings				
Network settings				
Reports				
Diagnostics				
Service				

**Edit(編集)**ボタンにカーソルを合わせてクリックすると、設定の選択肢が付いた編集バーが表示されます。設定を変更した場合は、**Save(保存)**ボタンを押して変更を保存します。変更を保存しない、または変更を行なわない場合は、他のメニュートピックの上にカーソルを合わせてクリックするか、ブラウザ画面の左上の **back(戻る)**矢印をクリックします。

Main menu (メインメニュー)		Secondary menu (セカンダリメニュー)		
Status	Message Center			
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	
Vehicle detection	Times: 1 07 - :00 - :00 - 2 10:31:00 3 07:00:00 4 17:00:00 5 11:01:00 6 01:01:00 7 06:00:00 8 06:00:00 9 06:00:00 10 06:00:00 11 06:00:00 12 06:00:00	Start 22 - :00 - :00 -	Stop 01:00:00 11:00:00 20:00:00 01:00:00 00:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00 06:00:00	<b>Edit bar</b> <b>Save button</b>
Volume adjust				
Register headsets				
Message Center				
Store settings				
Installer settings				
Network settings				
Reports				
Diagnostics				
Service				

EOS|HD は、次のようなウェブページを提供します。

- **Status(状態)** - レーン状態、メッセージ状態、ベースステーション状態、バージョン情報、ネットワーク情報およびコピーライト権を表示します。
- **Vehicle detection(車両到着)** - ベースステーションに実装されている車両検出ボードの制御トリセットが行えます。
- **Volume adjust(音量調整)** - 各音響機器の音量調整が行えます。
- **Register headset(ヘッドセットの登録)** - ひとつ、あるいは複数のヘッドセットの登録、あるいはヘッドセットの登録消去が行えます。
- **Message center(メッセージセンター)** - 目的の音響設備へ流すメッセージの設定と警告メッセージの場合、メールのメッセージ内容と受信者についても設定が行えます。
- **Store settings(店舗設定)** - インストーラ設定の復元と同様、年月日、時刻、店舗営業時刻、スケジュール時間、パスワード、ビーツーオーダーテイカー、VAA、AVC、電話対応ヘッドセット、液晶コントラスト等の店舗パラメータの設定が行えます。
- **Installer settings(インストーラ設定)** - インストーラ設定の保存と工場出荷時設定への復元と同様、レーン設定、オートハンズフリー、言語選択、スピーカーポスト設定、クリアサウンド、電話、ライン入出力経路、無線オプションと車両到着音等の基本動作設定が行えます。
- **Reports(レポート)** - メッセージセンターの設定とヘッドセット状況レポートを確認することができます。
- **Diagnostics(診断)** - HME のテクニカルサポートが問題発生時に診断用に使用する情報を供給します。
- **Service(サービス)** - HME のテクニカルサポートによるサポートを受けるときに必要なすべてのバージョン情報とコンタクト先を表示します。

## 5. システム機能チェック

動作	結果
ベースステーションの電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。	システムに電源が入ります。ベースステーションのランプがつきます。
<b>屋外スピーカー/マイクのところに行き(または誰かを行かせ)、次の操作を行います。</b>	
ヘッドセットの A1 ボタンまたは A2 ボタンを押し、マイクに向かって話します。	音声が屋外スピーカーから聞こえます。
A1/A2 ボタンを離します。ベースステーションの MAIN MENU(メインメニュー)画面で、Vehicle Detection(車両検出)ボタンを押した後、Mode(モード)ボタンを押し、 OVERRIDE(オーバーライド)を選択します。屋外のマイクを軽く叩きます。	車両検出音がヘッドセットのイヤホンから聞こえた後、外部マイクからの音声が聞こえます。聞こえない場合は、敗戦の問題が考えられます。

## 6. 通常業務操作

---

EOS|HD は、ハンズフリー(HF)、自動ハンズフリー(AHF)、B チャンネルハンズフリー(BHF)、またはプッシュツートーク(PTT)の操作ができます。

全二重式システムは、HF、AHF、BHF、PTT の操作に対応します。HF、AHF と BHF の操作では、通常の電話会話のように、通信を同時に送受信できます。AHF モードでは、お客様がドライブスルーレーンに入ると、送信と受信が自動的に有効になります。HF モードでは、送信と受信はヘッドセットの A1 または A2 ボタンに触れて離すことによって有効になります。PTT モードでは、オペレータがお客様と会話している間は A1 または A2 ボタンに触れ続ける必要があります。半二重式システムは PTT モードのみに対応し、オペレータが A1 または A2 ボタンに触れている間は、お客様の客の声は聞こえません。

シングルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、ヘッドセットからビープ音が 1 回聞こえます。

デュアルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、レーン 1 用ヘッドセットからビープ音が 1 回、レーン 2 用ヘッドセットからはビープ音が 2 回聞こえます。

デュアルレーン操作では、1 つのレーンのお客様と交信している時に他のレーンに別のお客様が入ると、ヘッドセットからビープ音が聞こえます。接続しているレーンのスピーカーポストからお客様が離れると、他のレーンのお客様と通信するために A1 または A2 ボタンに触れるまで、ヘッドセットから同じビープ音が 4 秒ごとに繰り返し聞こえます。

**注:** デュアルレーン動作で、もし、Mode switch(モードスイッチ)を使用し、DEDICATED(専用)に設定されている場合、お客様がレーンに到着したときにそのレーンに設定されているヘッドセットだけに車両到着音が聞こえます。

### 6.1 ヘッドセット指示言語の変更

---

ヘッドセットから聞こえる指示言語を英語からスペイン語かフランス語に変更した後に英語に戻すには、電源をオフにし、音量ダウンの V ボタンと A1 ボタンに触れながら電源ボタンを押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから聞こえる指示言語が変更されます。ヘッドセットはこの設定状態を保持します。

### 6.2 ヘッドセット状態の取得

---

ヘッドセットの状態入手するには、電源をオフにし、音量ダウンの V ボタンと A2 ボタンに触れながら電源ボタンを押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから状態メッセージが聞こえます。

## 6.3 シングルレーン操作 (1 レーンに 1 つのスピーカーポスト)

### ハンズフリー(HF)モード:

- HF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの△と B ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビープ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様と話すには、A1 または A2 ボタンに触れて離します。
- お客様との会話を終了するには、A1、A2、または B ボタンに触れて離します。
- 再びお客様と話すには、A1 または A2 ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニュー ボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

### 自動ハンズフリー(AHF)モード:

一度にひとりのヘッドセット・オペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができます。ヘッドセットの電源をオフにするまで、この設定状態で使用できます。

- AHF モードで電源をオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの△と A1 ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビープ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- どのボタンにも触れずに、お客様と会話が行えます。
- お客様との会話を終了するには、A1、A2、または B ボタンに触れて離します。
- 再びお客様と会話するには、A1 または A2 ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニュー ボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

### B チャンネルハンズフリー(BHF)モード:

- BHF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、B ボタンと A2 ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- BHF モードは、従業員同士がハンズフリーで会話するためのものです。もし、お客様が到着すると、B チャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために中断されます。

### プッシュツートーク(PTT)モード:

- PTT モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンの▽と B ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビープ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様と話すには、A1 または A2 ボタンに触れ続けます。お客様との会話を中断するとき(全二重式の場合)、またはお客様の音声を聞く(半二重式の場合)ときは、ボタンを離します。

## 6.4 デュアルレーン操作 (それぞれのスピーカーポストがある、2つのレーン)

### ハンズフリー(HF)モード:

- HF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの $\wedge$ と**B**ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音(レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回)が聞こえ、そのレーンに設定されていれば、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの $\wedge$ ボタンと音量ダウンの $\vee$ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様と話すには、レーン 1 の場合は**A1**ボタンを、レーン 2 の場合は**A2**ボタンに触れて離します。
- お客様との会話を終了するには、レーンにより**A1**または**A2**、あるいは**B**ボタンに触れて離します。
- お客様と再び話すには、レーン 1 の場合は**A1**ボタンを、レーン 2 の場合は**A2**ボタンに触れて離します。
- レーンを変更するには、もう一方の**A**ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニュー ボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

### 自動ハンズフリー(AHF)モード:

各レーンでは、一度にひとりのヘッドセットのオペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができます。オペレータが2番目のヘッドセットを設定しようとすると、ヘッドセットから「System busy(システム使用中)」というメッセージが聞こえます。AHF モードで操作中は、レーンは変更できません。ヘッドセットの電源をオフにするまで、この設定状態で使用できます。AHF モードでヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

- レーン 1 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの $\wedge$ と**A1**ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- レーン 2 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの $\wedge$ と**A2**ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音(レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回)が聞こえ、そのレーンに設定されていれば、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの $\wedge$ ボタンと音量ダウンの $\vee$ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- どのボタンも押さずにお客様に話し、お客様の声を聞きます。
- お客様との会話を終了するには、レーンにより**A1**または**A2**、あるいは**B**ボタンに触れて離します。
- お客様と再び会話するには、レーン 1 の場合は**A1**ボタンを、レーン 2 の場合は**A2**ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニュー ボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

### B チャンネルハンズフリー(BHF)モード:

- BHF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、**B**ボタンと**A2**ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- BHF モードは、従業員同士がハンズフリーで会話するためのものです。もし、お客様が到着すると、B チャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために中断されます。

### プッシュツイートーク(PTT)モード:

- PTT モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンの $\vee$ と**B**ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音(レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回)が聞こえ、そのレーンに設定されていれば、スピーカーポストまたはメニュー ボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。

- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- レーン 1 のお客様と話すには A1 ボタンを、レーン 2 のお客様と話すには A2 ボタンに触れ続けます。お客様との会話を中断するとき(全二重式の場合)、またはお客様の声を聞く(半二重式の場合)には、ボタンを離します。

## 6.5 タンデム操作(1 レーンに 2 つのスピーカーポスト)

タンデム操作では、オーダーポイント#1 のお客様はオーダー受付係#1 が対応し、オーダーポイント#2 のお客様はオーダー受付係#2 が対応します。お客様がオーダーポイント#2 に入った時にオーダーポイント#1 にお客様がいない場合、「Please pull forward(前にお進みください)」というメッセージが流れます。お客様がオーダーポイント#1 に到着すると、オーダー受付係#1 に到着音が聞こえます。お客様がオーダーポイント#1 にすでにいる場合、お客様がオーダーポイント#2 に到着すると、オーダー受付係#2 に到着音が聞こえます。

**注:** あらかじめ登録されている「Please pull forward(前にお進みください)」というメッセージを変更する場合は、[Message Center\(メッセージセンター\)](#)を参照してください。

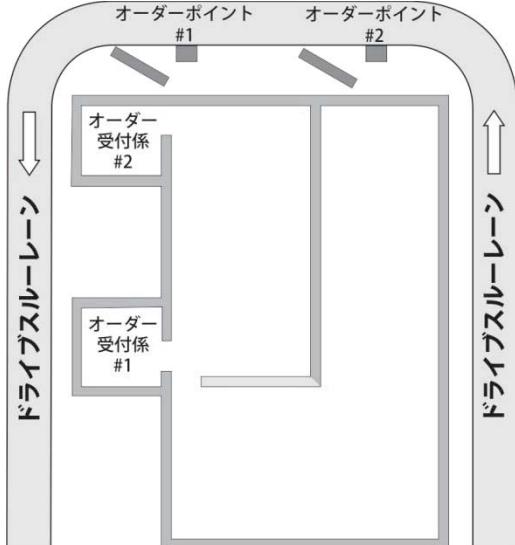


図 20. 一般的なタンデム式ドライブスルー

**注意:** タンデム操作では、オーダー受付係#2 のヘッドセットが自動ハンズフリーモードに設定されている場合は、「Please pull forward(前にお進みください)」というメッセージはオーダーポイント#2 では再生されません。必要な場合は、オーダー受付係#2 がオーダーポイント#2 のお客様に前に進むように伝えなければなりません。

### ハンズフリー(HF)モード(オーダー受付係のいざれか):

- HF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの△と B ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がオーダーポイント#1 に到着すると、オーダー受付係#1 のヘッドセットから警告音が聞こえ、スピーカーポスト#1 またはメニューボード#1 にいるお客様の声が聞こえるようになります。
- オーダーポイント#1 にすでにお客様がいるときに、お客様の車がオーダーポイント#2 に到着すると、オーダー受付係#2 のヘッドセットから警告音が聞こえ、スピーカーポスト#2 またはメニューボード#2 にいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- オーダー受付係#1 がオーダーポイント#1 のお客様と話すには、A1 ボタンに触れて離します。
- オーダー受付係#2 がオーダーポイント#2 のお客様と話すには、A2 ボタンに触れて離します。
- お客様との会話を終了するには、レーンにより A1 または A2、あるいは B ボタンに触れて離します。
- お客様と再び会話するには、レーンにより A1 または A2 ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

#### **A 自動ハンズフリー(AHF)モード(オーダー受付係#1のみ):**

- オーダー受付係#1だけが AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの△と A1 ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットの電源をオフにするまで、この設定状態で使用できます。
- お客様の車がオーダーポイント#1に到着すると、ヘッドセットから警告音が聞こえ、スピーカーポスト#1またはメニューボード#1にいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- どのボタンも押さずにお客様に話し、お客様の声を聞きます。
- お客様との会話を終了するには、A1、または B ボタンに触れて離します。
- 再びお客様と話すには、A1 ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

#### **B チャンネルハンズフリー(BHF)モード:**

- BHF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、B ボタンと A2 ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。
- BHF モードは、従業員同士がハンズフリーで会話するためのものです。もし、お客様が到着すると、B チャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために中断されます。

#### **プッシュツートーク(PTT)モード(オーダー受付係のいずれか):**

- PTT モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンの▽と B ボタンに触れながら電源ボタンを押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がオーダーポイント#1に到着すると、オーダー受付係#1のヘッドセットから警告音が聞こえ、スピーカーポスト#1またはメニューボード#1にいるお客様の声が聞こえるようになります。
- オーダーポイント#1にすでにお客様がいるときに、お客様の車がオーダーポイント#2に到着すると、オーダー受付係#2のヘッドセットから警告音が聞こえ、スピーカーポスト#2またはメニューボード#2にいるお客様の声が聞こえるようになります。
- 必要な場合は、音量アップの△ボタンと音量ダウンの▽ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- オーダーポイント#1のお客様と話すには A1 ボタンを、オーダーポイント#2のお客様と話すには A2 ボタンに触れ続けます。お客様との会話を中断するとき(全二重式の場合)、またはお客様の声を聞く(半二重式の場合)には、ボタンを離します。

## **6.6 店舗内コミュニケーション**

BHF モードが設定されていると、従業員同士がハンズフリーで会話するために、B チャンネルを占有使用します。もし、お客様が到着すると、B チャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために、自動的に中断されます。

BHF モードが設定されていない場合、他のヘッドセットと店舗内会話をを行うには、B ボタンに触れ続けます。会話が終わったら、ボタンを離します。シングルレーン操作では、最高 4 人までのヘッドセットオペレータが全員 B ボタンに触れ続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が干渉なく、お互いに会話が行えます。

デュアルレーン操作では、システムが「Split-B(スプリット B)」に設定されている場合、レーンのヘッドセット オペレータのみが店舗内の会話を聞くことができます。システムが「Split-B(スプリット B)」に設定されていない場合、両レーンのヘッドセット オペレータ全員に店舗内の会話が流れます。デュアルレーン操作では、最高 3 人までのヘッドセット オペレータが全員 B ボタンに触れ続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が干渉なく、お互いの会話が聞こえます。店舗内会話を行なっている時に車がレーンに入った場合は、お客様との会話のため、該当する A チャンネルに優先権が与えられ、使用可能な店舗内会話チャンネルの数が減ります。

## 6.7 スピード-チーム オペレーション

スピードチーム操作は忙しい時間帯に使用します。ヘッドセットを装着しているオーダー受付係が、A1、A2 または B ボタンを使って、外からのオーダーを店舗内にまわします。

注：スピードチームはシングルレーン、デュアルレーンで使用でき、タンドムでは使用できません。

**注意：**スピードチームを （オン）にすると、ベースステーションの多くの機能が無効になります。スピードチーム操作中は、車両の到着音とお客様の声は聞こえません。通常に注文を受ける場合は、スピードチームの設定は -(オフ)にしてください。

スピードチーム操作を開始するには、ベースステーションの **LANE STATUS**（レーン状態）画面で **Menu**（メニュー）ボタンを押した後、**MAIN MENU**（メインメニュー）画面の **Operator mode**（オペレータモード）ボタンを押します。**OPERATOR MODE**（オペレータモード）画面で、**Activate Speed Team**（スピードチームの有効化）ボタンを押して （オン）を選択します。通常操作に戻す場合は、**OPERATOR MODE**（オペレータモード）画面に戻り、**Activate Speed Team**（スピードチームの有効化）ボタンを押して -(オフ)を選択します。

**External** を選択した場合、スピードチームの設定は、ベースステーションに接続されているリモードスイッチによってだけ有効化されます。図 24 を参照ください。



**注：**  
デュアルレーン操作の場合に、**Activate dedicated mode**（専用モードの有効化）の設定が **OPERATOR MODE**（オペレータモード）画面に表示されます。  
説明は [Appendix \(参照\)](#) を参照ください

## 6.8 有線バックアップシステム

有線バックアップシステムを使用するには、ベースステーションにスイッチャー基板（オプション）が必要です。図 23 に示されるように、ベースステーションを開けて基板があるかどうか確認してください。スイッチャー基板がない場合は、有線バックアップシステムは使用できません。スイッチャー基板がある場合は、S2 スイッチを IN の位置にし、有線バックアップシステムを使用します。EOS|HD を使用しているときは、S2 スイッチを OUT の位置に入れたままにします。

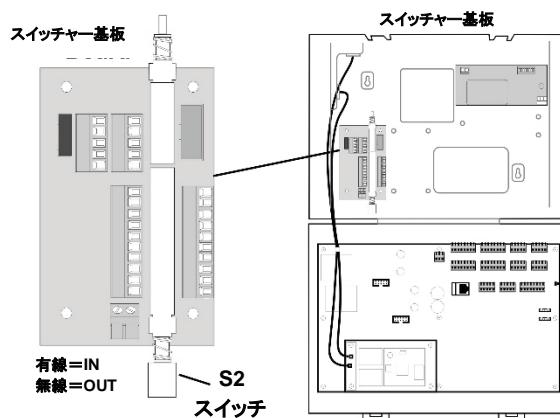


図 21. スイッチャー基板の S2 スイッチ

## 6.9 メッセージセンターの操作

メッセージの録音、再生の時刻と場所の設定については、[section 4.5.3 章](#)を参照ください。

## 7. 問題が発生した場合

問題	考えられる原因	解決方法
電源ボタンを押すと、ヘッドセットから「Battery failed(バッテリー故障)」というメッセージが聞こえる。	バッテリーに欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	バッテリーを交換します。HME までお問合せください。* アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
電源ボタンを押すと、「Headset failed(ヘッドセット故障)」というメッセージが聞こえる。	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。* アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
ヘッドセットのマイクに向かって話すと、ヘッドセットのイヤホンから自分の音声のエコーが聞こえる。	屋外スピーカーとマイクが適切に設置されていない可能性があります。 音声の送信および/または受信レベルの設定が高すぎる可能性があります。 VAA レベルの調整が必要な場合があります。	スピーカーとマイクがお互いから引き離され、振動を吸収するため周囲に十分なスポンジを詰めてしっかりと取り付けられていることを確認してください。 送信音声レベルをお客様に聞こえる最低限の大きさに設定します。着信音声を快適なレベルに下げます。 VAA レベルを調整して、ヘッドセットのマイクに向かって話す時の着信音声レベルを下げます。 注:着信レベルが低すぎると、お客様の声が聞こえなくなります。
ボタン A を押してマイクに向かって話しても、ヘッドセットから音声が聞こえない。	ベースステーションの電源がオフになっている可能性があります。 ベースステーションの電源が作動していない可能性があります。 ヘッドセットの電源がオンになっていない可能性があります。 音量が適切に設定されていない可能性があります。 バッテリーが低い、欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットが登録されていない可能性があります。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。 建物のブレーカーをチェックします。 電源アダプターが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。 ヘッドセットの電源ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。 音量アップとダウンのボタンを使って、音量を調整します。 電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。 別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。* ヘッドセットを登録します。
チャンネル A または B が作動していない。	ヘッドセットの電源がオフになっていない可能性があります。 バッテリーが低い、欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットの A または B ボタンが押されても、ベースステーションの A1/A2 または B1/B2 ランプが点灯しません。 ヘッドセットが登録されていない可能性があります。	ヘッドセットの電源ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。 電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。 別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。* ヘッドセットを登録します。
送信音が低すぎる。	送信音量の設定が、環境に対して低すぎる可能性があります。	屋外スピーカーの音量レベルを調整します。
送信音がなく、お客様に何も聞こえない。	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。 屋外スピーカーまたはベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。 スピーカーまたはベースステーションが不良品。	スピードチーム設定をチェックします。 ベースステーションの車両出現ランプ(車)をチェックします。 ベースステーションの J6 または J14 と屋外スピーカー間の配線接続と、屋外スピーカーをチェックします。 HME までお問合せください。*

問題	考えられる原因	解決方法		
プッシュトゥトーク(PTT)操作で、お客様の声が聞こえない。	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。 ベースステーションが正しくないドライブスルーモード(全二重式または半二重式)に設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。 ドライブスルーモードの設定をチェックします。		
ヘッドセットから断続的な声だけが聞こえる。	ベースステーション トランシーバー回路基板の送信機用アンテナのコネクタが緩んでいるか、破損している可能性があります。 回路基板に欠陥がある可能性があります。 VAA レベルの感度が高すぎます。	アンテナがベースステーションにネジでしっかりと固定されていることを確認します。 トランシーバー回路基板左側の ANT1 と ANT2 で、送信機用アンテナケーブルの接続を確認します。HME までお問合せください。*	HME までお問合せください。*	VAA レベルを下げます。
天井スピーカーまたはヘッドセットからお客様の声は聞こえるが、従業員同士の声が聞こえない。	回路基板に欠陥がある可能性があります。 ヘッドセットがに欠陥がある可能性があります。	ボタンを押した時に、ベースステーションの A1/A2 と B1/B2 ランプが点灯するかどうかを確認します。HME までお問合せください。*	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*	
車両がドライブスルーレーンに進入した時に、天井スピーカーまたはヘッドセットから音や声が全く聞こえない。	停電が原因で、車両検出器回路が不安定になっている可能性があります。 システムがスピードチームに設定されている可能性があります。 コネクタが緩んでいる可能性があります。	車両がドライブスルーレーンにいない時に、車両検出器をリセットします。 スピードチーム設定をチェックします。 ベースステーションのコネクタすべてをチェックします。HME までお問合せください。*		
天井スピーカーまたはヘッドセットからお客様の声が聞こえない。	ベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。 システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。 屋外スピーカー、オーディオ回路基板、または車両検出器基板が故障しました。 VAA 減衰の設定が高すぎます。	ベースステーション回路基板のコネクタへのワイヤー差込みをすべてチェックします。 スピードチーム設定をチェックします。 HME までお問合せください。*	スピードチーム設定をチェックします。	減衰を減らします。
ヘッドセットからの音声が断続的になる。	バッテリーの残量が低い可能性があります。 ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	バッテリーを交換します。 別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*		
すべてのお客様と会話した後もヘッドセットから声が聞こえる。	ベースステーションがオーバーライドに設定されている可能性があります。 車両検出器が作動していない可能性があります。	VEHICLE DETECTION(車両検出)メニューで、Mode(モード)設定が Normal(通常)になっていることを確認します。 VEHICLE DETECTION(車両検出)メニューで、Reset Veh DETECT(車両検出器のリセット)を選択します。		
バッテリー充電器が作動していない。	充電器が接続されていない可能性があります。	充電器が接続されていることを確認します。接続されているにも関わらず作動しない場合は、HME までお問合せください。*		
「Registration failed(登録に失敗しました)」というメッセージがヘッドセットから聞こえ、ランプは赤色になっている。	ベースステーションの電源がオンになっていません。 登録ボタンが押されていません。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合、電源アダプターが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。 登録の手順を繰り返します。HME までお問合せください。*		

\*サポートが必要な場合、HME(電話 1-800-848-446、FAX 858-552-0172 英語だけの対応)または、代理店までお問い合わせください。

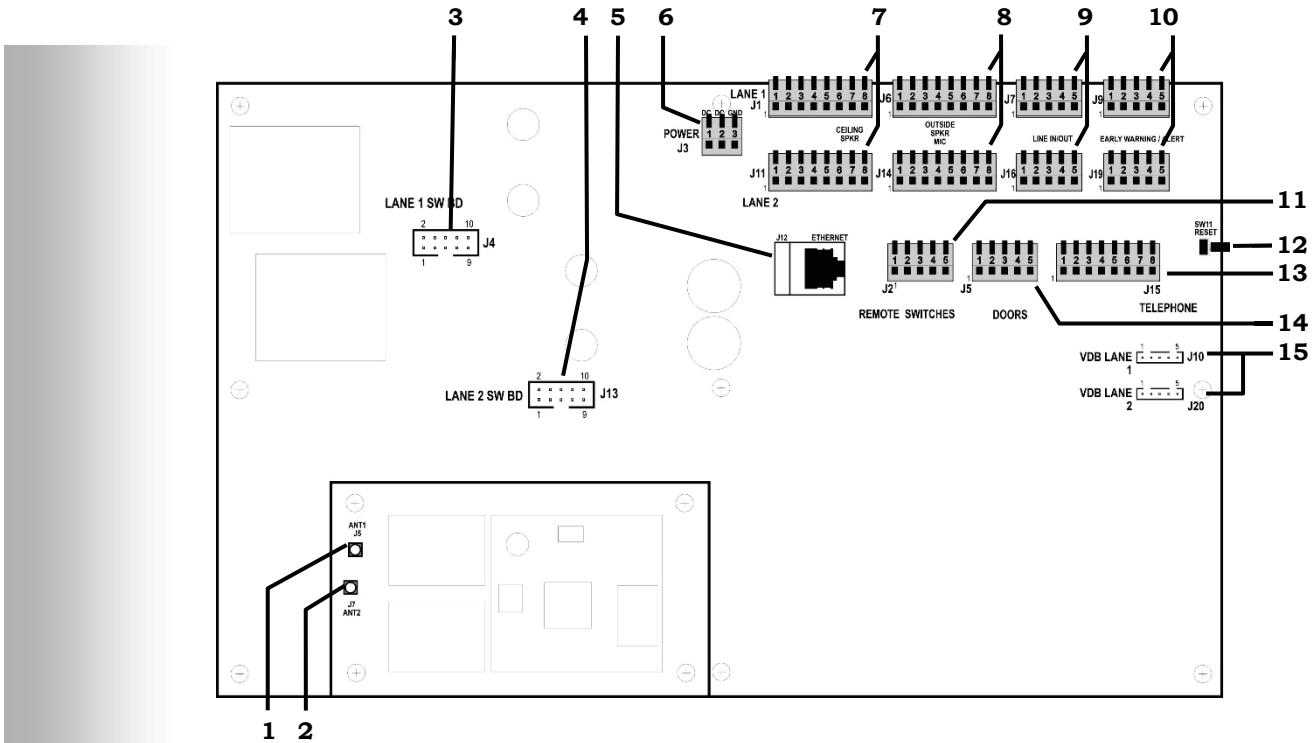


図 22. ベースステーション内部コネクタとコントロール

1. ANT1 アンテナコネクタ
2. ANT2 アンテナコネクタ
3. スイッチ基板コネクタ、J4-レーン 1
4. スイッチ基板コネクタ、J13-レーン 2
5. イーサネットコネクタ、J12
6. 電源コネクタ、J3
7. 天井スピーカー用コネクタ、J1-レーン 1、J11-レーン 2
8. 屋外スピーカー/マイクロフォン用コネクタ、J6-レーン 1、J14-レーン 2
9. ライン入出力用コネクタ、J7-レーン 1、J16-レーン 2
10. 早期警戒/警報用コネクタ、J9-レーン 1、J19-レーン 2
11. リモートスイッチ用コネクタ、J2
12. リモートスイッチ
13. 電話用コネクタ、J15
14. 警告メッセージ有効化のためのドア用コネクタ、J5
15. 車両検出器基板(VDB)用コネクタ、J10-レーン 1、J20-レーン 2

## 8. スペイン語またはフランス語操作のためにベースステーションを設定するには

ベースステーションを工場出荷時の設定に戻すと、操作用言語は英語となります。言語をスペイン語またはフランス語に設定するには、ベースステーションの画面で以下の選択を行います。

以下の画面 1 から順番に、矢印が示すボタンを押します。



INSTALLER SETUP(インストーラの設定)画面で **More(詳細)** ボタンを押して、ADVANCED INSTALLER SETUP(詳細インストーラ設定)画面で、**Language(言語)** ボタンを押します。

SELECT LANGUAGE(言語の選択)画面で **Select language(言語の選択)** ボタンを押し、希望の言語をハイライトさせます。

言語選択終了後、設定を保存するために **Back(戻る)** ボタンを押します。ベースステーションは自動的に再起動され、以前の操作モードにリセットされます。

## 9. 装置仕様

### ベースステーション

入力電圧	24VDC ±2.5V
DC 入力電流	最大 2.5A
オーディオ歪率	最大レベル 5%
屋外スピーカー出力	3 W RMS (8Ω)
天井スピーカー出力	3 W RMS (8Ω)
TX/RX 周波数	2400MHz ~ 2483.5MHz
寸法	9.75"(高さ) x 13"(幅) x 3.5"(奥行) (248 mm x 330 mm x 89 mm)
重量	最大 3.25 lbs (1.47 kg)

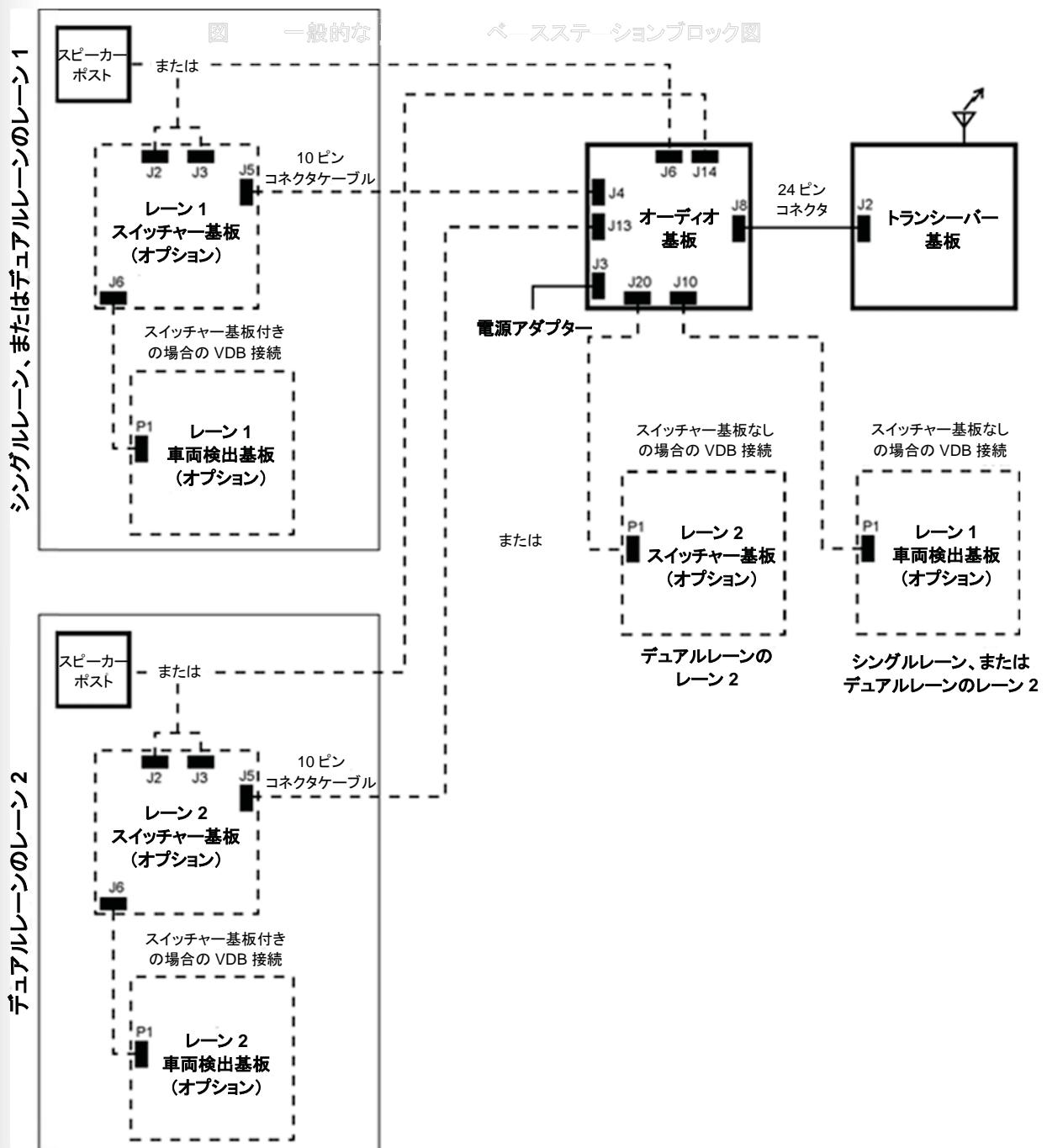
### ヘッドセット

バッテリータイプ	3.6V リチウムイオン
バッテリー寿命	11 - 13 時間(公称)
無線周波数	2400MHz ~ 2483.5MHz
重量	3.53 oz (100 g) - バッテリー含む

### バッテリー充電器

入力電圧	16.5VAC
充電時間	最大 2.5 時間
寸法	5.56" x 4.25" x 1.69" (141mm x 108mm x 43mm)
重量	12.03 oz (341 g) - ブラケット含む

## 10. ブロック図



# 11. ベース インターフェイスの説明

## 11.1 オーディオ回路基板

### J1 - 天井スピーカー入力/出力、レーン 1

J1,1	グランド
J1,2	/A1トーグ
J1,3	リレー1 コモン
J1,4	リレー1 ノーマルオープン
J1,5	リレー1 ノーマルクローズ
J1,6	天井スピーカー +
J1,7	天井スピーカー -
J1,8	グランド

### J7 - ライン入力/出力、レーン 1

J7,1	ライン出力
J7,2	グランド
J7,3	ライン入力
J7,4	グランド
J7,5	未使用

### J9 - 早期警戒 / 警告、レーン 1

J9,1	早期警戒
J9,2	グランド
J9,3	未使用
J9,4	グランド
J9,5	警告入力

### J2 - リモート

J2,1	グランド
J2,2	/リモート スピードチーム
J2,3	グランド
J2,4	/オペレータ
J2,5	未使用

### J10 - 車両検出基板

#### インターフェイス、レーン 1 (一次)

J10,1	車両検出 負入力信号
J10,2	+12V 車両検出器用電源
J10,3	グランド
J10,4	未使用
J10,5	未使用

### J3 - 電源

J3,1	+24VDC / 16VAC 電源入力
J3,2	-24VDC / 16VAC 電源入力
J3,3	グランド (DC 専用)

### J11 - 天井スピーカー入力/出力、レーン 2

J11,1	グランド
J11,2	/A1トーグ
J11,3	リレー2 コモン
J11,4	リレー2 ノーマルオープン
J11,5	リレー2 ノーマルクローズ
J11,6	天井スピーカー +
J11,7	天井スピーカー -
J11,8	グランド

### J13 - スイッチャー基板付きインターフェイス、レーン 2

J13,1	マイクロフォン 1
J13,2	マイクロフォン 2
J13,3	グランド
J13,4	+12VDC
J13,5	未使用
J13,6	車両検出 負信号入力
J13,7	車両検出器用電源(12V)
J13,8	未使用

### J14 - スイッチャー基板なしインターフェイス、レーン 2

J14,1	マイクロフォン 1
J14,2	マイクロフォン 2
J14,3	グランド
J14,4	+12VDC
J14,5	車両検出 負信号入力
J14,6	未使用
J14,7	屋外スピーカー -
J14,8	屋外スピーカー +

### J6 - スイッチャー基板なしインターフェイス、レーン 1

J6,1	マイクロフォン 1
J6,2	マイクロフォン 2
J6,3	グランド
J6,4	+12VDC
J6,5	車両検出 負信号入力
J6,6	未使用
J6,7	屋外スピーカー -
J6,8	屋外スピーカー +

<b>J15</b>	-	<b>電話インターフェイス</b>	<b>J19</b>	-	<b>早期警戒/警告、レーン 2</b>
J15,1		ベースへの電話音声	J19,1		早期警戒
J15,2		12V	J19,2		グランド
J15,3		/A2トーク	J19,3		未使用
J15,4		/B2トーク	J19,4		グランド
J15,5		車 2	J19,5		警告入力
J15,6		車両検出入力			
J15,7		グランド			
J15,8		電話線への電話音声出力			
<b>J16</b>	-	<b>ライン入力/出力、レーン 2</b>	<b>J20</b>	-	<b>車両検出基板</b>
J16,1		ライン出力	J20,1		<b>インターフェイス、レーン 2 (二次)</b>
J16,2		グランド	J20,2		車両検出 負入力信号
J16,3		ライン入力	J20,3		+12V 車両検出器用電源
J16,4		グランド	J20,4		グランド
J16,5		未使用	J20,5		未使用

## 11.2 スイッチャーレス回路基板

---

<b>J1</b>	-	<b>DM5 相互接続</b>	<b>J4</b>	,5	車両検出 正信号(出力)
J1,1		マクロフォン入力	J4,6		未使用
J1,2		マイクロフォン入力	J4,7		スピーカー/マイクロフォン 入/出力
J1,3		グランド	J4,8		スピーカー/マイクロフォン 入/出力
J1,4		+12VDC	J4,9		+12V ~ +48V 入力
J1,5		未使用	J4,10		+12V ~ +48V 入力
<b>J2</b>	-	<b>メニュー ボード相互接続</b>	<b>J5</b>	-	<b>オーディオ基板相互接続</b>
J2,1		スピーカー/マイクロフォン 入/出力	J5,1		マイクロフォン 1
J2,2		スピーカー/マイクロフォン 入/出力	J5,2		マイクロフォン 2
J2,3		シールド	J5,3		グランド
J2,4		スピーカー出力	J5,4		+12VDC
J2,5		スピーカー出力	J5,5		車両検出 正入力信号(未使用)
<b>J3</b>	-	<b>検出器/タイマー相互接続</b>	J5,6		車両検出 負入力信号
J3,1		ループ	J5,7		車両検出器用電源
J3,2		ループ	J5,8		未使用
J3,3		車両検出 正信号(入力)	J5,9		屋外スピーカー -
J3,4		グランド	J5,10		屋外スピーカー +
J3,5		車両検出 負信号(入力)	<b>J6</b>	-	<b>車両検出基板相互接続</b>
J3,6		グリート	J6,1		車両検出信号
J3,7		グリート	J6,2		車両検出器用電源(12V)
J3,8		車両検出 負信号(出力)	J6,3		グランド
J3,9		グランド	J6,4		未使用
J3,10		車両検出 正信号(出力)	J6,5		未使用
<b>J4</b>	-	<b>バックアップシステム相互接続</b>	<b>TB1</b>	-	<b>内部検出器用コネクタ</b>
J4,1		ループ	1		ループ入力
J4,2		ループ	2		ループ入力
J4,3		車両検出 負信号(出力)			
J4,4		グランド			

## 11.3 車両検出回路基板(オプション)

---

<b>P1</b>	-	<b>オーディオ基板インターフェイスケーブルコネクタ</b>	<b>P1,3</b>		グランド
P1,1		信号	<b>TB1</b>	-	<b>車両検出ループ コネクタ</b>
P1,2		電源			

## 12. 配線図

---

### 全二重式ドライブスルー、VDB 付き、スイッチャー基板なし

- [ページ 88、図 26](#) — (レーン 1 またはシングルレーンの接続)  
[ページ 89、図 27](#) — (デュアル/Yレーンのレーン 2 またはタンデムの接続)

### 全二重式ドライブスルー、VDB 付き、スイッチャー基板、および IC300 インターコム付き

- [ページ 90、図 28](#) — (レーン 1 またはシングルレーンの接続)  
[ページ 91、図 29](#) — (デュアル/Yレーンのレーン 2 またはタンデムの接続)

### 全二重式ドライブスルー、VDB 付き、スイッチャー基板、およびマイクロフォン付き

- [ページ 92、図 30](#) — (レーン 1 またはシングルレーンの接続)  
[ページ 93、図 31](#) — (デュアル/Yレーンのレーン 2 またはタンデムの接続)

### 半二重式ドライブスルー、VDB 付き、スイッチャー基板なし

- [ページ 94、図 32](#) — (レーン 1 またはシングルレーンの接続)  
[ページ 95、図 33](#) — (デュアル/Yレーンのレーン 2 またはタンデムの接続)

### 半二重式ドライブスルー、VDB 付き、スイッチャー基板付き

- [ページ 96、図 34](#) — (レーン 1 またはシングルレーンの接続)  
[ページ 97、図 35](#) — (デュアル/Yレーンのレーン 2 またはタンデムの接続)

- [ページ 98、図 36](#) — オプション装置の接続

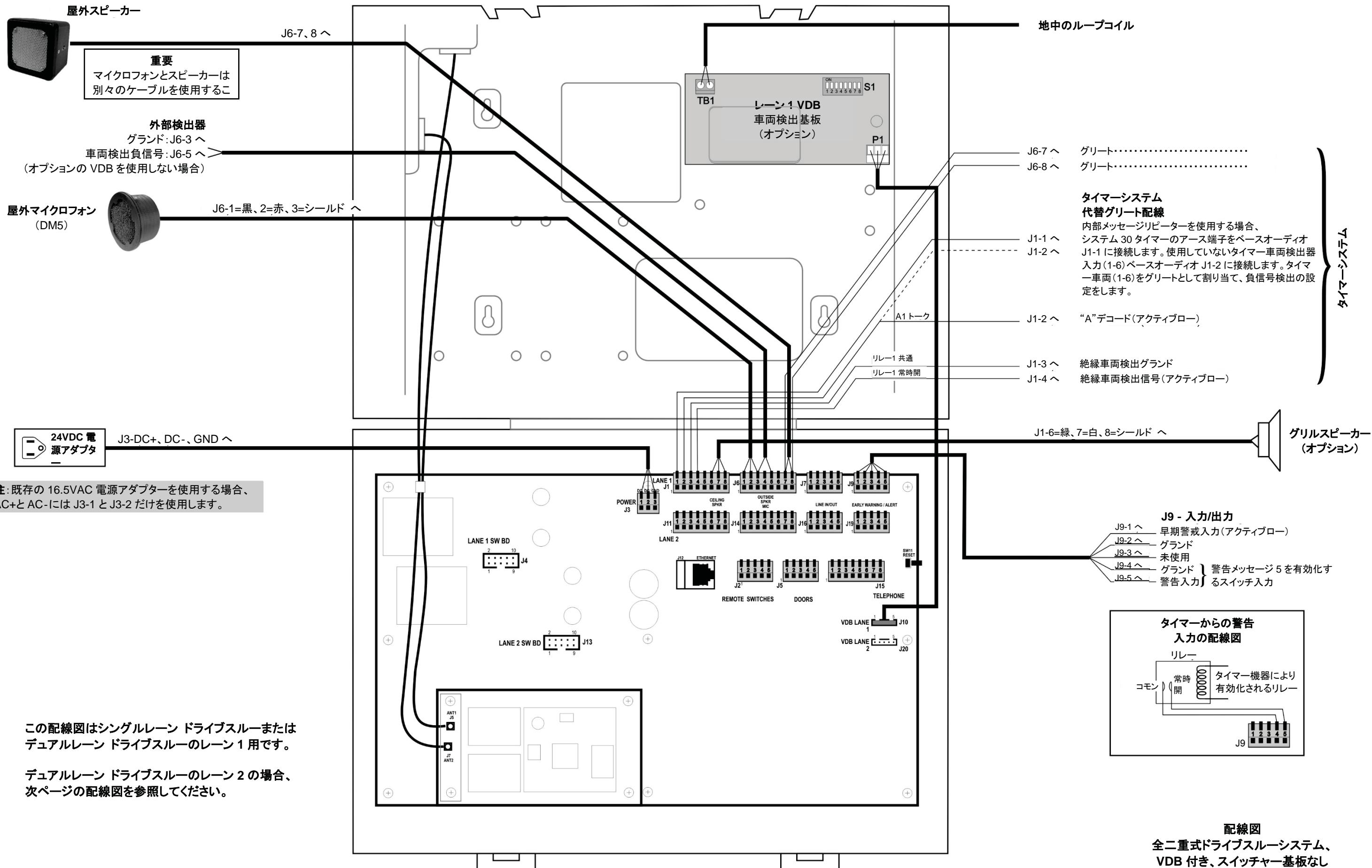


図 26

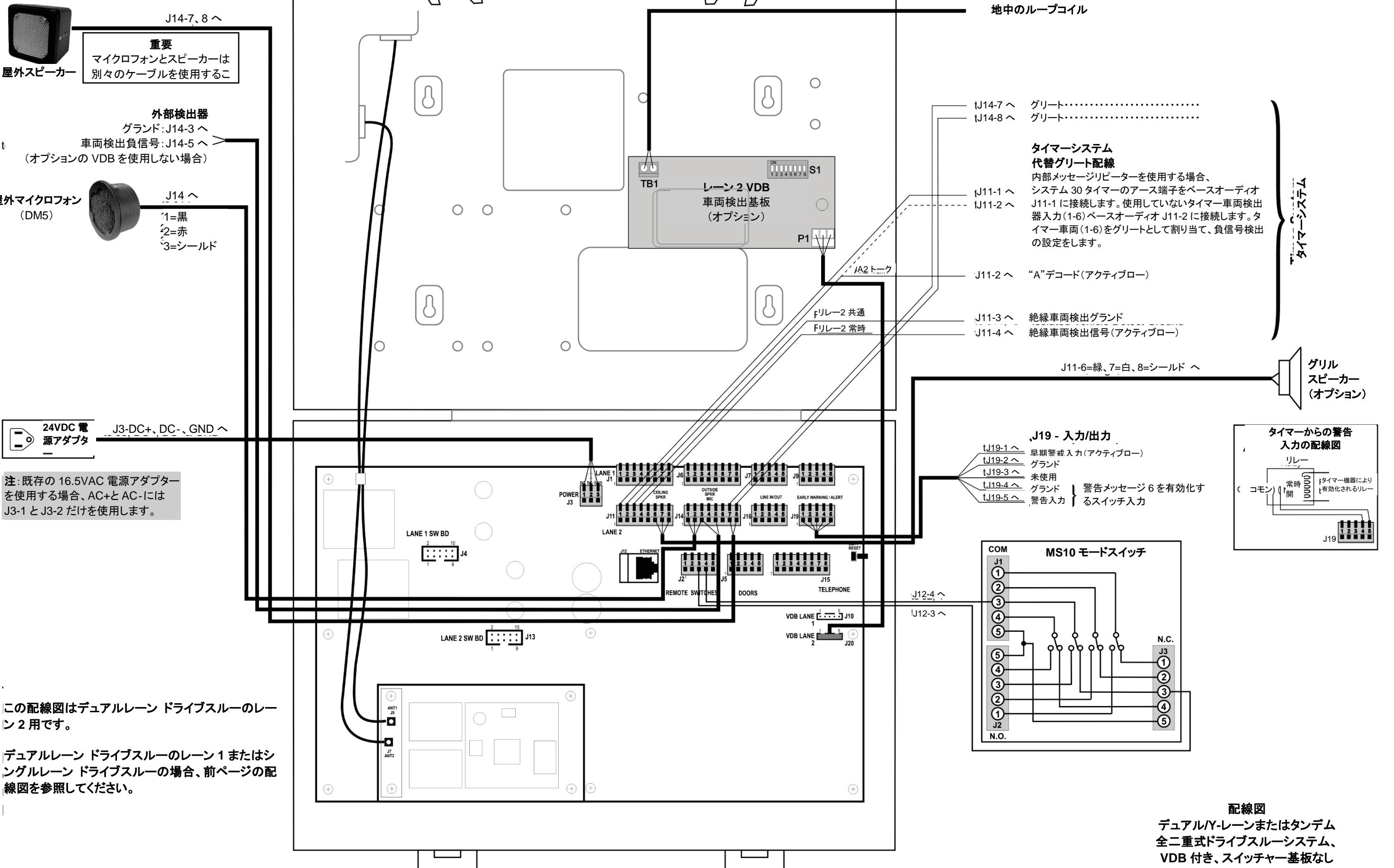


図 27

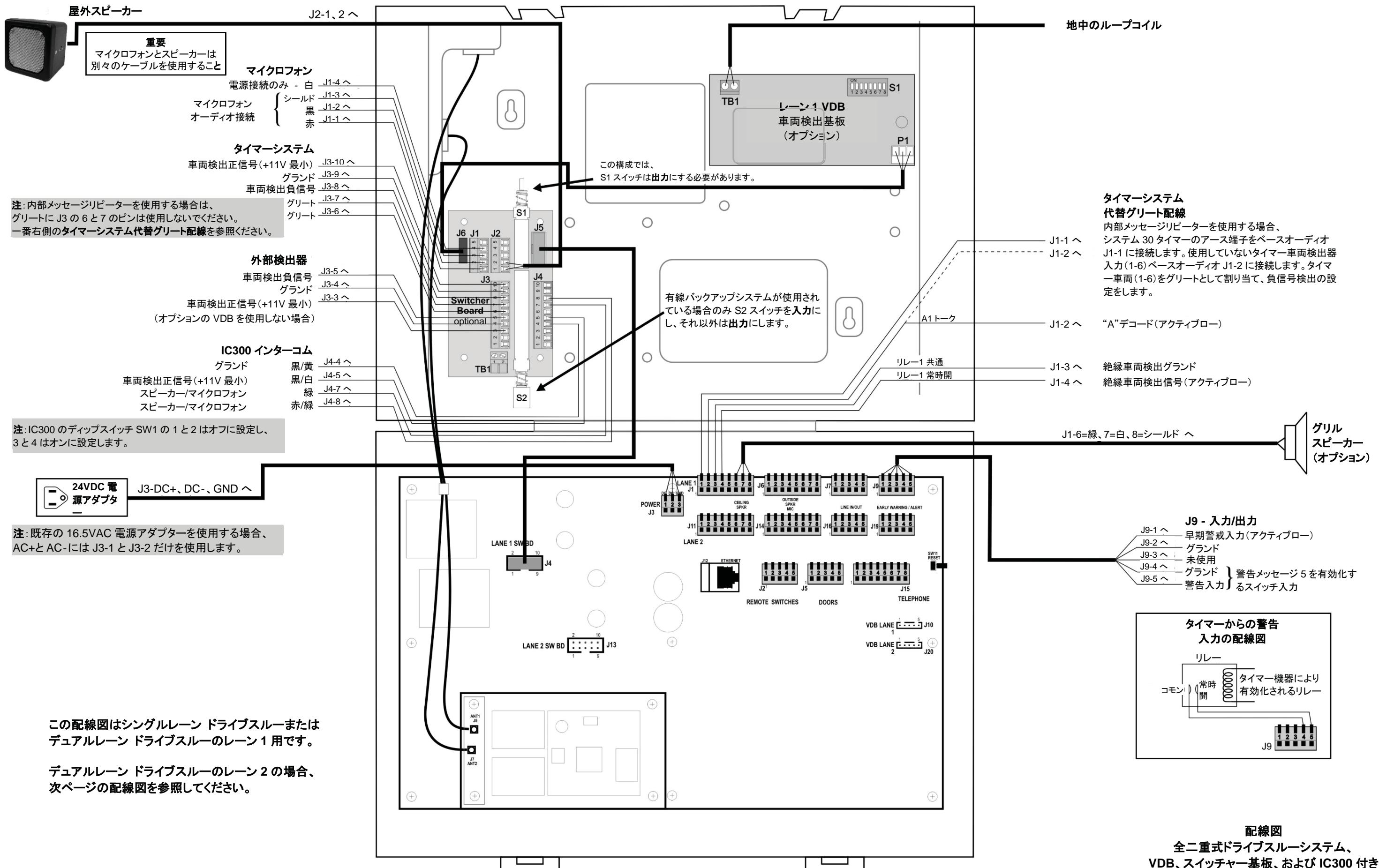


図 28

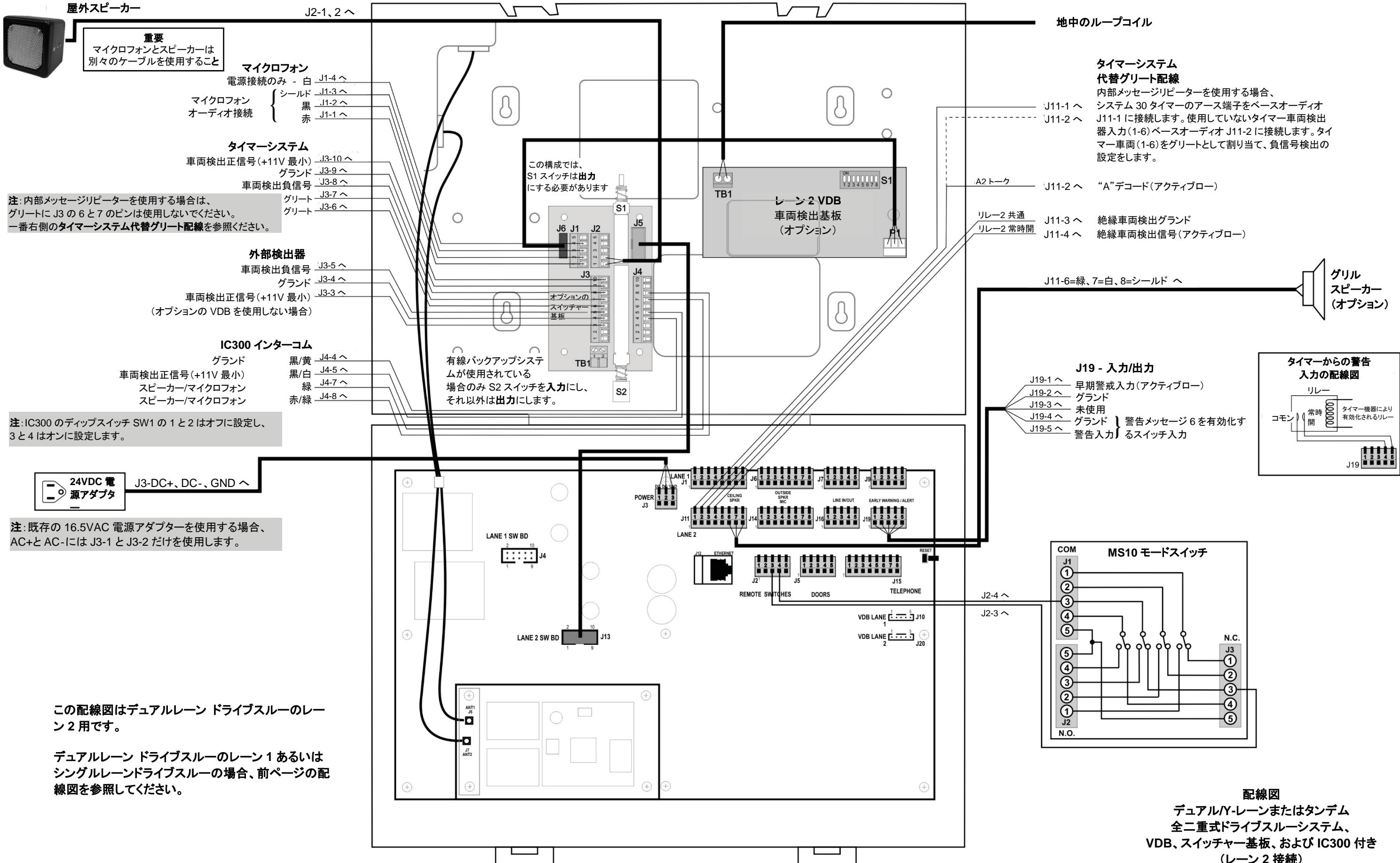


図 29

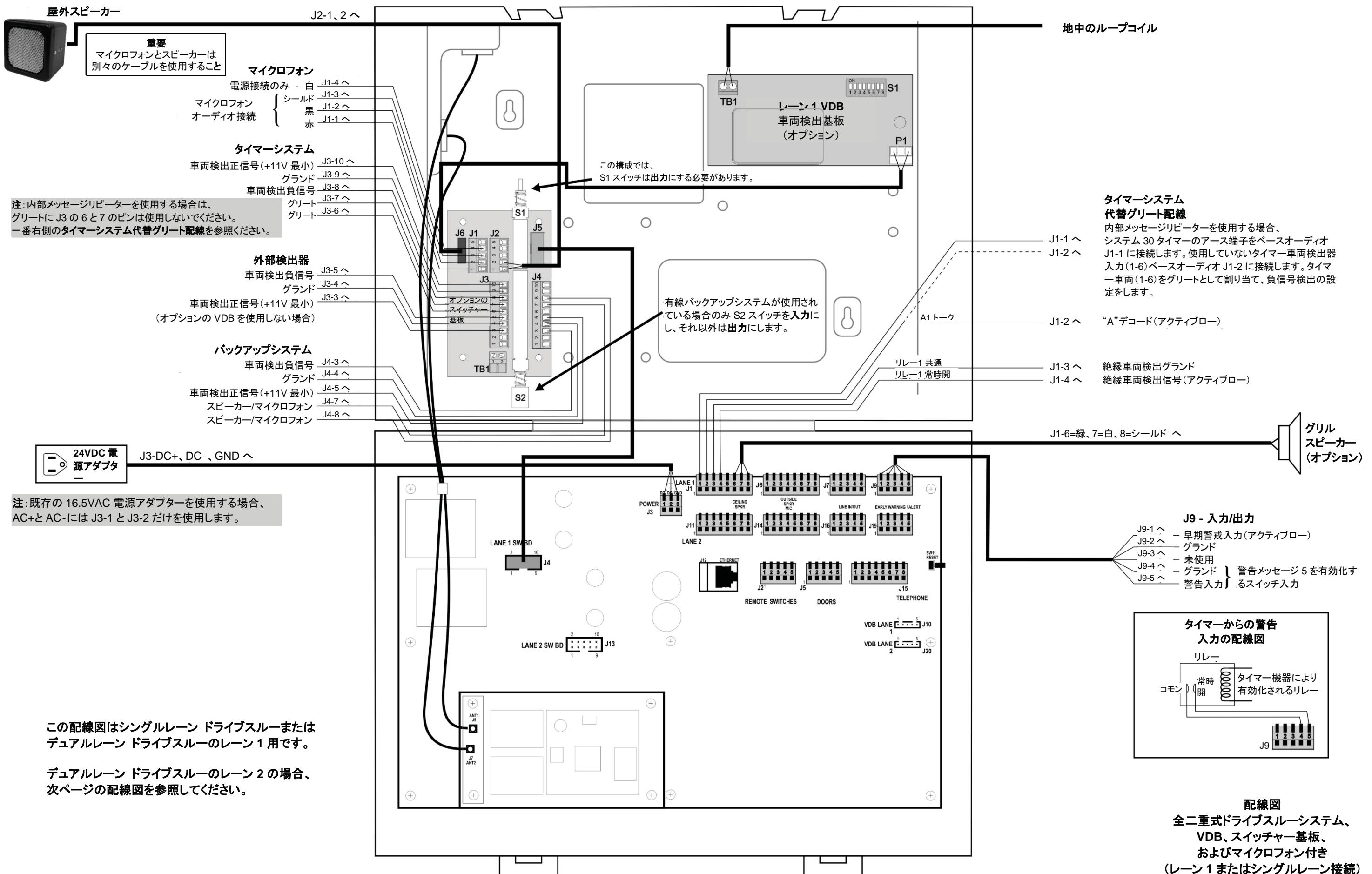


図 30

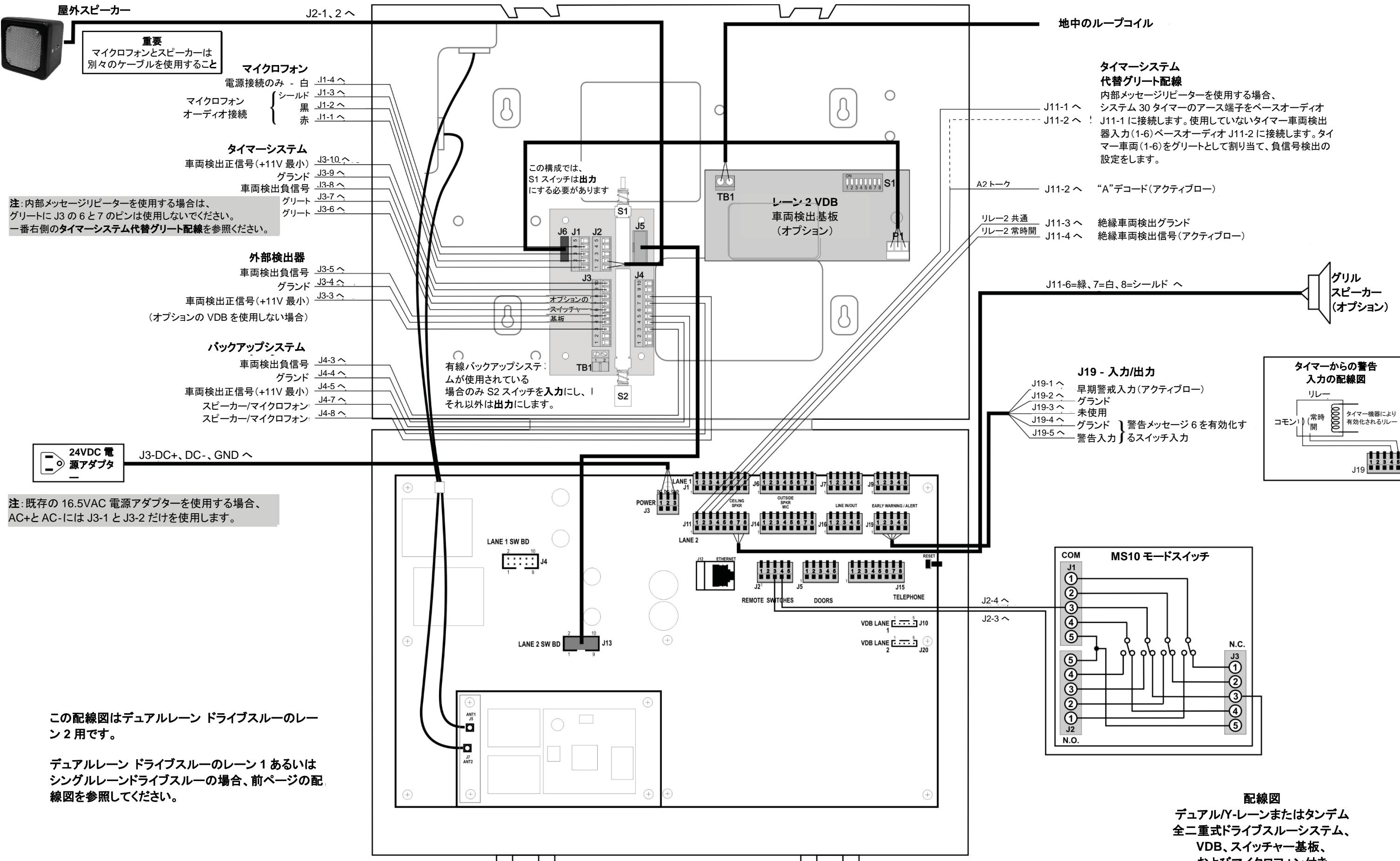


図 31

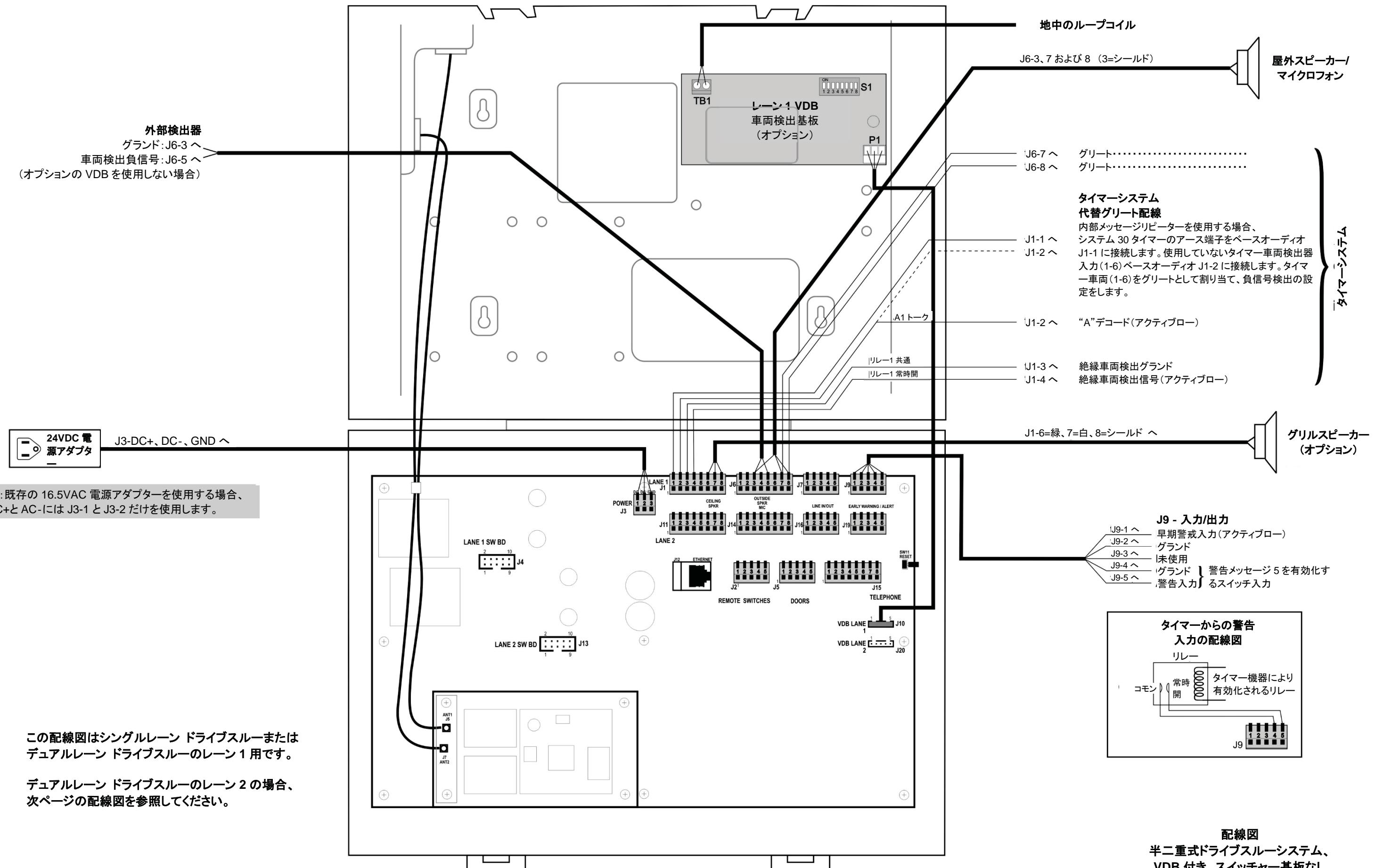


図 32

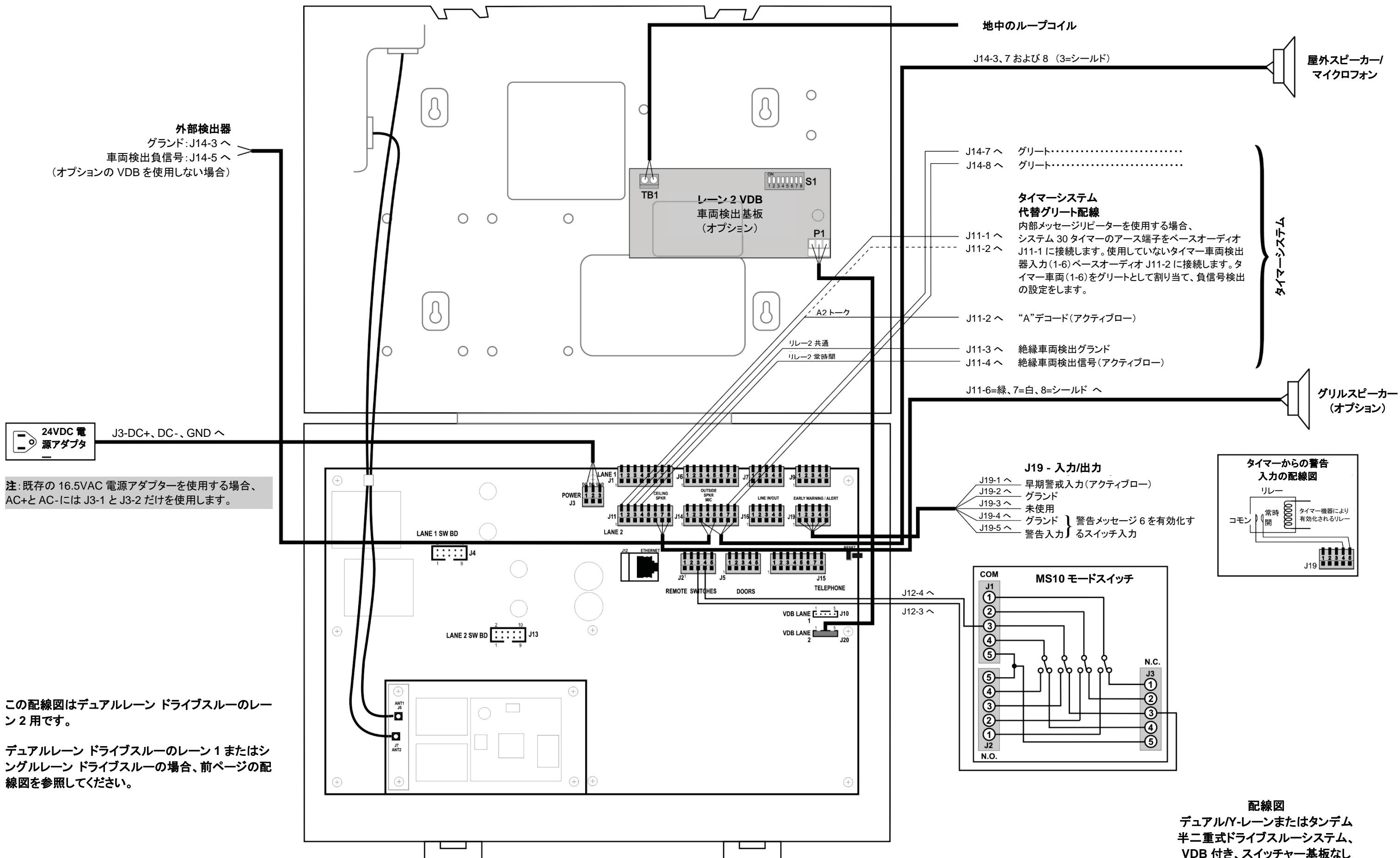


図 33

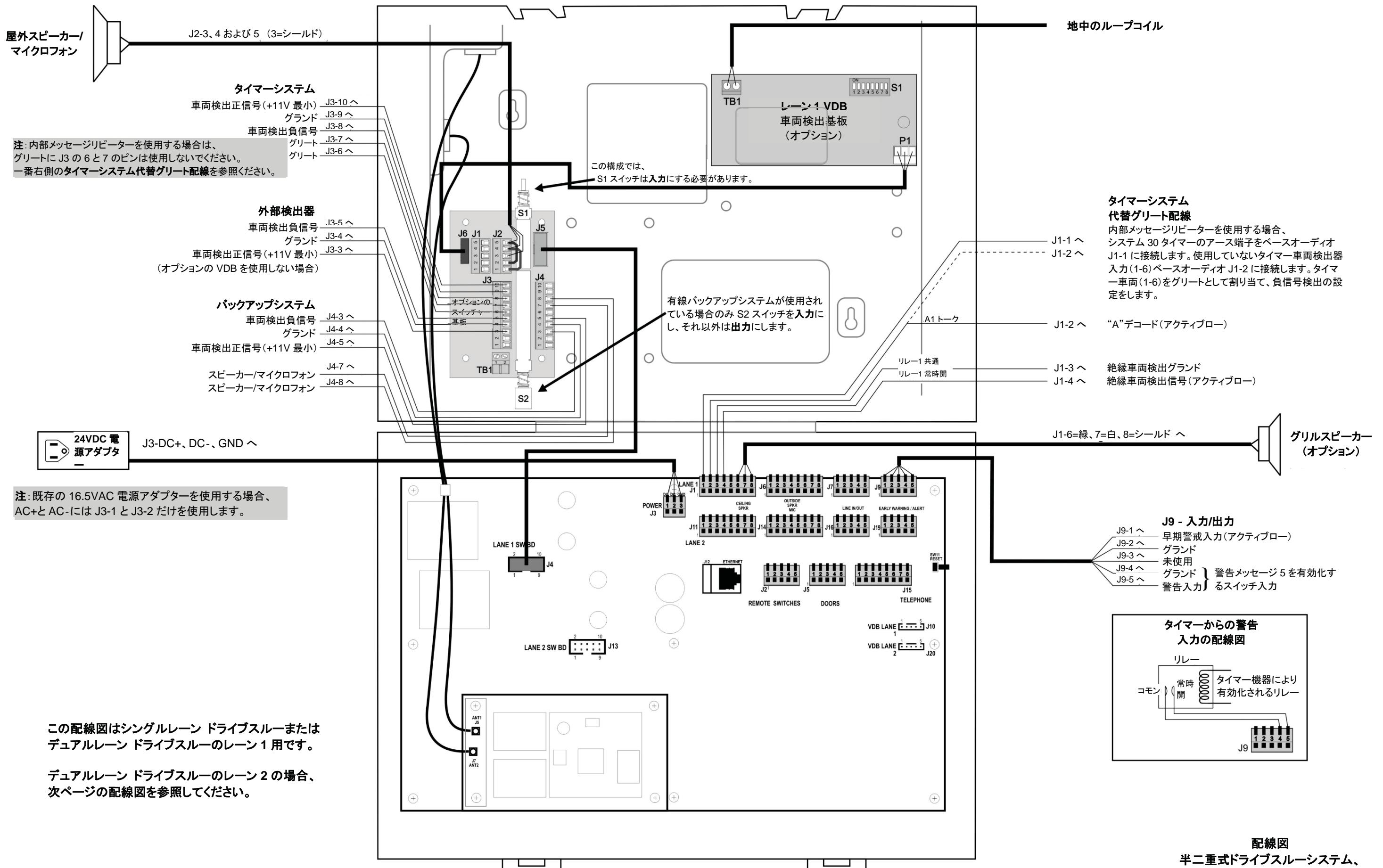


図 34

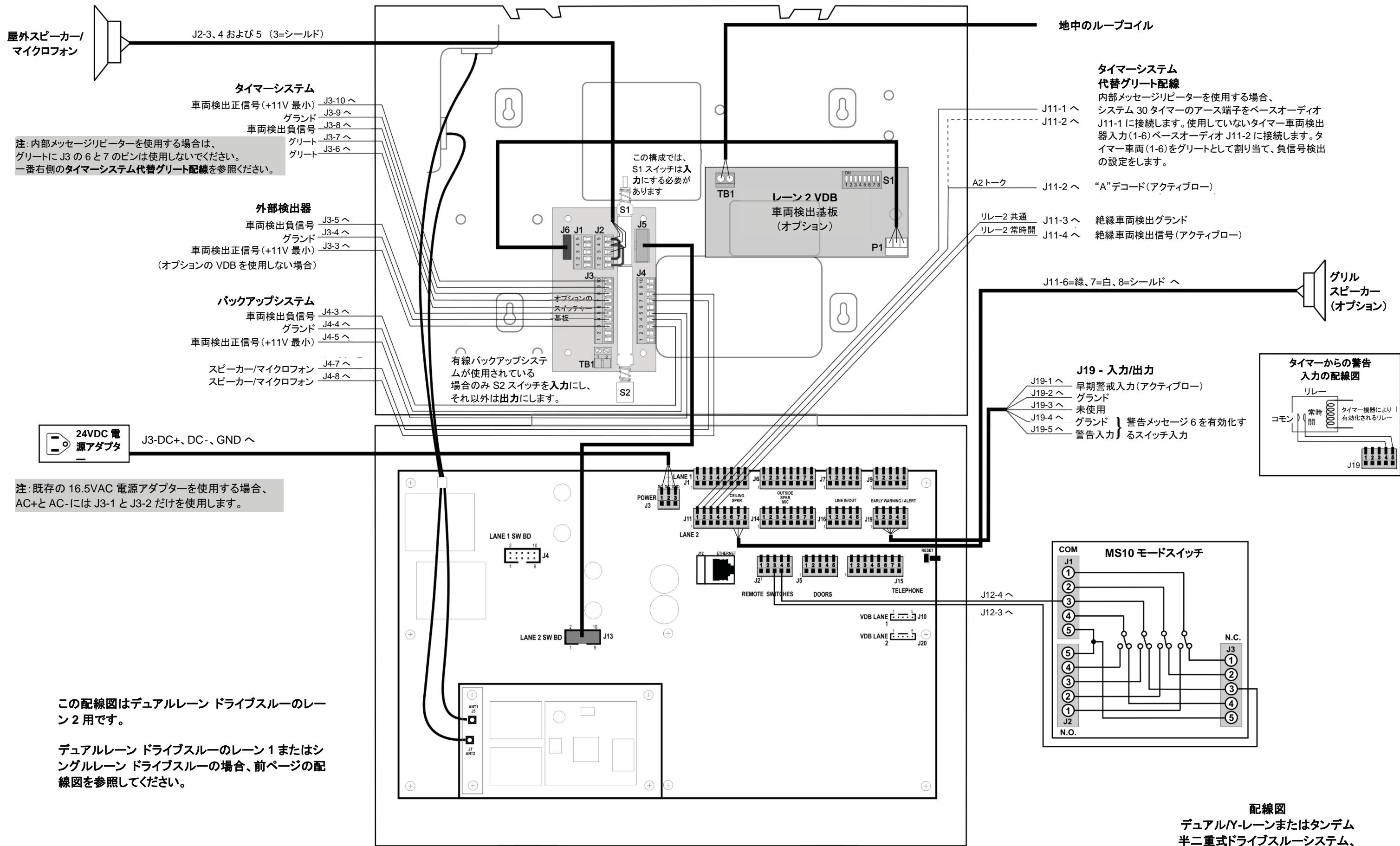
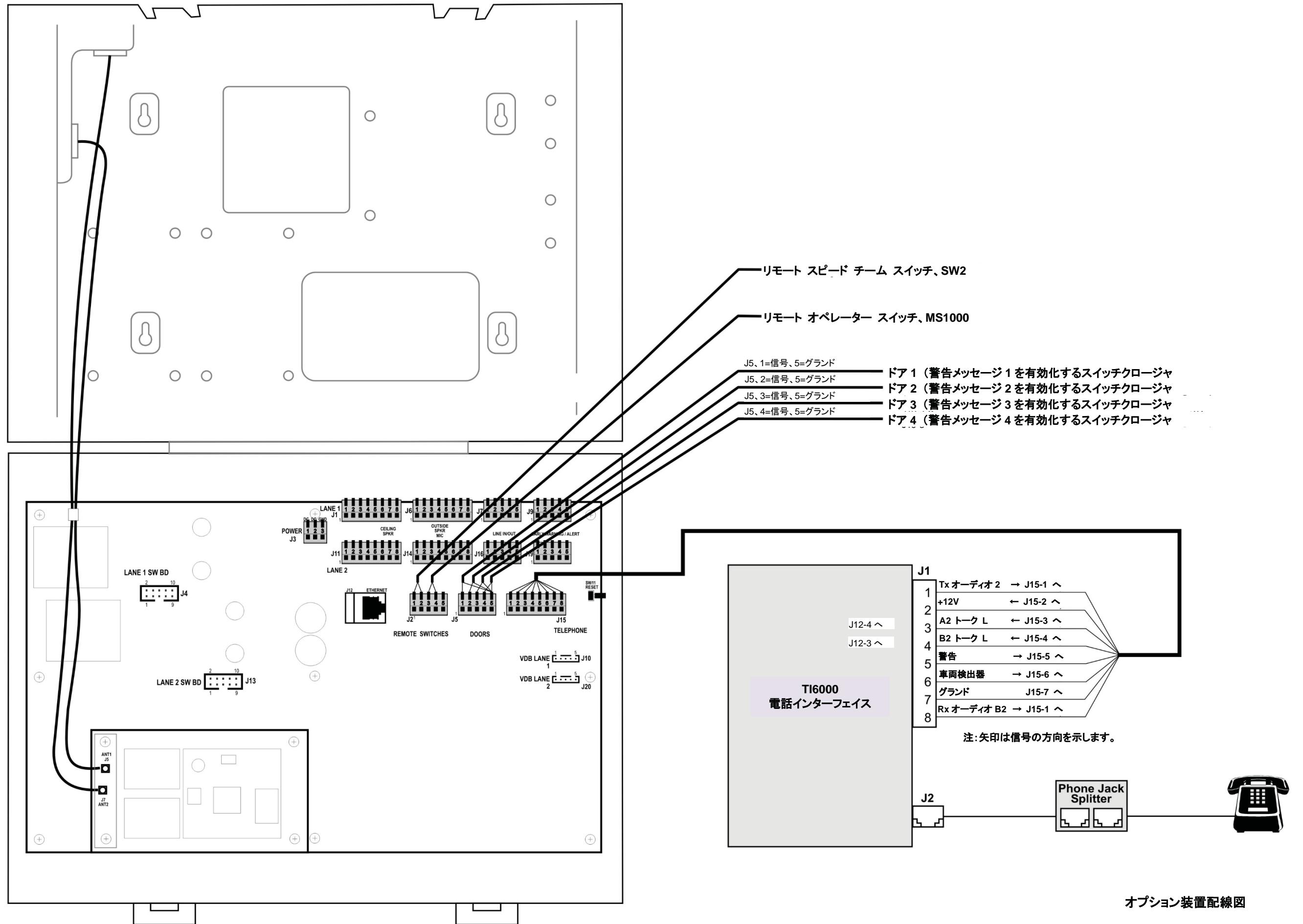


図 35



# 13. 付録

## 13.1 デュアルレーンのインストーラ設定

### 13.1.1 スプリット B

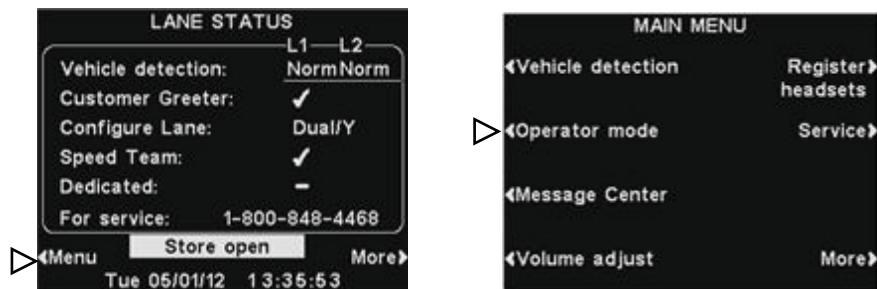
- スプリット B の機能は、デュアル/Y レーン、およびタンデムレーンの設定の時だけ有効になります。
- **Combined(結合)**に設定されている場合、レーン 1 とレーン 2 のオペレータは B チャンネルを使用し、会話をすることができます。
  - **Split(スプリット)**に設定されている場合、レーン 1 のオペレータは B チャンネルを使用し、レーン 1 に設定されているオペレータと、レーン2のオペレータはレーン 2 に設定されているオペレータとだけ会話が行えます。

結合あるいはスプリットを選択するには、**INSTALLER SETUP(インストーラ設定)**画面で、**Split B (スプリット B)**ボタンを押し、希望するモードをハイライト表示させます。



### 13.1.2 専用モード

デュアルレーン動作のときだけに、**OPERATOR MODE(オペレータモード)**画面に、**Activate dedicated mode(専用モードの有効化)**設定が現れます。専用モードでは、それぞれ選択されたレーン用のヘッドセットに、車両到着音と音声が聞こえます。



専用モードの設定を行うには、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)**を選択し、**MAIN MENU(メインメニュー)**画面で **Operator mode(オペレータモード)**を選択します。

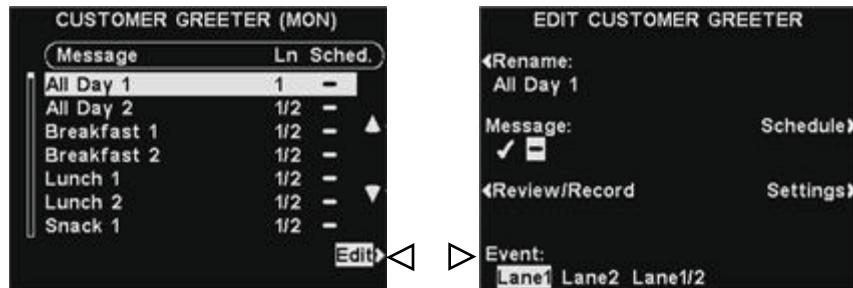


**OPERATOR MODE(オペレータモード)**画面で、**Activate dedicated mode(専用モードの有効化)**ボタンを押し、**✓ (オン)**を選択します。通常モードに戻るには、**- (オフ)**を選択しなければなりません。**Dedicated HELP(専用モードヘルプ)**ボタンをおすと、追加の説明が表示されます。(英語)

## 13.2 デュアルレーンメッセージセンター設定

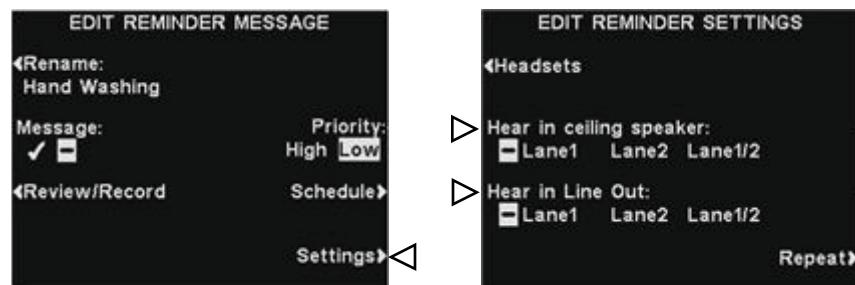
### 13.2.1 顧客歓迎メッセージ

デュアルレーン動作において、顧客歓迎メッセージの再生先をレーン 1、レーン 2 あるいはレーン 1、2 両方、の設定が行えます。これを行うには、CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージ)画面で Edit(修正)ボタンを押し、Event(イベント)ボタンを押して、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、Lane 1/2(レーン 1/2 両方)をハイライト表示させます。



### 13.2.2 リマインダーメッセージ

デュアルレーン動作において、リマインダーメッセージの再生先をレーン 1、レーン 2 あるいはレーン 1、2 両方、の設定が行えます。これを行うには、EDIT REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージ修正)画面で Settings(設定)ボタンを押し、EDIT REMINDER SETTINGS(リマインダーメッセージ設定の修正)画面で Hear in ceiling speaker(天井スピーカーからの再生)、あるいは Hear in Line Out(ラインへの再生)ボタンを押して、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、Lane 1/2(レーン 1/2 両方)をハイライト表示させます。



### 13.2.3 警告メッセージ

デュアルレーン動作において、警告メッセージの再生先をレーン 1、レーン 2 あるいはレーン 1、2 両方、の設定が行えます。これを行うには、EDIT ALERT MESSAGE(警告メッセージ修正)画面で Settings(設定)ボタンを押し、EDIT ALERT SETTINGS(警告メッセージ設定の修正)画面で Hear in ceiling speaker(天井スピーカーからの再生)、あるいは Hear in Line Out(ラインへの再生)ボタンを押して、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、Lane 1/2(レーン 1/2 両方)をハイライト表示させます。

